

凡例及び序言

本書は世間におられる地理教科書の目録中に、更に一の贅物を加へて、世に世にせしめ、従來の地理教科書は多くは普通教育に於ける地理的教科の教科目、地理科が最も輕視せられつゝある現状を打破して、上に革新の機會を與へ、其の眞價を示さんことを期せしものなり。

一本書は本邦地理の範圍を嚴密に本邦の域内に限るの見解を採らず、本邦人の活動するところは成るべく本邦地理の範圍たらしめんことを期せり。故に従來の地理書に比すれば、ことに域外に於ける邦人活動の有様を審かにせんことを勉めたり。又外國地理に於ける材料排列の順序の如きも、普通の順序によらず、勉めて邦人活動の順序を示すの指針たらしめんことを目的とせり。たとへば南洋諸島を説明するに、一は小笠原島より、今一つは布哇より、漸次南に向ふて記載せしが如し。近頃聞けば我が好愛すべき南洋の冒険者は、すでに此の順序に従ひて南下せしものありと云ふ。將來かゝる雄圖の續々行はれんことは、本書の目的とする所の一なり。

一中等教育に於て經濟實業の思想を養ひ併せて之れが將來の活動舞臺を知らしむるは地理科の主要なる目的の一なり。従ひて本書全部を通じて殊に外國地理の如きは最も重きを此の點に置いて材料の選擇をなせり。蓋し本會の考ふる所によれば、我が國の現状にては、邦人をして域外の自然物資を利用して致富の策を講せしめんこと最も急務なればなり。

一地理科に於て最も必要なるは、個々の自然現象を孤立的に知らしめずして、自然力と人力との結合の結果として主要なる地理的現象の起る所以を悟らしむるにあり。故に從來無意義の地名物産を羅列せし代りに、多少重複の恐ある場合をも忍びて、自然力と人力との關係を知悉せしめんことを期せり。又欄外に地理學上最も注意すべき二三の關係を特書せしも亦同一の目的に出でたり。教授者は更に之れを他の關係にも應用せんことを望む。

一從來本邦地理には帝國文化の中心點を明記せず、全國一様に記載するを例とせり。されど本會は少くも帝國の二大中心は、他の一般府縣誌と特立せしむるの必要ありと信ずるものなり。現に二大中心地の外國貿易額が帝國全額の七割を占むる事實は、此地方が帝國に取りて如何ほど重きを成せるかを證するに足らん。故に本

書中本邦の部に於て府縣の初めに特に之れを記述することとせり。

一本書の附圖は本邦に於ては未曾て教科書に應用せられたることなき模形地圖を用ゐたり。其從來の平面地圖と地理的現象を理會する上に於て難易の差大なることは一見して知ることを得べし。又本書挿圖の如きも、從來の名所繪的圖畫を廢して成るべく産業貿易等に重要な關係あるものを選び、又自然現象を現はす場合には成るべく其の全景を現はさんことを勉め、又屢小地圖を附して其の地理的關係を明かならしめたるもの多し。殊に外國地理の挿圖の如きは本會が最も苦心せしところにして、其の材料の多くは世界各國の遊歴者に資り、殆んど全部從來の地理書に採用せざるものに屬す。又挿圖の數の如きも、從來の地理書に比すれば甚だ多く、本邦の部に於ては百九十餘頁の本書中、其の四十餘頁は全く挿圖の爲に使用せり。

以上は本書が從來の地理書と聊か其の撰を異にせる主要の點なり。本書が採用したる圖表統計は主として明治三十四年發行の日本帝國第二十統計年鑑、臺灣總督府第三統計書及千九百二年の政治家年鑑により、又往々斬新なる報告に基きて取捨したる所多し。

本書の編纂は主として本會々員岡山縣津山中學校教諭草野甚太郎東京早稻田中學校教諭小田内通敏兩氏の手になり、又本書全體の結構及び材料の取捨撰擇につきては東京高等師範學校教授本莊太一郎氏の詳密なる教授上の批判によれる所多し、模範圖は藤田五郎太氏の伎倆によりて成れるものなり、其の他本書の挿圖中東京帝國大學理科大學人類學教室所藏の寫眞に基けるもの少からず、依りて特にこゝに明記して感謝の意を表す。

明治三十五年十月

地理教授研究會

中等地理教科書目次 本邦之部

緒 說

地球……………一

方位及び位置……………二

氣候帶……………四

六大洲及び五大洋……………六

總 說……………一〇

帝國の位置及び四隣……………一〇

帝國の領土及び國民……………一一

帝國の地勢……………一三

河及び平野……………一七

海岸及び海面……………一九

氣候……………二六

帝國の區劃……………二七

地方誌

帝國の二大中心地

東京.....二九  
大阪 京都.....三四

關東地方

東京府.....四〇  
神奈川縣.....四二  
埼玉縣.....四三  
千葉縣.....四四  
茨城縣.....四六  
栃木縣.....四九  
群馬縣.....五一

甲信越地方

山梨縣.....五四  
長野縣.....五五

新潟縣

.....五八

奥羽地方

福島縣.....六四  
宮城縣.....六五  
巖手縣.....六七  
山形縣.....六九  
秋田縣.....七〇  
青森縣.....七二

北州及び千島

北州.....七四  
千島.....八六

北陸地方

富山縣.....八九  
石川縣.....九〇  
福井縣.....九二

東海地方

✓ 静岡縣

✓ 愛知縣

✓ 三重縣

✓ 岐阜縣

近畿地方

✓ 滋賀縣

京都府

奈良縣

和歌山縣

大阪府

兵庫縣

中國地方

岡山縣

廣島縣

..... 九五

..... 九六

..... 一〇〇

..... 一〇三

..... 一〇五

..... 一〇七

..... 一〇九

..... 一一一

..... 一一四

..... 一二七

..... 一二〇

..... 一二三

..... 一二四

..... 一二五

鳥取縣

島根縣

山口縣

四國

香川縣

德島縣

高知縣

愛媛縣

九州

福岡縣

佐賀縣

長崎縣

熊本縣

大分縣

宮崎縣

..... 一二七

..... 一二八

..... 一三〇

..... 一三一

..... 一三三

..... 一三五

..... 一三七

..... 一三八

..... 一四〇

..... 一四三

..... 一四六

..... 一四七

..... 一五〇

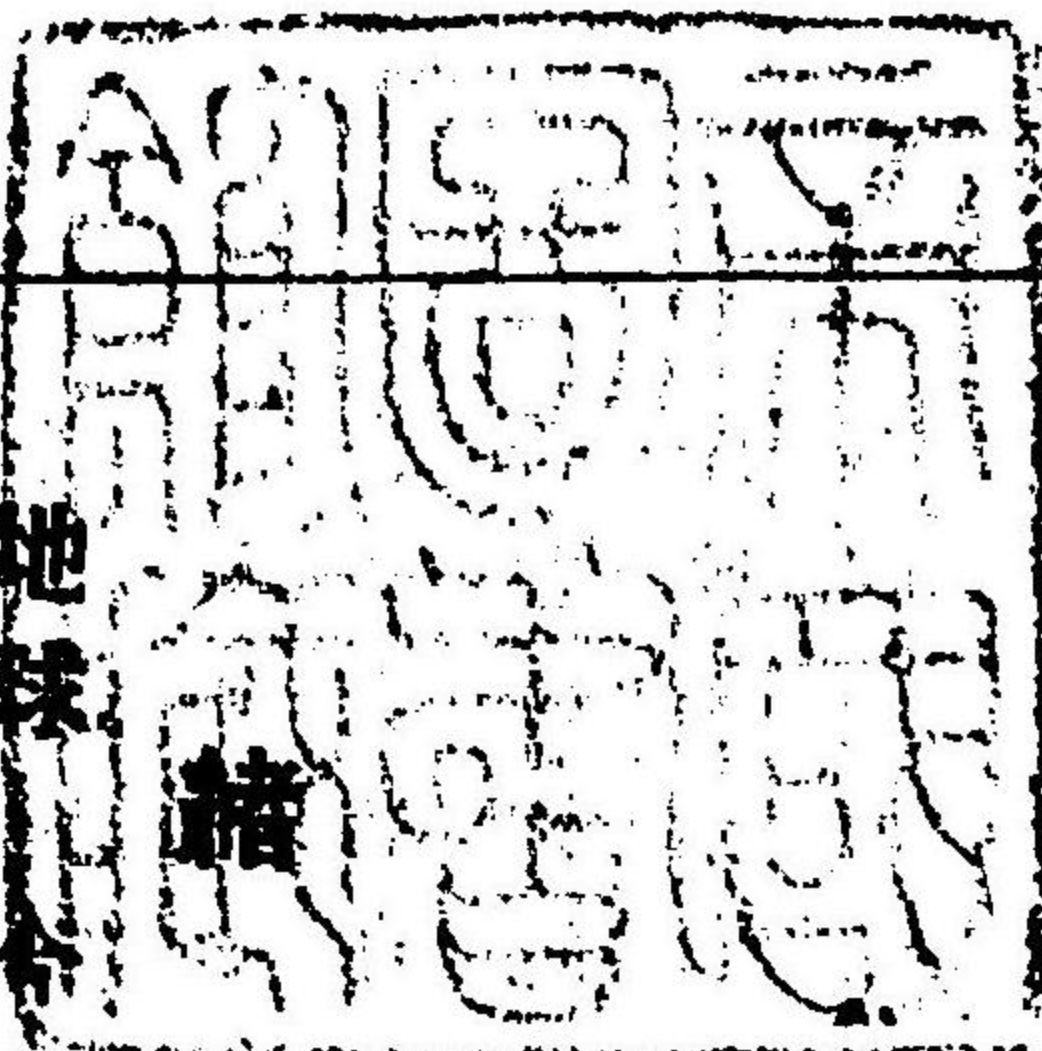
..... 一五三

..... 一五四

鹿兒島縣	一五五
琉球及び臺灣	一五八
沖繩縣	一六〇
臺灣	一六二
括論	一七二
帝國の天産及び産業	一七二
帝國の交通	一八〇
帝國の商業貿易	一八二
帝國の人口	一八五
帝國の教育	一八六
帝國の神社及び宗教	一八八
帝國の族制及び政體	一八九
帝國の軍備	一九一

中等地理教科書目次 本邦之部 終

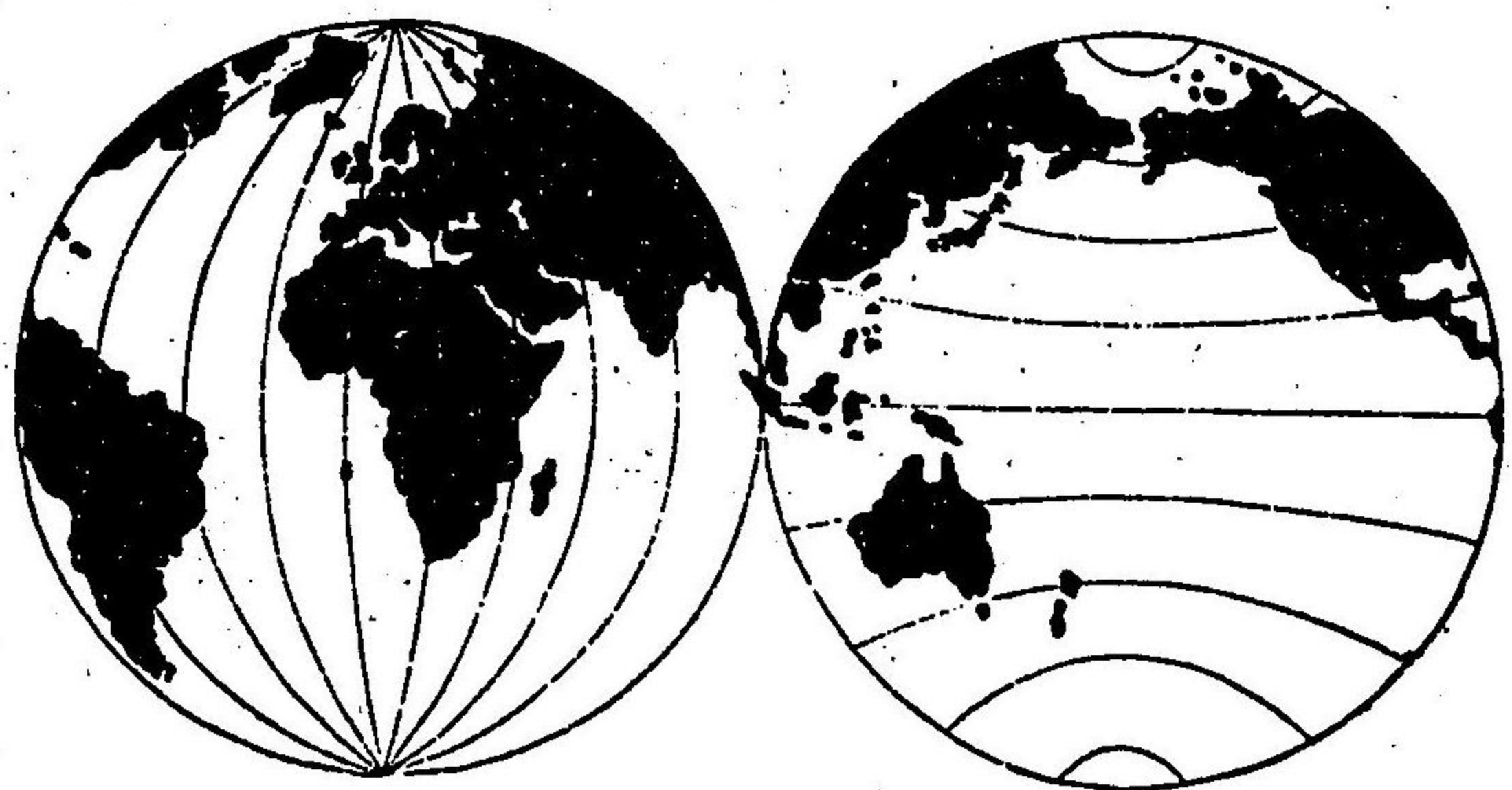
中等地理教科書 本邦之部



地球の形

地球の形  
 地球 吾等は海濱に立ちて、沖なる船を望み見るに、往くものは、船體次第に隠れて、帆柱のみ残り、來るものは、先づ帆柱見え初めて、漸くに船體現るべし。又地球を一周せんに、東に向ひて進むも、西に向ふも、凡そ七週間を経れば、再び出發せる場所に歸り着くことを得べし。これ皆地球の形體の圓きこと球の如くなるが故なり。吾等の生活する所は此の地球の表面なり。

正北  
正南  
東西



緯線の図

經線の図

**方位及位置** 地球上の方位を定めんには、先づ地面に眞直なる竿を立て置き、其の影に注意せよ。正午に其の影の指す方は**正北**にして、同時に之に反する方は**正南**なり。此の南北線に直角に交る線を畫くときは、其の兩端は**東西**を指す。

今地球の表面に正南北線を畫き延すと假定するときは、其の北端は地球の北極に達して止まり、其の南端は南極に至つて終るべし。北極・南極の間に畫ける正南北線

經線  
經度  
緯線  
赤道  
緯度  
本初子午線

を**經線**と稱す。三百六十の經線を以て地球の表面を等分するときは、其の一部を一**經度**と云ふ。

經線と直角に交りて、地面を東西に一周する圈線を**緯線**と稱す。兩極よりの中間にあたる最大の緯線を**赤道**と云ふ。赤道より南北に各九十の緯線を畫くと假定するときは、其の一部を一**緯度**と稱す。

故に經度は基線即ち**本初子午線**と定めたるものを零度として、これより東西に百八十度まで數へて、東經又は西經何度と云ひ、緯度は赤道を零度とし、これより南北に九十度まで數へて、北緯又は南緯何度と云ふ。之れによりて地面上のあらゆる位置を定む。

現今帝國にて本初子午線と定まれるはイギリス國グレンヂ天文臺を通過する經線なり。

帝國の位置

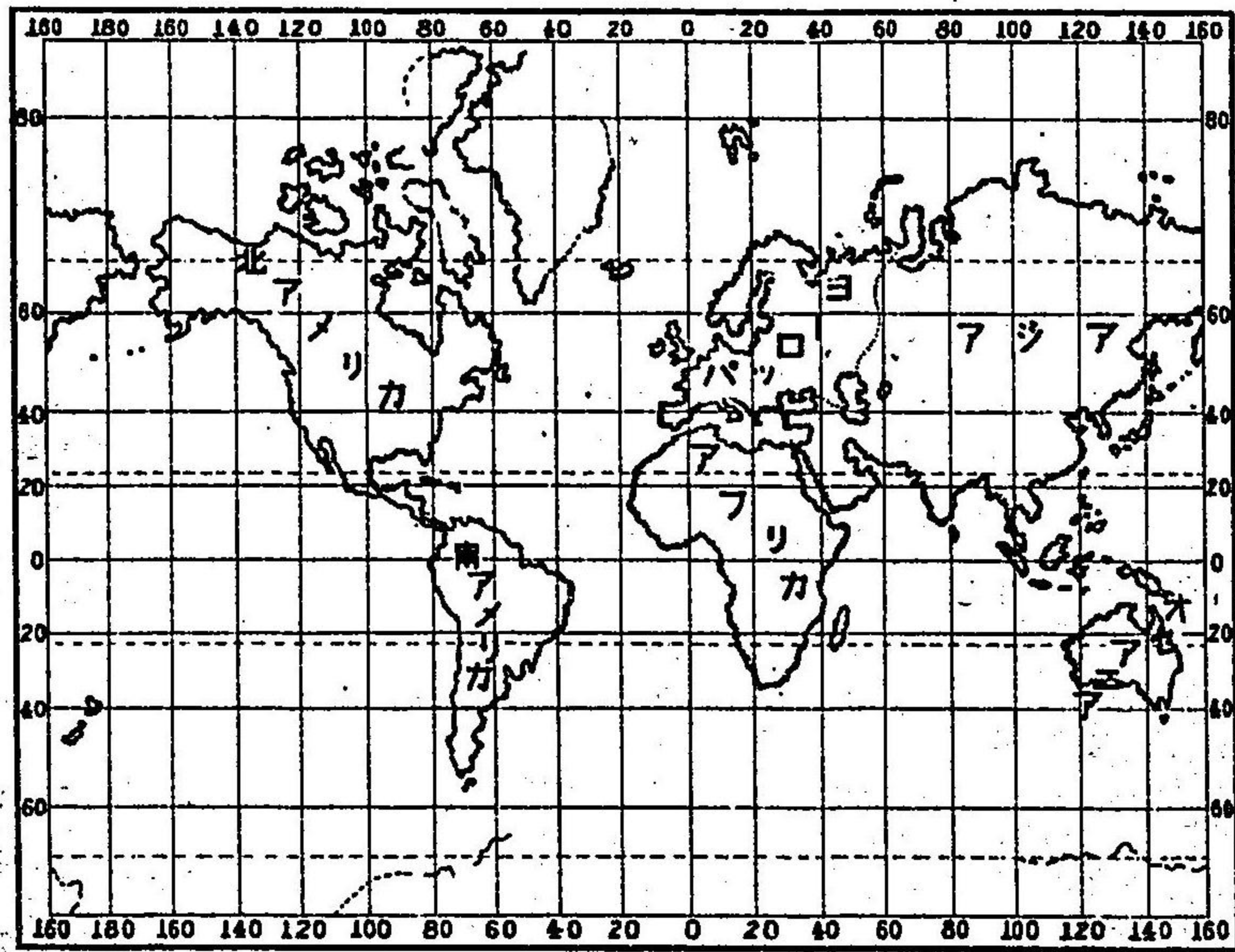
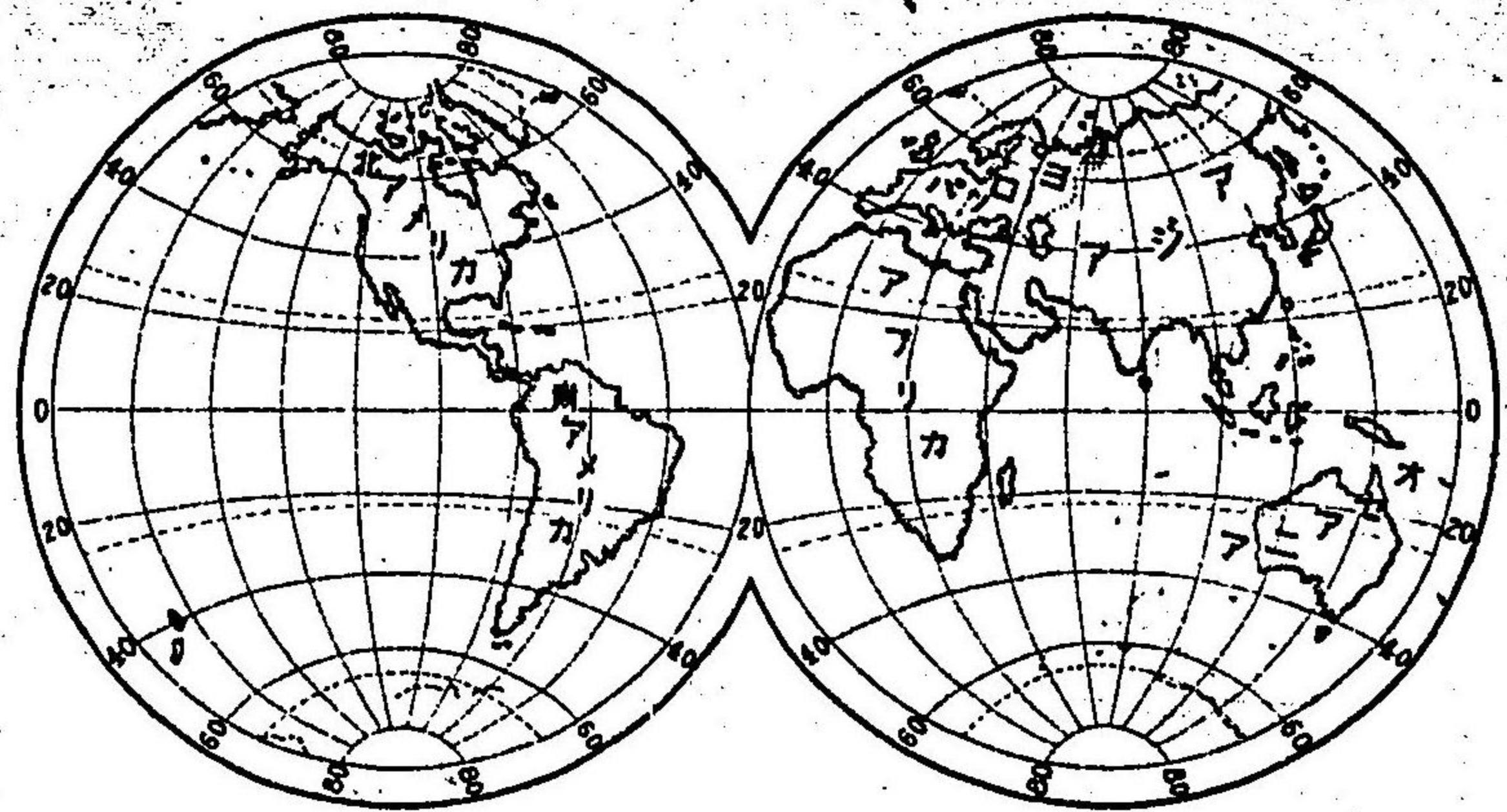
北端	千島アライト島	北緯	五〇度
南端	臺灣南岬	同	二一度
東端	千島占守島	東經	一五六度
西端	澎湖列島	同	一一九度

經緯度を以て地面上の位置を最も精密に測定するには、更に度を六十に分ちて分とし、分を六十に分ちて秒とし、何度何分何秒と稱す。例へば東京天文臺は北緯三十五度三十九分十六秒、東經百三十九度四十四分三十秒の位置に在るが如し。

氣候帶 赤道と平行して畫ける緯度圈中最も重要なもの四あり。夏至圈・冬至圈・北極圈・南極圈之れなり。

夏至圈とは北半球の夏至即ち六月二十一日に太陽を其の

夏至圈







熱なり。我が臺灣の南部は熱帯に屬す。

**温帯** 南北兩帶あり。夏至圈と北極圈との間にある地方は北温帯にして、冬至圈と南極圈との間にある地方は南温帯なり。氣候は寒暖中和を得て最も人類の發達に適す。帝國の大部分は北温帯にあり。

**寒帯** 南北兩帶あり。即ち南極圈又は北極圈を以て限れる**兩極地方**なり。氣候寒くして終歲氷雪絶えず。

氣候は赤道を距ること遠きに從ひて、漸く寒冷となるを常とすれども、亦土地の高低、山脈の向背、風位、海の遠近、並に海流等によりて著き變化を受くるものなり。

**六大洲及び五大洋** 地球の表面は水陸二部に分れ、陸面は水面の三分一に過ぎず。陸地は吾等の生活する所にして、水面は吾等の最も便利なる通路なり。陸地を**アジア**、**ヨーロッパ**

**パ**(歐洲)**南アメリカ**(南米)**北アメリカ**(北米)**オセアニア**(大洋洲)**アフリカ**の六大洲に分ち、水面を**太平洋**、**印度洋**、**大西洋**、**南氷洋**、**北氷洋**の五大洋に分つ。水陸の交錯する部分には、半島岬、港灣、海などありて、水陸交通の要路に當るもの多し。

**アジア**洲は大洲中の最も大なるものにして、其の大部は北温帯にあり。其の東部及び南部の太平洋原は地味肥沃にして人口殊に稠密なり。西部及び南部を除く外は、黄色人種の本土にして、**アジア**の島帝國なる**本邦**の外、大陸には**清**(支那)、**韓**(朝鮮)、**シヤム**(暹羅)等の諸國あり。

**オセアニア**洲は**オースタラリヤ**(濠洲)及び南太平洋に散在する數多き島嶼の總名にして、何れも歐米諸國の屬地なれば、其の國人の移住するもの殊に多し。

**アメリカ**は南北兩大洲に分れ、北寒帯より南寒帯に至る四

帯に亙り、殆ど地球を南北に縦断す。大平原に富めども人口は未だ稠密ならず。北米合衆國・英領カナダ・ペルー・ブラジル・アーゼンチン共和國等の諸國あり。今より四百年前歐洲人によりて発見せられたる新世界にして、今尙拓地殖民の事業盛に行はる。

ヨーロッパは大洲中の最も少なるものにして、アジア洲の一半島たるに過ぎず。全部殆ど北温帯にあり。大平原なしと雖も人口は稠密なり。白色人種の本土にして此の所より世界の各地に移住して國を成せるもの多し。イギリス(英國)・フランス(佛國)・ドイツ(獨國)・ロシア(露國)・オランダ(蘭國)・オーストロ、ハンガリ(奥匈國)・イタリー(伊國)・スペイン・ポルトガル等の諸國あり。

アフリカ洲は歐洲の南アジア洲の西に位し、大部は熱帯に

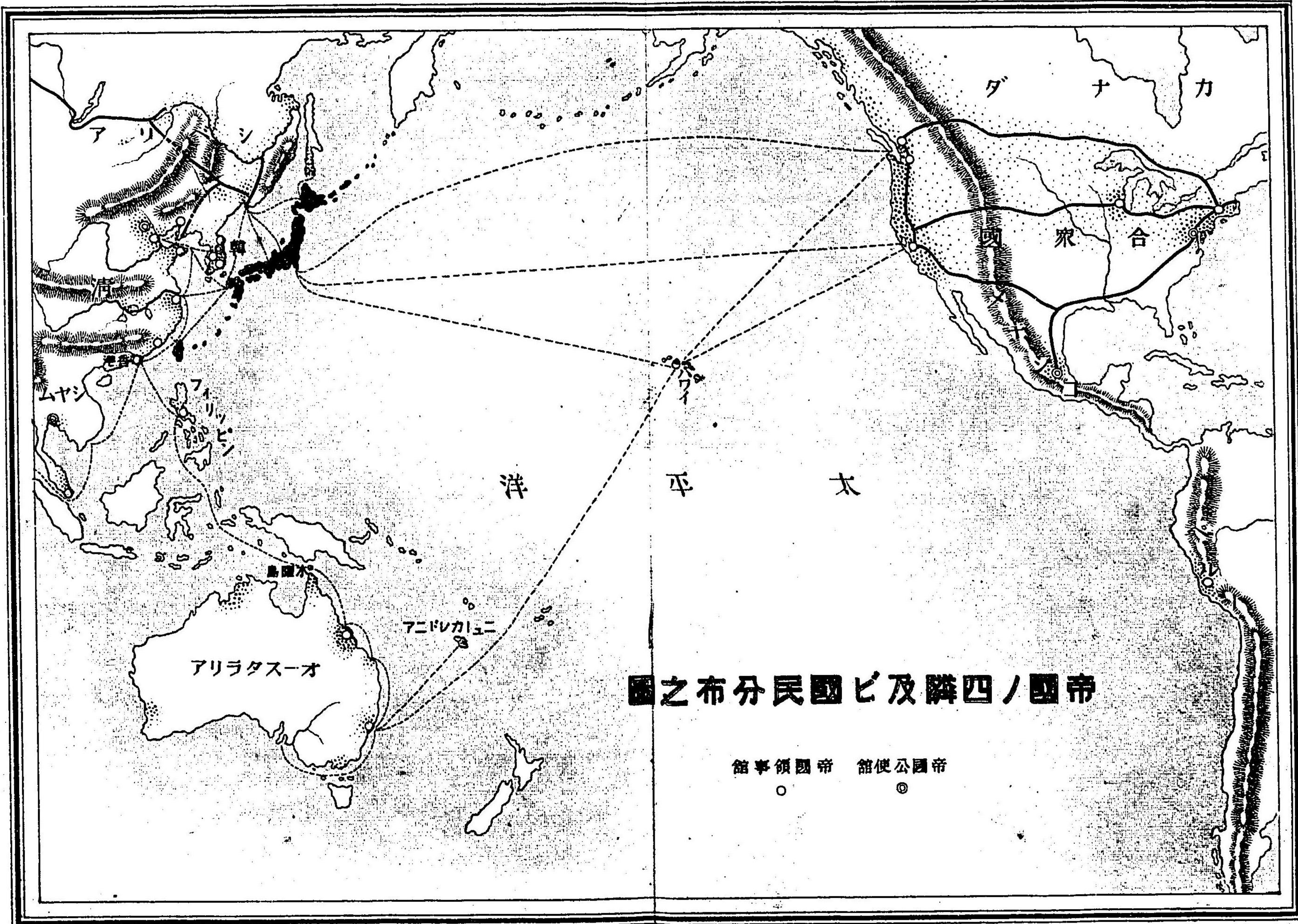
ありて平地稀なり、近時歐洲諸國の分領する所となり、白人の殖民するもの多し。

太平洋は大洋中の最も大なるものにして、アジア、アメリカ兩大洲の間に在り。南部には大洋洲の島々散布し、帝國の領土は其の西北部に連る。帝國民に取りては最も重要なる海洋にして、其の水の打ち寄する島々及び沿海の地方には、到る所に帝國民移住し、帝國との間に定期航海の便ありて、往來最も容易なり。

### 總説

**帝國の位置及び四隣** 我が大日本帝國はアジア大陸の東岸に懸れる一鏈の島嶼にして、英國と東西相對せる海國なり。其の北東より南西に向ひて千二百餘里の間に連れる大小許多の島嶼は、大陸に向ひて彎曲し自ら三個の弓狀をなす。北弓の**千島**は大陸との間にオコック海を抱き、中弓をなせる**北州**・**本州**・**四國**は日本海を隔て、**シベリア**及び**朝鮮**と相對す。朝鮮は我れに最も接近せる國にして、其の釜山は本州の西端赤間關よりの航程僅かに十時間に過ぎず。此の國在留の帝國民は二萬以上あり。又シベリアにも帝國民の

帝國の西  
北にシベ  
リア朝鮮  
あり



帝國ノ四隣及ビ國民分佈之圖

帝國領事館 ○  
 帝國公使館 ⊗

帝國の西  
に清國あり

南にフィ  
リッピン  
諸島濠洲  
あり

東に北米  
大陸及び  
ハワイあり

住居するもの四千餘人あり。其の海港ウラジオストクは日本海岸の敦賀又は七尾より四十時間にして達すべし。支那海及び東海を擁して南弓を爲せる九州・琉球及び臺灣は清國と相對す。其の南清地方は臺灣と最も接近し、十九時間の航海にて往復すべし。帝國民の清國に在留するもの四千餘人あり。臺灣の南パシ―海峽を隔て、フリッピン諸島あり。帝國民千人以上居住す。其の遙か南方に位する濠洲にも亦三千人の帝國民あり。又我が國の東には太平洋上二週間間の航程を隔て、北米大陸あり。其の合衆國及びカナダには帝國民の移住者殊に多く、合衆國の屬島ハワイに在るものを合すれば、其の數九萬を超ゆ。帝國の四隣に位する以上の諸國は、何れも我れと重要なる關係を有す。

**帝國の領土及び國民** 帝國の領土は本州・四國・九州・北州

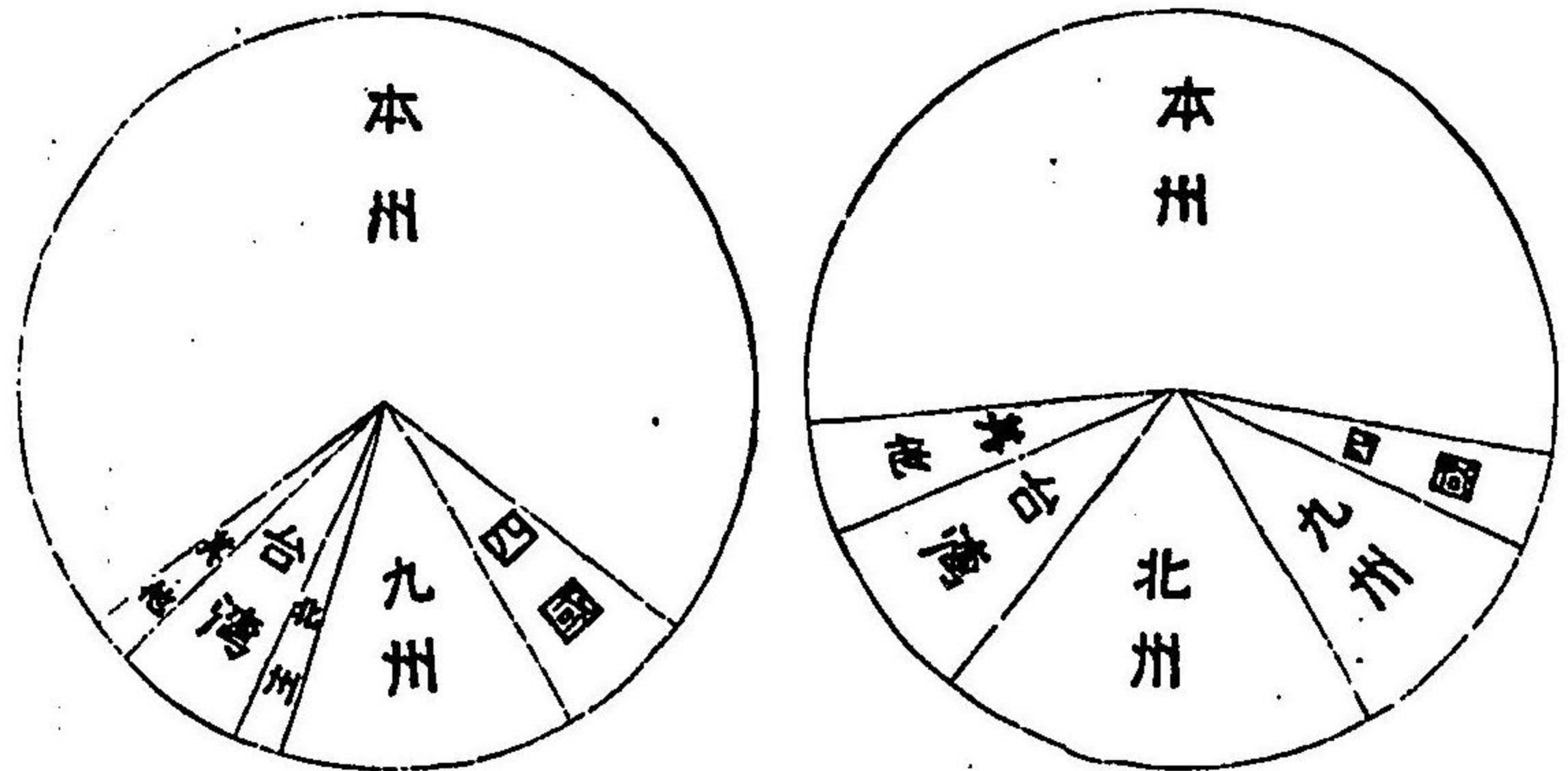
帝國の五大島

帝國民を成せる諸民族

臺灣の五大島と四百有餘の小島とより成る。本州・四國・九州の三大島及び附近の島嶼は、文化夙に開け人口最も稠密なり。古之れを大八洲と總稱せり。北方の大島北州は古蝦夷が島と稱し、之れに屬する千島と共に人口粗にして土地未だ開けず。九州の南にある臺灣及びこれに屬する澎湖列島は、帝國の領土となりし以來、日尙ほ淺きを以て未だ全く我が邦の文化に浴せず。以上の諸島嶼を合すれば全領土の面積二萬七千方里あり。

帝國民は萬世一系の天皇を奉戴し、東洋無比の強大國を成せる大和民族を主とし、北州に住居するアイヌ族、南清地方より移住せる清國人の子孫たる臺灣人及び臺灣土着の蠻人にして、領内の人口四千七百萬に及び、更に海外各地に移住せるもの亦十二萬人あり。而して人口と面積との割合は

一方里に千七百三十五人に當る。



圖の比分百口人

圖の比分百積面

	面積(百方里) 百分比	人口(萬) 百分比
本州	一四六・五	三三五・五
四國	一二・四	二九三・六
九州	二六・一〇	六四二・一三
北州	五・一九	八四・二
臺灣	二・三	二七六・六

帝國の地勢 帝國の地勢を支配する所の主要なる山脈は樺太・鹿峯の二大山系及び富士・千島・霧島の三火山脈なり。

樺太山系は露領樺太島に起り、北州にては其の北端より稍東南に走

地勢は氣  
候産業等  
に影響す

り、東北山脈・日高山脈となりて海に没す。本州に入りては太平洋岸に沿ひて南走し、鐵礦多き北上山脈となりて一たび海に没し、更に石炭に富める阿武隈山脈を隆起し、それより關東平野の西方を限れる關東山脈となる。北上・阿武隈兩山脈と并走して、本州の脊梁をなすものを中央分水山脈とす。那須火山脈に屬する諸火山其の脈中に隆起す。中央分水山脈の西方には更に銀銅に富める岩木火山脈ありて、これと并走すれども、屢河道に斷たれて、連續せる山脈を成さず。此等の山脈あるに由り北州中部及び本州東北部は、山地多くして寒氣強し。千島火山脈は露領カムチツカ半島より起りて南西の方向に進み、千島列島を貫きて北州に入り、同島の中央部に於て樺太山系に接す。

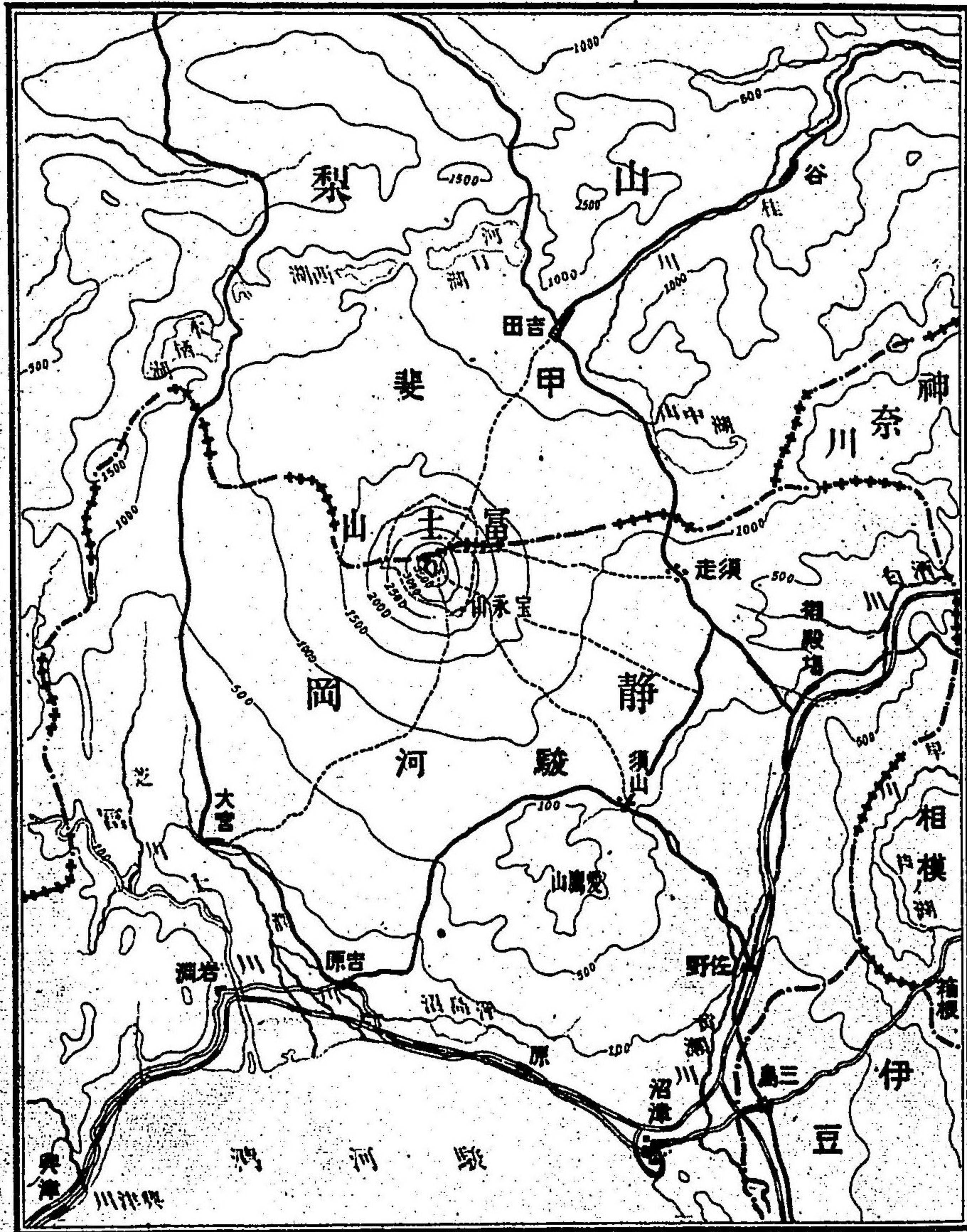
崑崙山系はアジア大陸崑崙山系より其の脈を延き來り

て、南西より北東の方向に走る。其の中央部に阿蘇火山脈・瀬戸内海あるを以て、分れて内外二帶の山脈となる。外帶山脈は九州にて九州南部山脈を起し、四國に入りて四國山脈となり、本州に入りて重厚なる紀伊山脈を起し、更に渥美半島に現はれ、高峻なる赤石山脈となりて、本州中央部に達す。内帶山脈は九州北部に石炭多き筑紫山脈を起し、本州に入りて砂鐵に富める中國山脈となり、東進して飛驒山脈及び木曾山脈となる。此等の諸山脈あるが爲め外帶の南面には雨多くして樹木繁茂し、内帶の北面にも亦雨雪多し。之れに反して其の中間の瀬戸内海は雨少くして製鹽に適す。霧島火山脈は九州南部山脈に接する霧島の活火山を其の主峯とし、其の脈琉球諸島を貫きて臺灣に達す。

樺太・崑崙二大山系の會合する本州中央部には、秀麗全國に



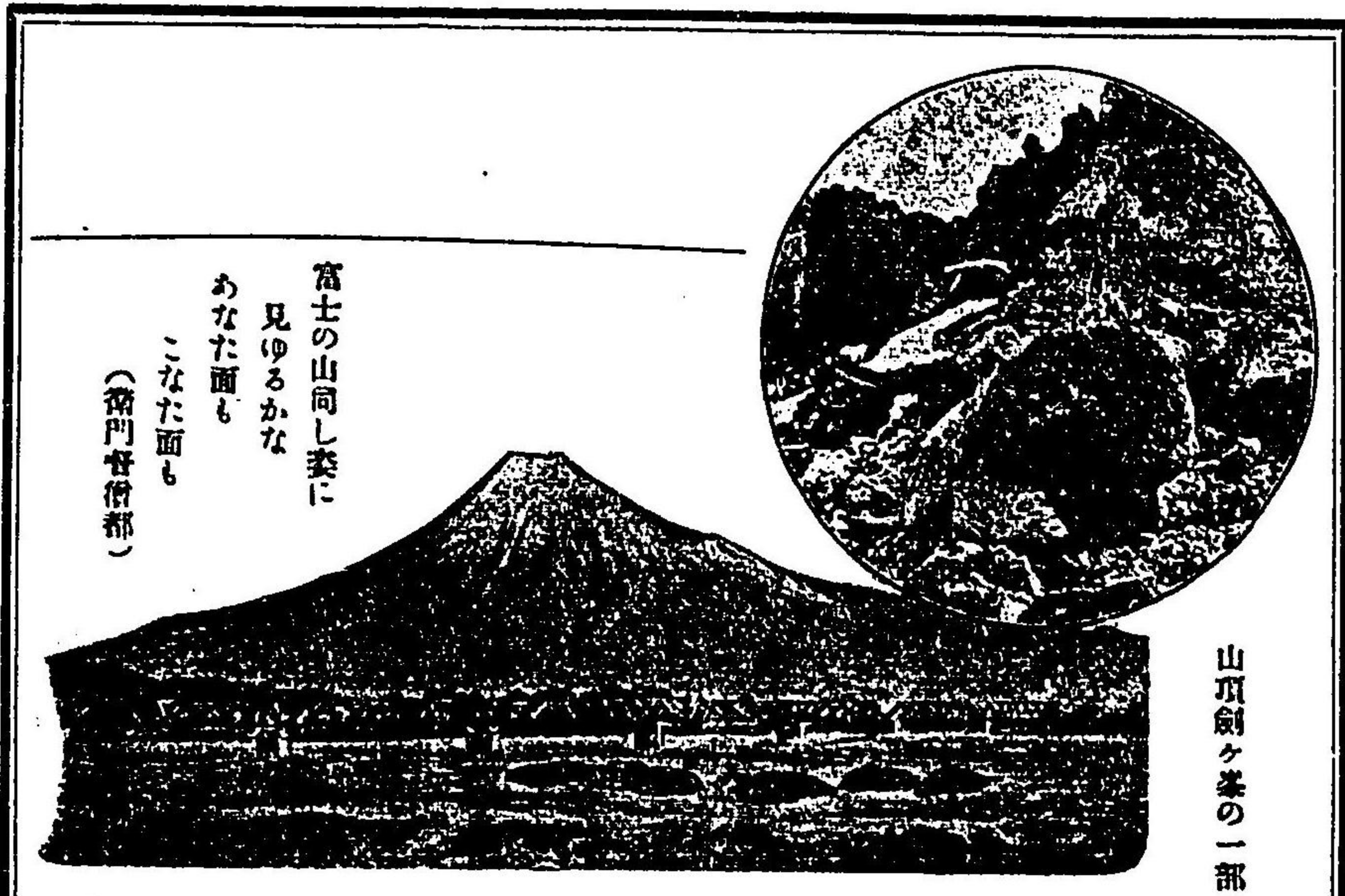
# 富士山附近之圖



高さは米突にて示す（一米突は三尺三寸なり）

尺本日 尺突米 四万分之一

本邦地理總説



富士の山向し姿に見ゆるかな  
あなた面も  
こなた面も  
(密門管僧都)

山頂剣ヶ峰の一部

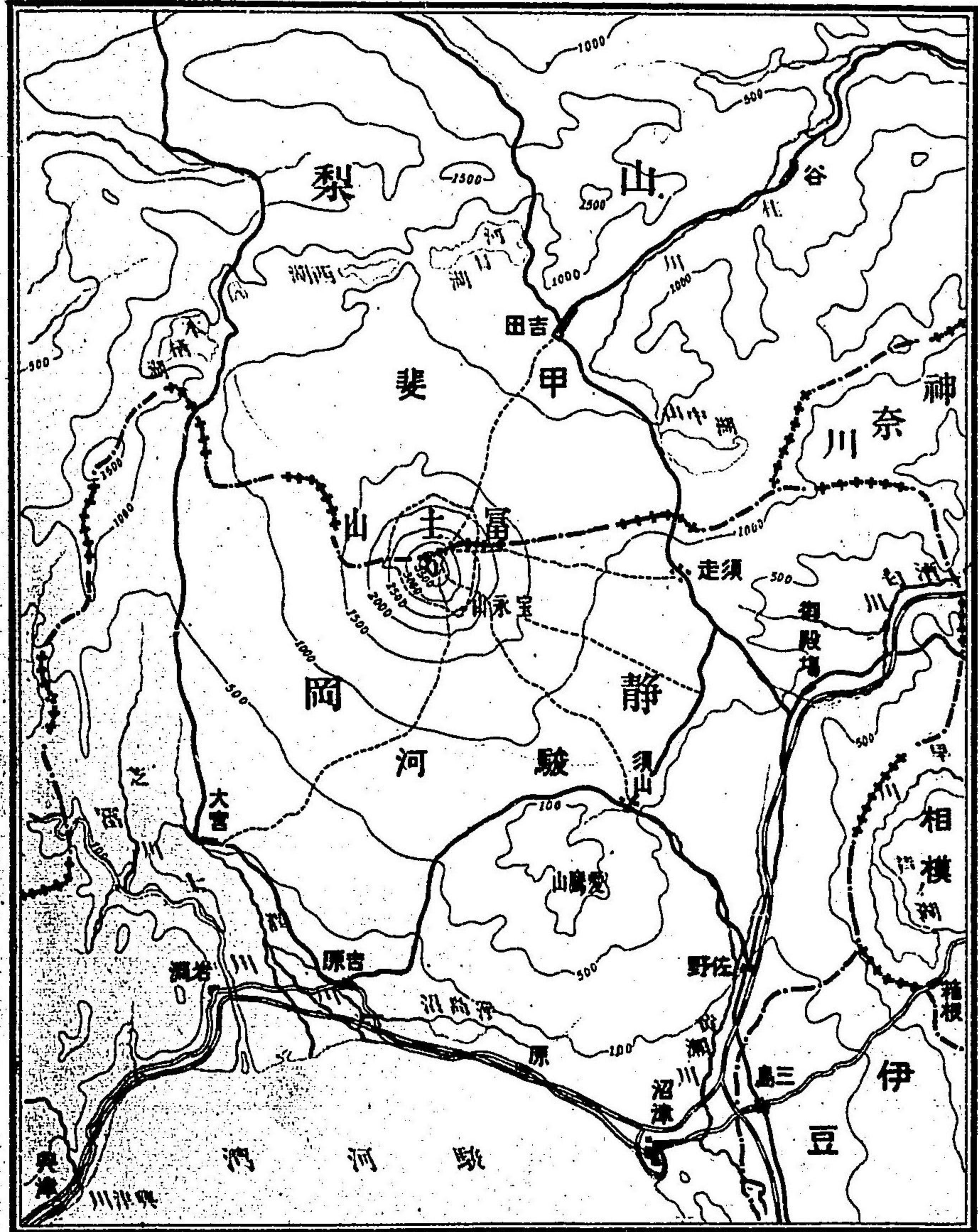
## 富士山の圖

岩湖と富士の四方面を望む  
右に側見ゆる起る山永永は左に側見ゆる  
岩湖と富士の四方面を望む

冠たる富士山屹立す。富士火山脈は其の南北に通ずる大洋に入りて豆南諸島・小笠原島・硫黄島を貫き遠く南洋諸島に達す。

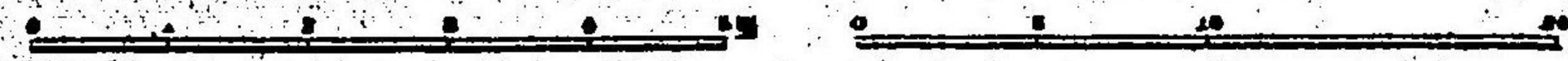
富士山は規模宏大なる休火山にして、裾野は遠く延びて萱野をなし、次第に木立となり、頂上に近ければ一面の焼野となる。頂上には圓形の火口に聳立し、西方の剣ヶ峰最も高くして海面上一萬二千四百尺に達す。山頂の温度は年

# 富士山附近之圖



高さは米突にて示す（一米突は三尺三寸なり）

尺本日 尺突米 尺之一分万十四



北日本  
南日本

中最高を七度とし、最低を零下三十三度とす。十月に至れば降雪あり。山麓には山中・河口等の富士八湖あり。夏季登山するもの多く、皆山中に一宿するを常とす。

富士火山脈により帝國を二大部に分つ。東北樺太山系に屬する地方を北日本と稱し、又西南崑崙山系に屬する部分を南日本と稱す。

臺灣は地勢上自ら別區をなす。臺灣山系東に偏して本島を南北に貫き、其の殆ど中央部に帝國の最高地點たる新高山（二萬五千尺）あり。西部の地方は田野開け人口稠密なれども、東部は人跡未だ到らざる深林多し。

河及び平野 帝國の全長千二百里を超ゆれども、其の幅は最も廣き所にて僅に百里に過ぎず。而して之れを貫ける數條の山脈多くは峻峻なれば、地勢は自ら海岸に向ひて急

河川の流域は産業發達し都會起る

斜面をなす従ひて河川は其の流れ概ね急なり。されど山脈に沿ひ若くは平野を緩流して、國中の大河を成せるものあり。大都會は大抵其の流域に發達せり。本州の主要なる河川は太平洋に注ぐものには、關東平野を流る、利根川を第一とす。東京・前橋・水戸・宇都宮等の都會は此の平野にあり。東北には北上・阿武隈の大河ありて、其の二大流域の中間に仙臺あり。本州中部には木曾川あり。地味最も肥沃なる濃尾平野を灌漑す。其の流域には名古屋・岐阜の都會あり。日本内海に注ぐ、淀川は利根川に次げる主要の河川にして、琵琶湖に發源し畿内の平野を貫流す。川口には大阪あり。其の支流の流域には京都あり。信濃川は日本海に注ぐ最大の河川にして、其の上流犀川・千曲川は善光寺平に會し、下流は越後の平野を灌漑す。長野・新潟は其の流

域内にあり。

北州の大河は石狩川にして其の貫流する石狩の平野は北州中田野最もよく開けたり。其の流域に札幌・旭川の新都會あり。

四國の大河吉野川は其の流域四國山脈に沿ひて東西に長し。川口に徳島あり。

九州の大河を筑後川とす。其の流域に佐賀若津港あり。

北日本

南日本

樺太山系に屬す

崑崙山系に屬す

大河大平野多し

大河大平野に乏し

北方に至れば未開の地多く人口粗なり

文化夙に開け人口密なり

東京を文化の中心とす。

大阪京都を文化の中心とす

海岸及び海面

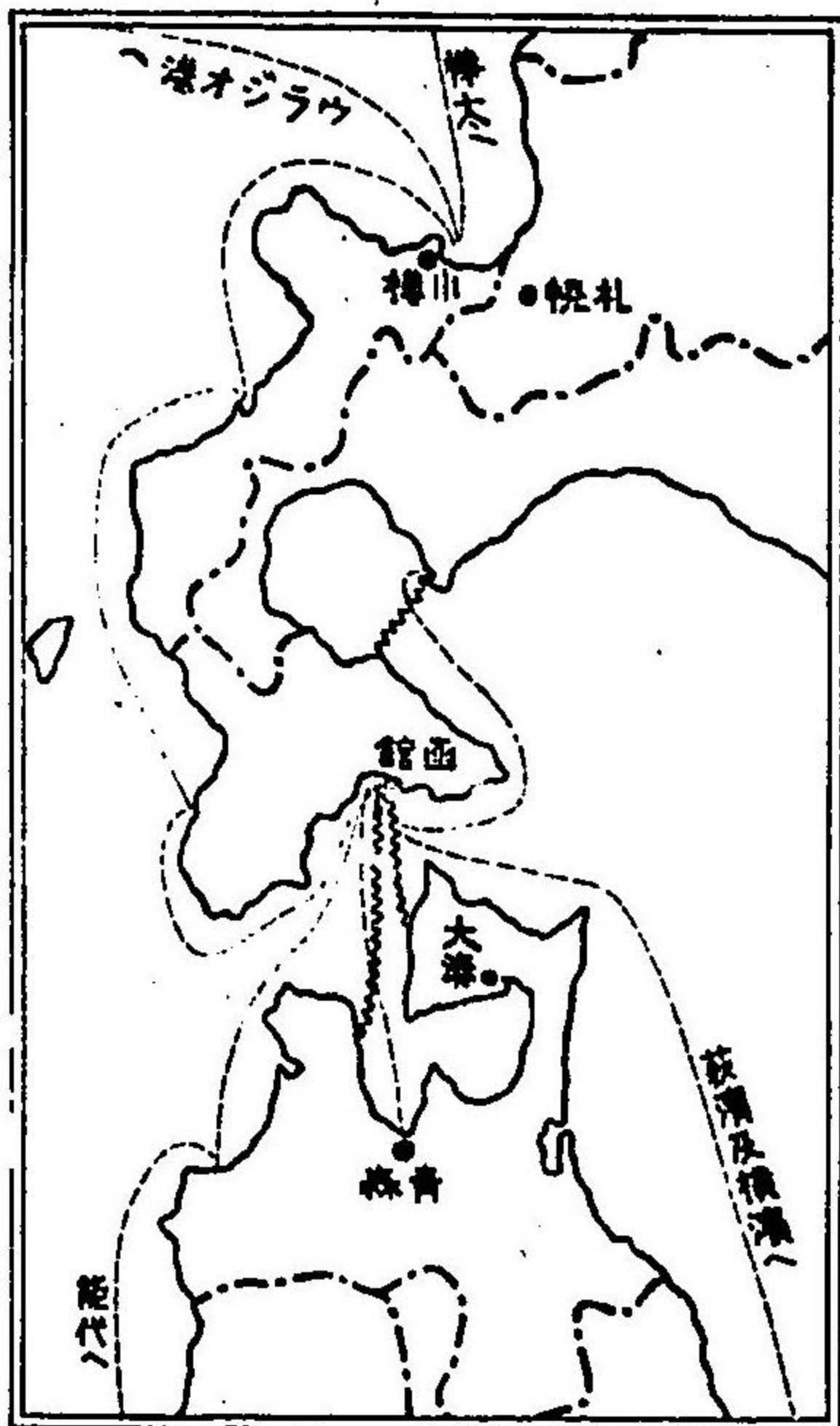
帝國の海岸線は全長七千五百里に達し、

沿岸及び海面の航行と漁業の影に響く

面積三方里半毎に海岸線一里の割合に當り、世界中最も海岸線に富める國の一なり。しかのみならず沿海には、大小許多の島嶼散布し、又寒暖の海流ありて、航通漁業の利便最も大なり。

**オコツク海沿岸** 北州沿岸は概ね低くして、出入極めて少なし。冬期は宗谷海峡の外は悉く氷結す。此の海面の東を限れる千島列島には二三の良港湾あり。

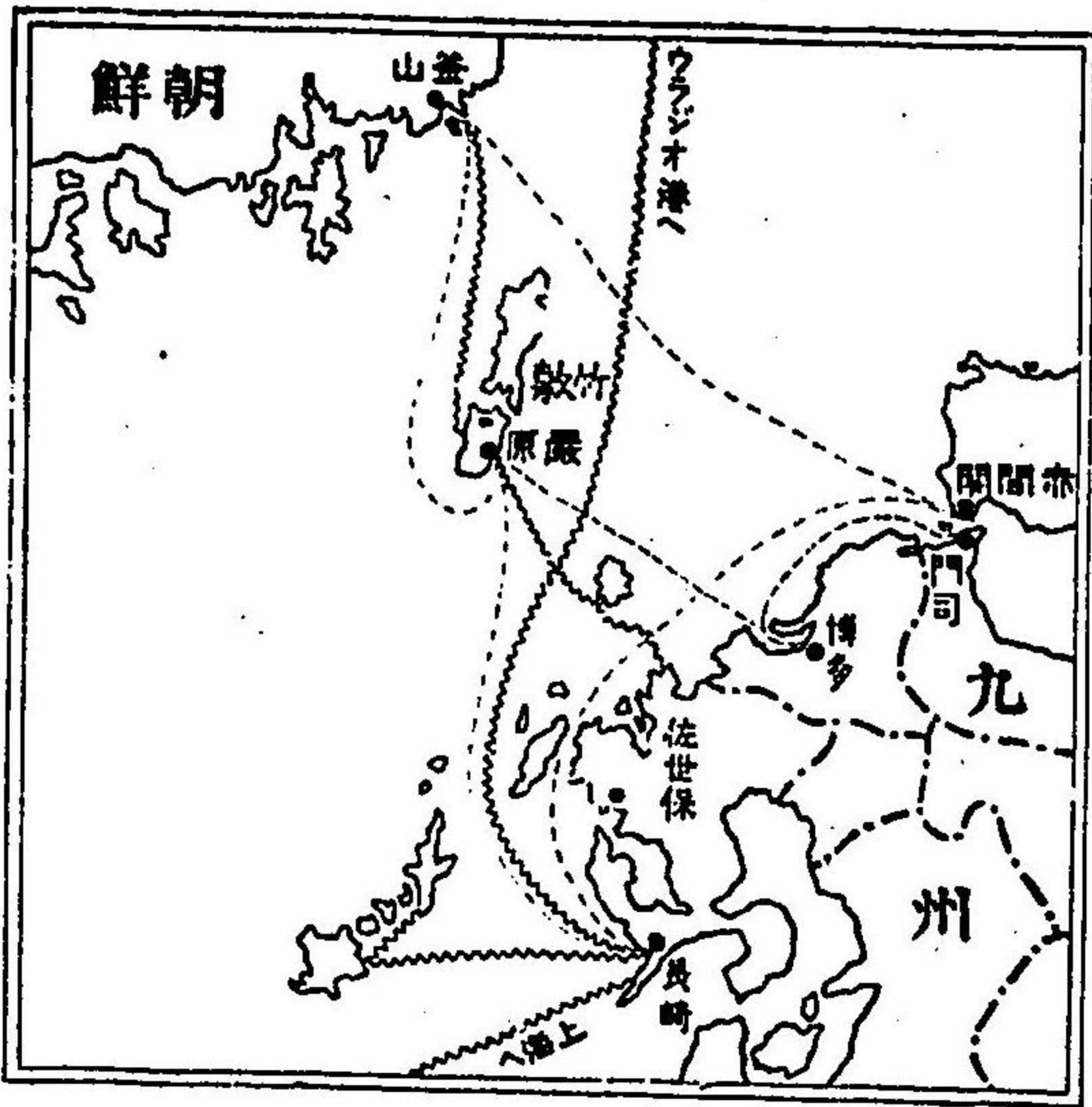
**日本海沿岸** 北州の沿岸は概ね砂濱にして、大なる出入なし。積丹半島の北方に石狩灣南方に岩内灣あり。石狩灣の小樽港は石狩平野の門口に當り、樺太及びウラジオ港に定期の航海あり。北州・本州間の津輕海峡は日本海の東門にして、其の北岸に函館港あり。又其の南の陸奥灣には大湊あり。本州の北西岸には男鹿、能登、島根の三半島と富山灣、七尾



津軽海峡の圖

灣、若狹灣の外著き岬灣なし。其の北部は砂濱多く、西部は概ね險崖なり。日本海上は冬季北西風強くして波荒れ、東・七尾、敦賀、境、等

安全の港あり。七尾、敦賀よりウラジオ港へ定期航海あり。九州の北岸は日本海沿岸中、港湾及び島嶼の最も多き部分とす。其の海面は有名なる玄海灘にして、博多灣を除けば絶壁險礁多く、壹岐、對馬の兩島は九州と朝鮮との間に横りて、日本海の南門を扼す。對馬に嚴原、竹敷の二港ありて、對馬海峡に臨む。對馬海流は支那東海より對馬海峡を経て、日本



朝鮮海峡の圖

岬と内浦灣の出入あり。内浦灣口に室蘭港あり。本州東岸は山脈に平行する部分に小灣入多く、皆險崖なり。中部及び南部は概ね砂濱にして、南部の砂丘殊に高し。沿岸の著き出入は牡鹿半島・仙臺灣及び犬吠岬とす。良港には唯荻濱ある

海に入り、本州及び北州の沿岸を洗ひ、津輕海峡・宗谷海峡を出て、其の跡を失ふ。烏賊は此の海流の名産なり。又北州一帯の沿海には鯨・鮭・鱈の漁獲多し。

太平洋沿岸 北州東岸

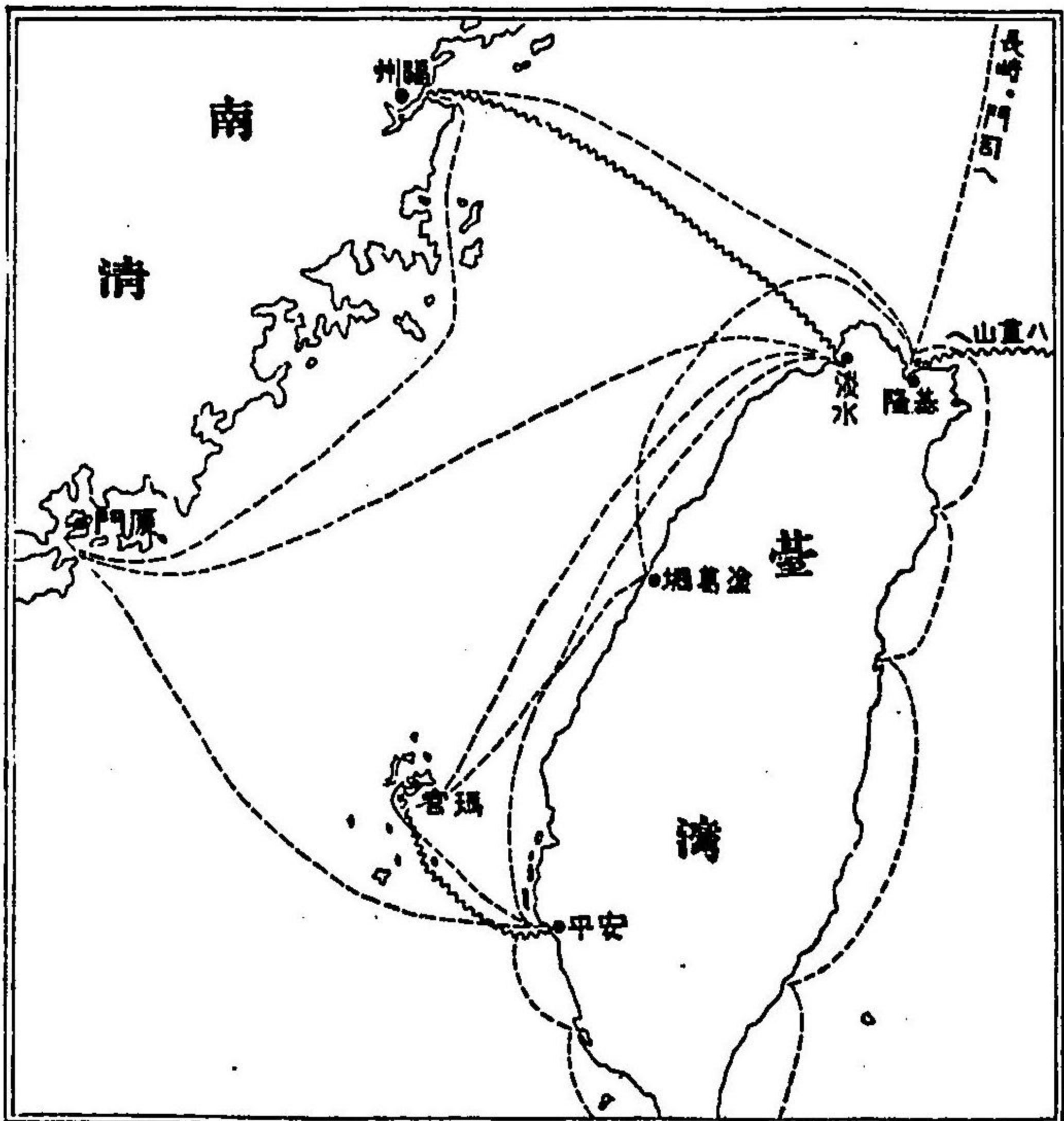
は凹凸極めて少く、僅に厚岸灣あるのみ。南岸は襟裳

のみ。親潮(千島海流)は千島の東に沿ひて南下し、牡鹿半島附近に至るまでの海面を洗ひ、昆布・臘虎・膾肭獸等の海産物多し。親潮の對馬海流の支流に會する海上には霧多く、北州及び本州北部沿岸の燈臺には霧笛を設くるものあり。本州南岸は房總・伊豆・紀伊の大半島あり。險崖を爲す。東京灣・駿河灣・伊勢海の沿岸は低くして、水亦深からず。港は横濱を推し、四日市・清水之れに次ぐ。横濱より四日市に至る間の海面を有名なる遠州灘とす。四國の南岸及び九州の東岸は水淺く、良港に乏し。土佐灣を擁する室戸岬・蹉陀岬附近は暗礁多し。鹿兒島灣に櫻島を控えたる良港鹿兒島あり。臺灣の東岸は山岳水際より崛起して、多くは絶壁をなす。黒潮(日本海流)はフリピン附近より北流し、臺灣の東岸を洗ひて東北に進み、支那東海にて對馬海流を分ち、九州四國及び本州

の南岸を洗ひて東流し、犬吠岬に至りて漸く帝國の領海面を離る。此の海流の流るゝ一帶の海面は鯉・鰯の好漁場なり。

**日本内海沿岸** 四國九州本州間の一大内海は即ち日本内海にして、由良・鳴門下の關豊後の四海峽にて外洋に通ず。其の淡路島以東を大阪灣とし、以西を有名なる瀬戸内海とす。瀬戸内海には花崗岩質の半島島嶼殊に多く、山光水色相映じて風景絶佳なり。沿岸には尾道・多度津等の良港多し。

**東海沿岸** 九州の西岸は瀬戸内海に似て、半島島嶼多し。港は長崎を主とし三角・口ノ津これに次ぐ。臺灣の西岸は砂丘多く、川口に砂洲あれども、港の利用すべきもの多し。淡水・安平は南清地方に對する良港にして、其の間に定期航海あり。澎湖列島は臺灣と南清地方との間にありて、東海の南門たる臺灣海峡を扼す。



臺灣海峡の圖

帝國の全海岸を大陸に面する方と大洋に面する方とに分てば、雙方の間に著き差異あり。但し九州及び臺灣は兩岸の關係全く相反す。

大洋面

海岸の出入及び島嶼多し  
傾斜緩にして交通便なり

大陸面

海岸の出入及び島嶼少し  
傾斜急にして交通不便なり

人口密にして大都會多し 人口粗にして大都會少し  
**氣候** 帝國は海國なるを以て、略同緯度に當れる大陸の朝鮮及び北清地方に比すれば、氣候溫和にして夏冬の温差少しと雖も、土地南北に延び地勢複雑なるが上に、アジア大陸及び寒暖海流の影響を受くる事亦少なからざるを以て、各地の溫度に大差あり。東京灣・伊勢海并びに日本内海附近の地は寒暖中を得て、夏冬の温差最も寡く、本邦第一の健康地なり。

風位は夏季に於ては南東風多く、大洋面各地の雨量を多からしめ、植物の生育旺なり。冬季は北東風多く、大陸面の各地に深雪を見る。唯北州及び奥羽の東岸は寒流に洗はるゝが爲めに雨量少し。而して此の雨風の交替期は降雨殊に多く。六月の梅雨は陰霖久しきに亙り、初秋の颶風は往々豪雨

を伴ふ。熱帯に近き琉球・小笠原島及び臺灣の平地は終歲降雪なく、植物の成長四時止む時なし。

東京の溫度 一月二、七 七月二四、三 全年平均一三、八

全年平均溫度 最高地 恒春 二四、五  
 最低地 釧路 四、七

寒暑の極端 最高地 臺南 三六、九  
 最低地 上川 (一)三八、三

**帝國の區劃** 帝國現時の行政區劃は全國を一道廳・三府・四十三縣に分ち、其の下に郡・市・區・町・村あり。臺灣は別に總督府を置き、其の下に二十廳を置く。又山河の形勢に基きて全國を八十五國とし、更に之れを畿内八道に大別する舊區劃あり。畿内とは古王城の地たりし京都附近の地方をいひ、夫より東の方太平洋沿岸地方を東海道とし、北の方日本海に

臨める地方を北陸道とす、東海北陸兩道の間にある本州中央の山地は本州の北端に至るまで之れを東山道といふ。中國山脈の南北を山陽道及び山陰道とし、畿内の南に當れる紀伊半島及び四國淡路の二島を南海道と云ひ、又九州及び琉球を西海道と名け、北州及び千島を北海道と名けたり。本書は府縣の行政區劃を基とし、舊區劃を參酌して、全國を十一地方に大別す。

### 地方誌

#### 帝國の二大中心地

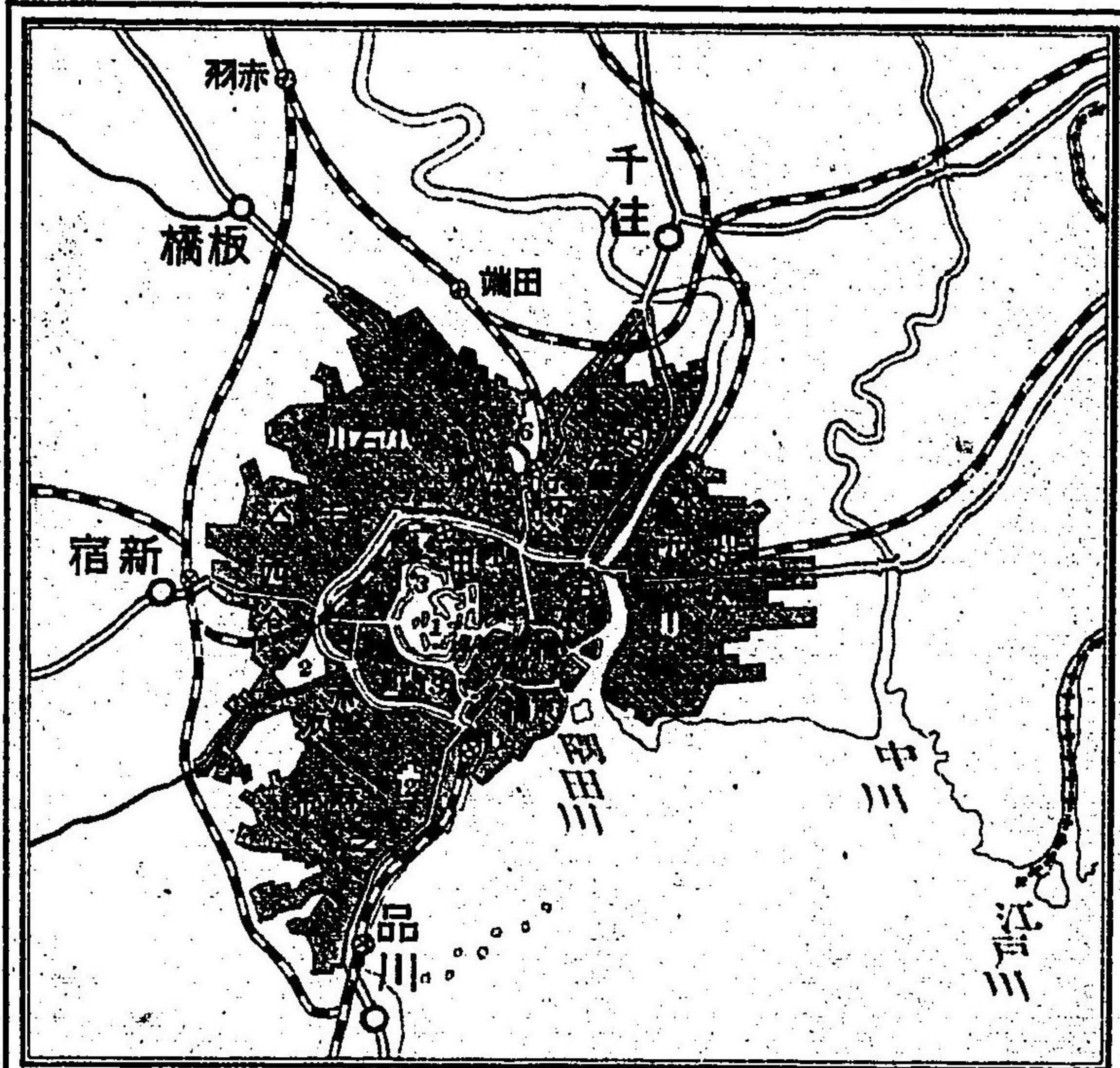
關東及び畿内の平野は帝國文化の二大中心地にして、古より帝國の首府は此の兩平野の一に在るを常とせり。現今帝國の三府及び二大開港場は其の域内に在り。

東京 關東平野の南部に位し隅田川に跨り東京灣に臨む。東西三里南北四里、人口百四十四萬あり。市街は十五區に分れ、東南の低地を下町シモマチと云ひ西北の高地を山ノ手ヤマノテと云ふ。下町は商工業繁盛の地區にして、山の手は貴族富豪の邸宅多し。此の地はもと江戸と稱し、徳川家康の幕府を開きしより、二百六十年間政治の中心たりしが、明治の初年其の名を現稱に改め、次で、皇居を茲に遷し給ひしより、全國の首府

政治は都  
會繁榮の  
一原因な  
り

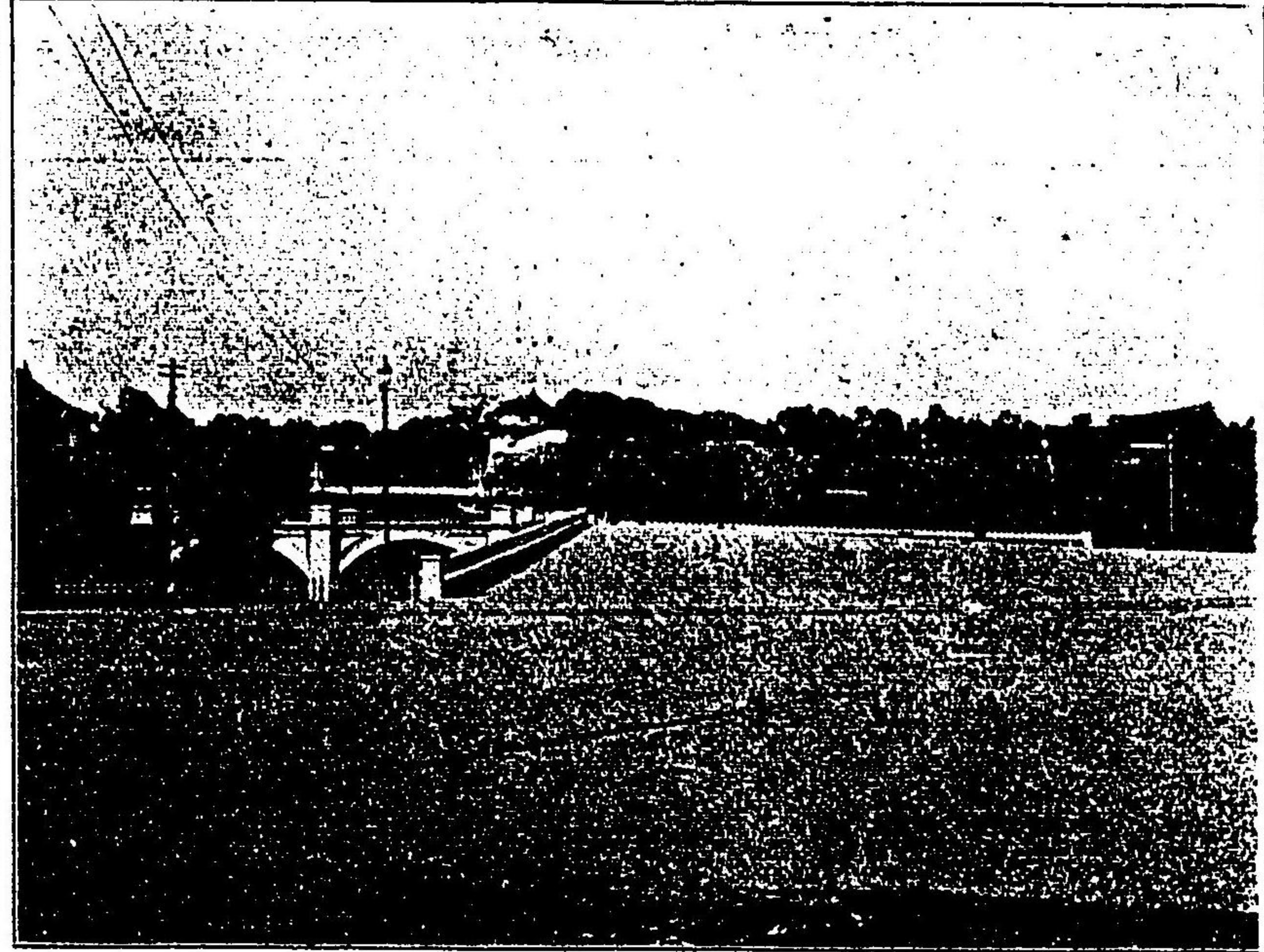


# 市京東



- 1 宮城
- 2 東宮御所
- 3 近衛團司令部
- 4 砲兵工廠
- 5 東京帝國大學
- 6 上野公園
- 7 上野停車場
- 8 淺草公園
- 9 日本銀行
- 10 本所停車場
- 11 新橋停車場
- 12 芝公園
- 13 帝國議會議事堂
- 14 飯田町停車場

尺之一分万十二

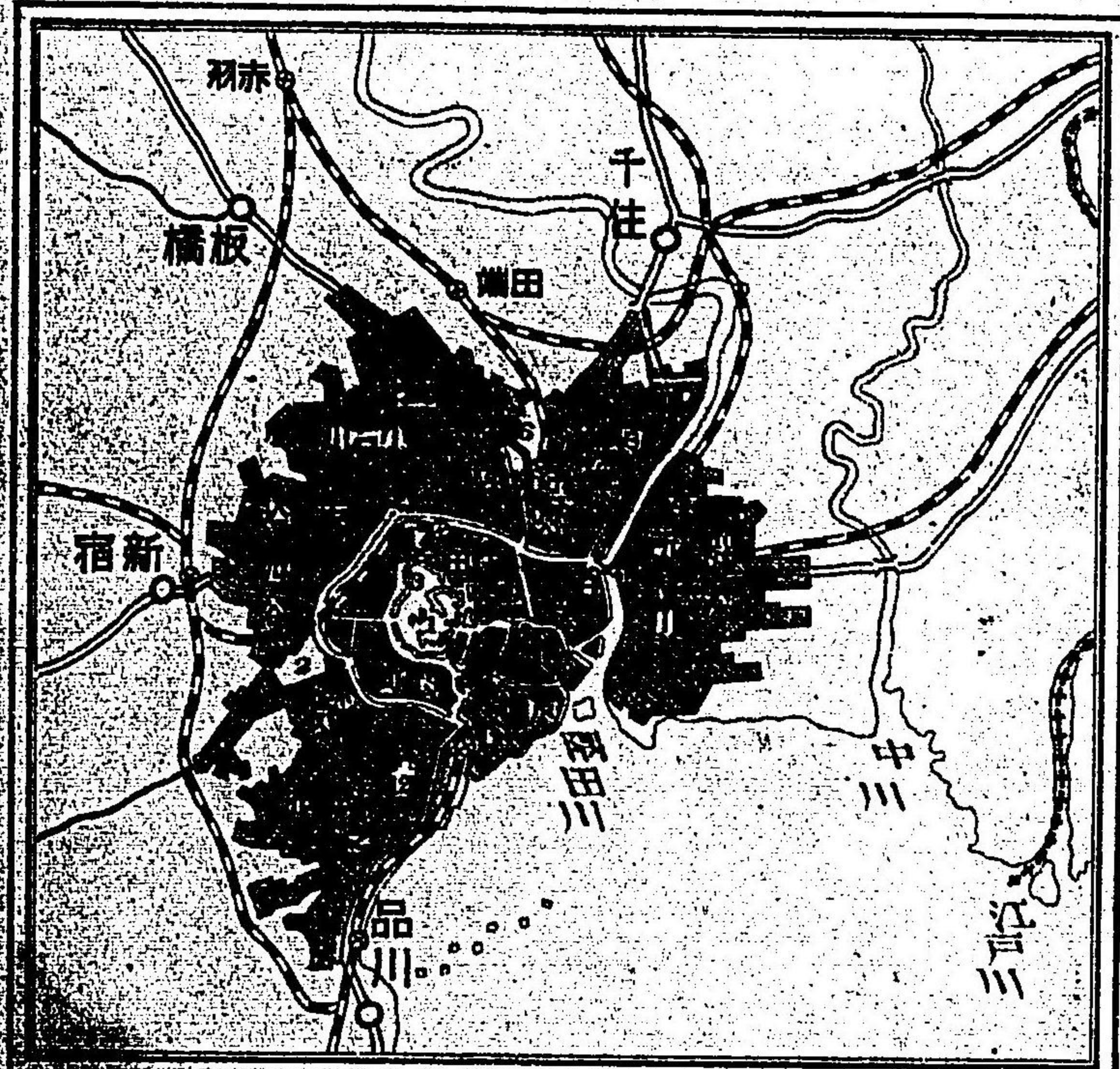


圖の城宮

ゆ見橋重二門正はに方左れば現に僅端一の城宮に方右。

となれり。  
宮城は市の中央に位す。昔太田道灌茲に居城を構へ「吾が宿は松原つゞき海近く富士の高根を軒端にぞ見る」と咏みし地なり。其の附近には近衛師團ありて禁闕を警衛し又中央政府の諸官省ありて全國の政務を統轄す。東京帝國大學高等師範學校其の外高等専門の諸學校亦茲にあ

# 東京市



- 1 宮城
- 2 東京府所
- 3 近衛團司令部
- 4 砲兵工廠
- 5 東京帝國大學
- 6 上野公園
- 7 上野停車場
- 8 浅草公園
- 9 日本銀行
- 10 本所停車場
- 11 新橋停車場
- 12 芝公園
- 13 皇居
- 14 飯田町停車場



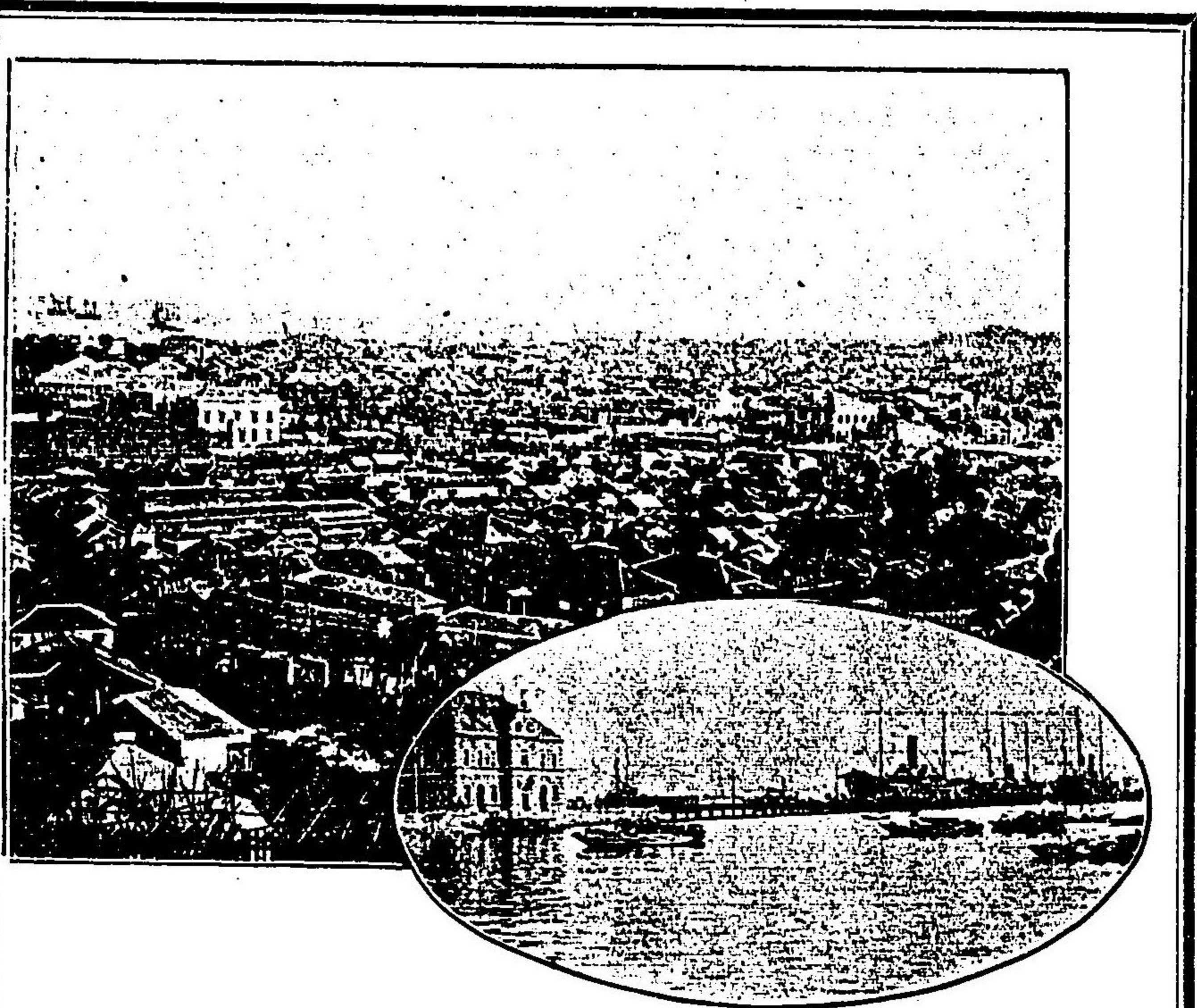
田端停車場の圖

日本鐵道東北線と海岸線との分岐點に於ての上野停車場の北に當る

りて、帝國教育學術の中心となり、學生の數五萬に及ぶ。近時東洋諸國より來り學ぶもの亦漸く多し。其の他市内に第一師團司令部、陸海軍大學校、帝國圖書館、皇室博物館、動物園等あり。又宮城の西北に靖國神社あり。公園は上野、淺草、芝等其の名最も著はる。東京を中心とし四方に通ずる道路は西に東海道、中仙道、甲州街道あり。北に奥州街道、濱街道あり。鐵道亦概ね此等の街道に沿うて敷設せらる。新橋より發する東海道

鐵道線は東海道に沿ひ、名古屋を経て畿内地方に達す。甲武鐵道は飯田町より起り、甲州街道に沿ひて官設中央東線と連絡す。上野を起點とする日本鐵道線は進むに従ひて三線に分岐す。中仙道に沿ひて官設信越線と連絡する高崎線、奥州街道に沿ひて東北地方に通ずる東北線、濱街道に沿ひて同地方に通ずる海岸線之れなり。又總武鐵道は本所より發して關東平野の東部に通ず。海運は品川横濱と相俟ちて内外諸港との交通盛なり。

東京は以上の交通區域に對する物貨の大集散地なり。されば商工業の機關たる銀行會社の數は日本銀行を主とし、八百有餘あり。工業は印刷局、砲兵工廠、海軍造兵廠等の官設工場を初めとし、綿絲、摺付木、西洋紙、麥酒、時計、羅紗等の製造盛なり。殊に鐵製諸器械、出版、印刷業、醫術、理化學の器械製作は

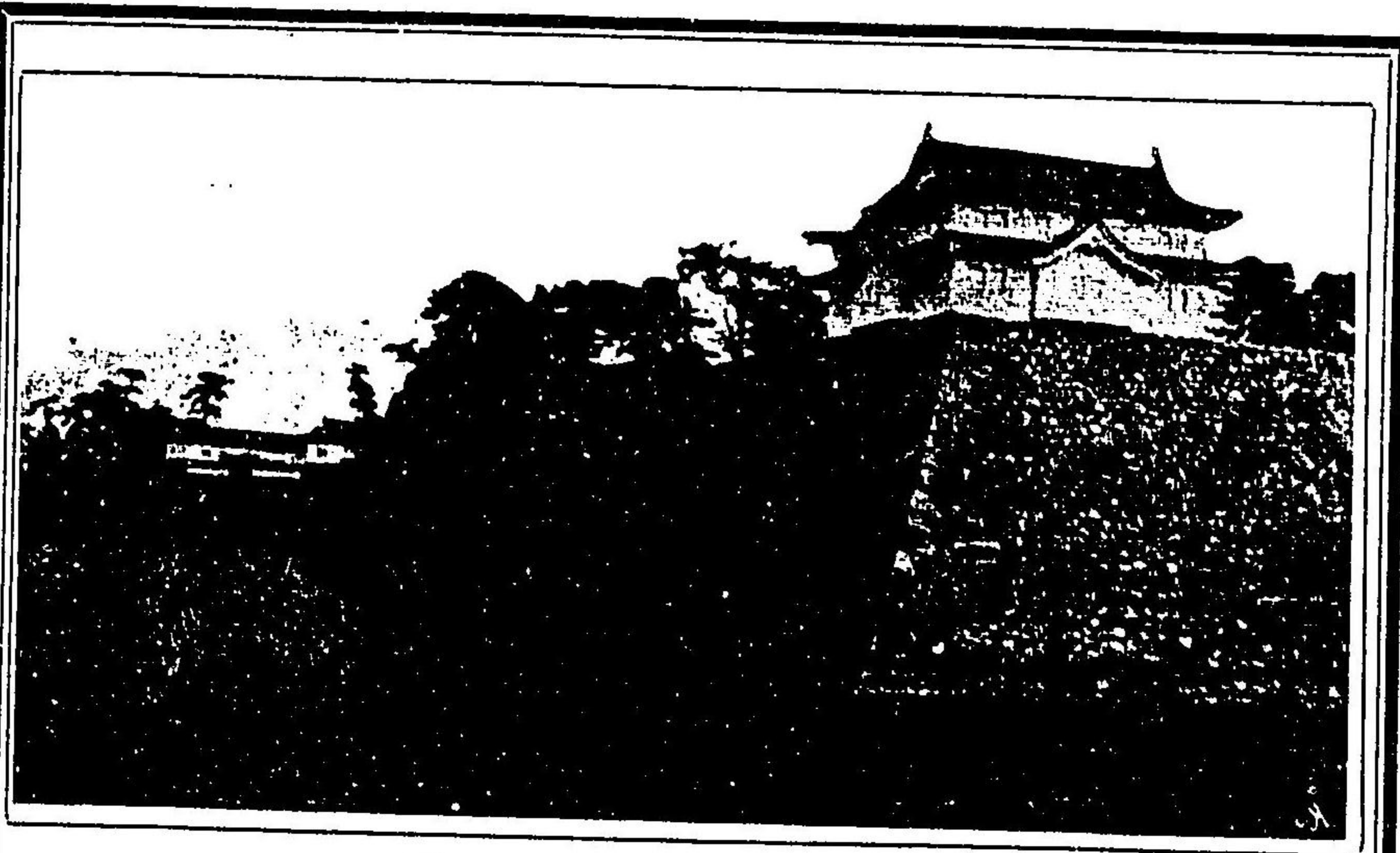


圖の街市濱横

圖の關稅び及場止波港濱横

帝國第一に居る。

**横濱** 東京の輸出入口にして其の南方汽車一時間程に位す。もと一漁村に過ぎざりしが、開港以來年々繁榮を加へ、今は本邦第一の貿易港となり、其の人口二十萬に達す。港の防波堤は明治二十五年竣功し、更に大築港の計畫あり。日本郵船會社、東洋汽船會社を初めとし、歐米諸汽船

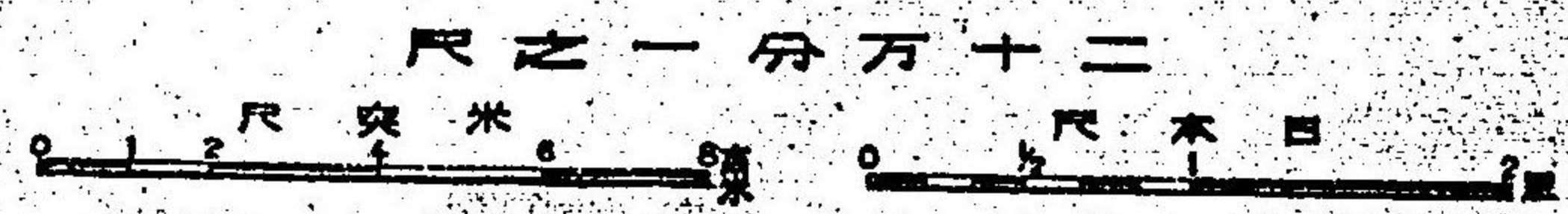
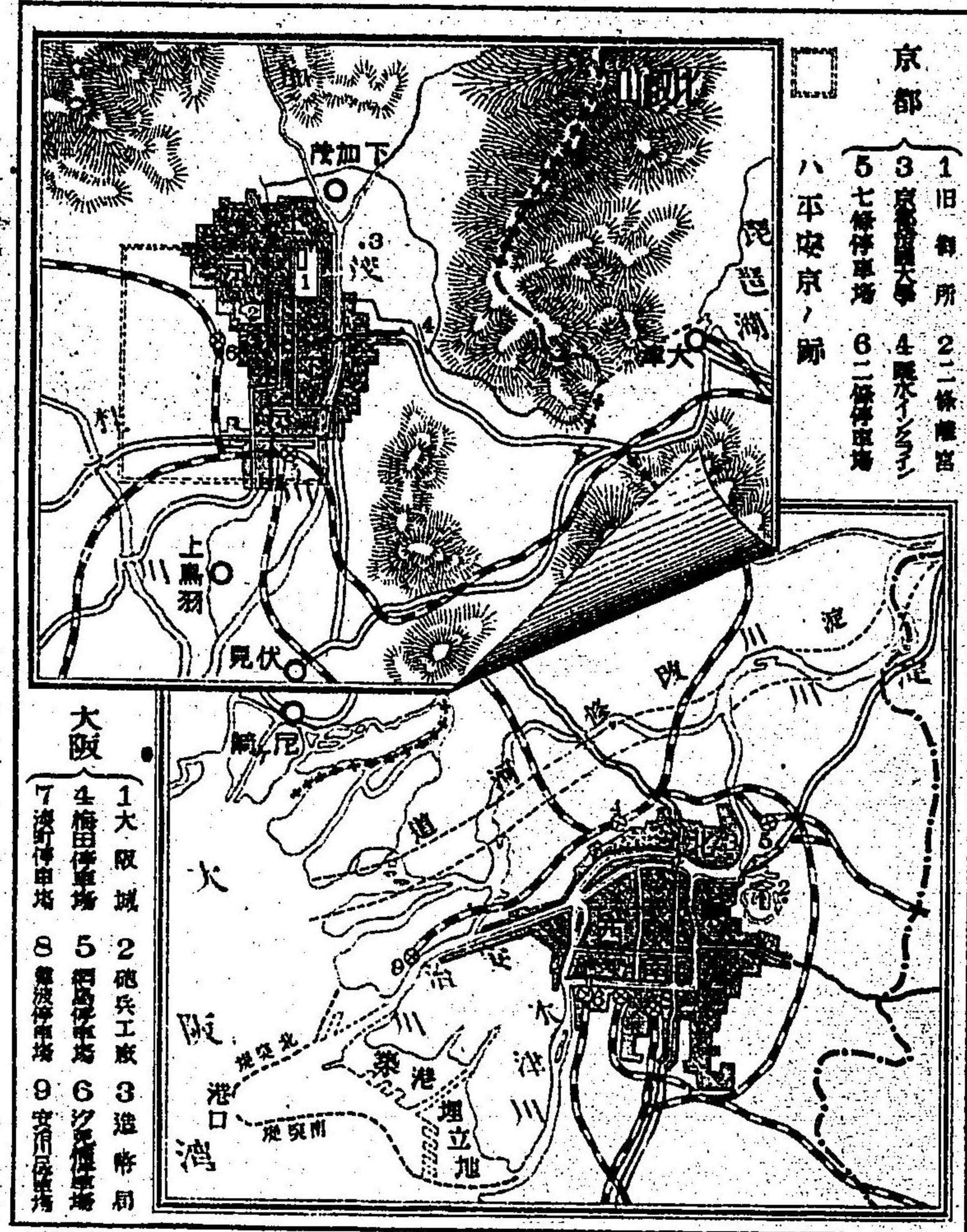


大阪城之圖

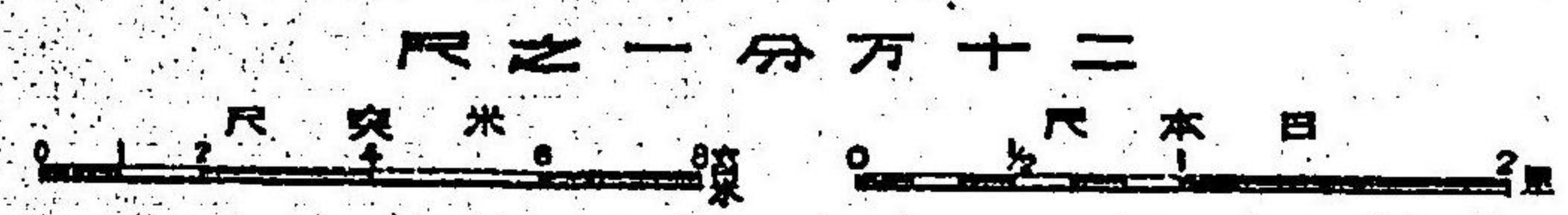
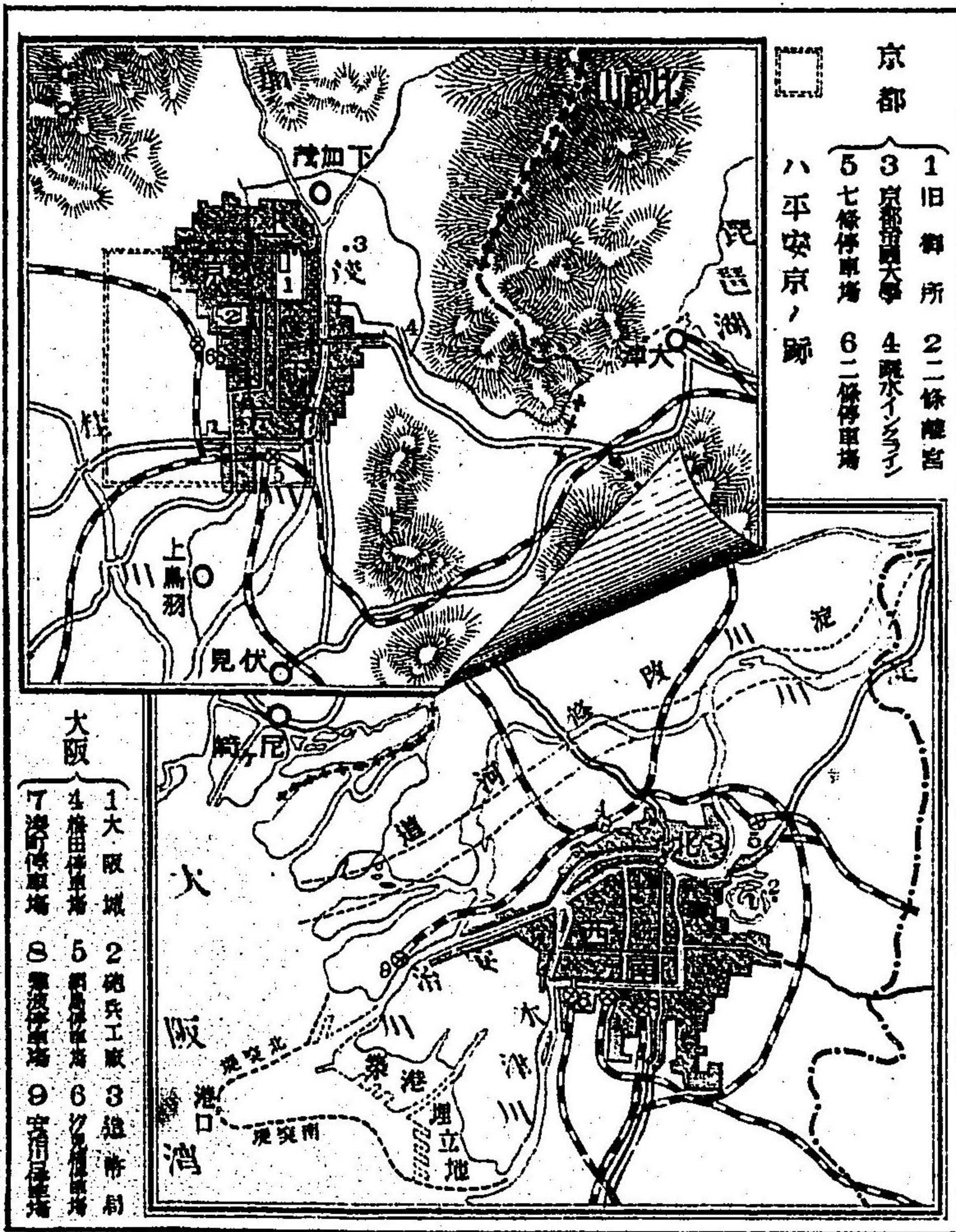
會社の支店あり。内外諸港に至る定期の航海絶えず。生絲・絹織物・銅・茶等を輸出し綿・羊毛・綿絲・金巾・メリンス・砂糖・鐵・石油等を輸入す。

**大阪** 畿内平野を貫流する淀川の三角洲に位し大阪灣に臨み、帝國第二の大都會にして、人口八十二萬あり。市街は四區に分れ、溝渠縱横に通じて運漕最も便なり。此の地はもと仁徳天皇の都し給ひし浪速津にして、中頃豊臣秀吉の築城以來繁榮日に増し物貨輻湊し、今は帝國隨一の商工業地となれり。市内に第四

# 市阪大・市都京



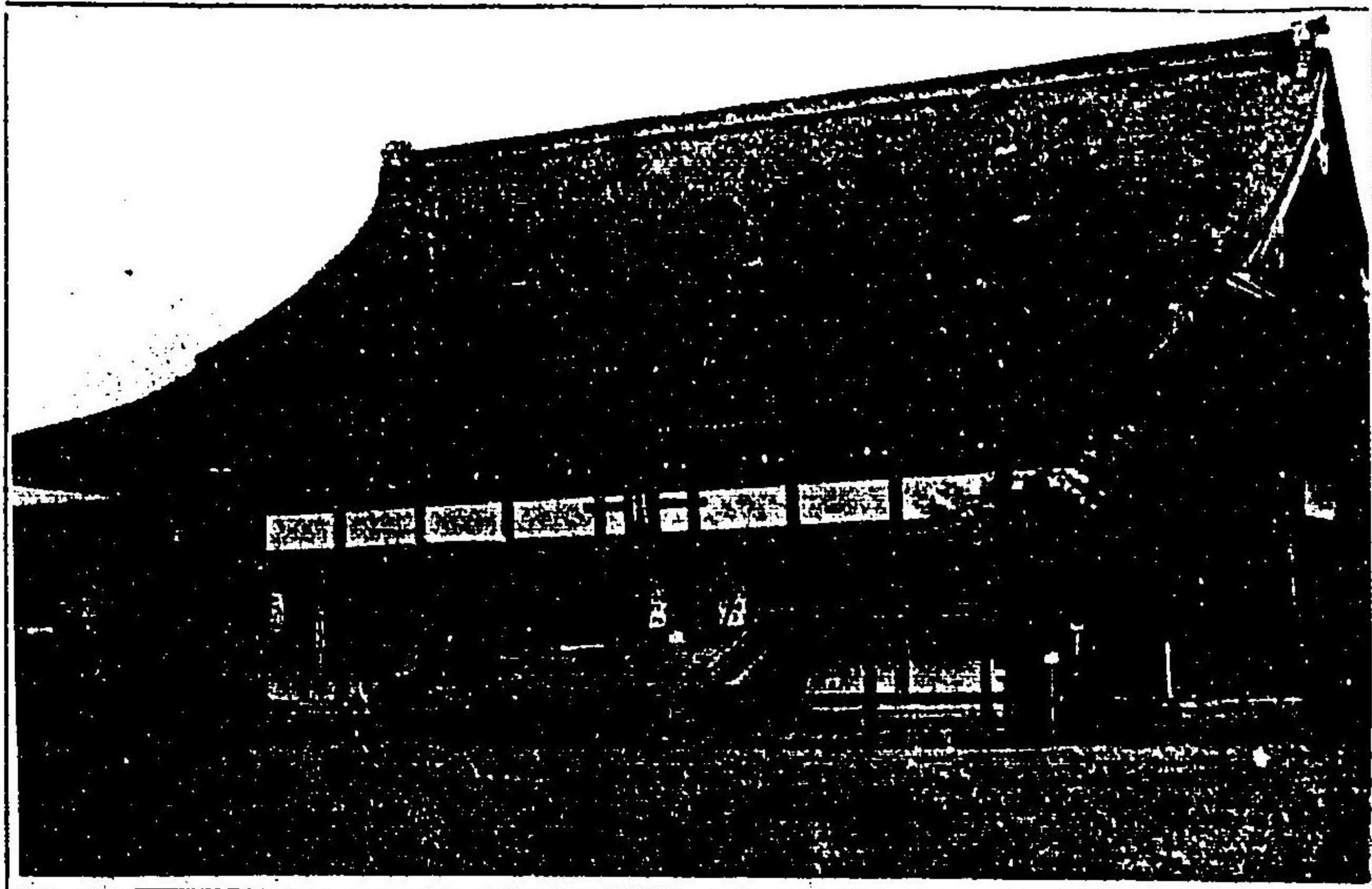
# 市 阪 大 . 市 都 京



交通の便  
は商工業  
を發達せ  
しむ

師團司令部、控訴院、大阪高等工業學校あり。  
 東海道鐵道線は梅田を過ぎて神戸に至り、東京、神戸間を連  
 絡す。關西鐵道は名古屋より奈良を経て、網島及び湊町に來  
 り、南海鐵道は難波より發し、堺を経て和歌山に通じ、阪鶴鐵  
 道は梅田より北走して丹波福知山に達す、其の他汐見橋よ  
 り發する高野鐵道、安治川口に向ふ西成鐵道あり。海運は  
 大阪商船會社の航路を主とし、關西各地方及び臺灣、清國の  
 間に定期の航路ありて、其の貨物を集散す。而して今や大規  
 模の築港經營中なるを以て、完成後は一層の發達を見ん。  
 工業の主要なるものは砲兵工廠、造兵寮を初めとし、紡績、造  
 船、摺付木、砂糖等の製造とす、銀行會社の數六百に及ぶ、貿易  
 は綿絲、水産物、摺付木を輸出し、綿、砂糖、米、豆を輸入す。全國各  
 地との取引頗る多し。

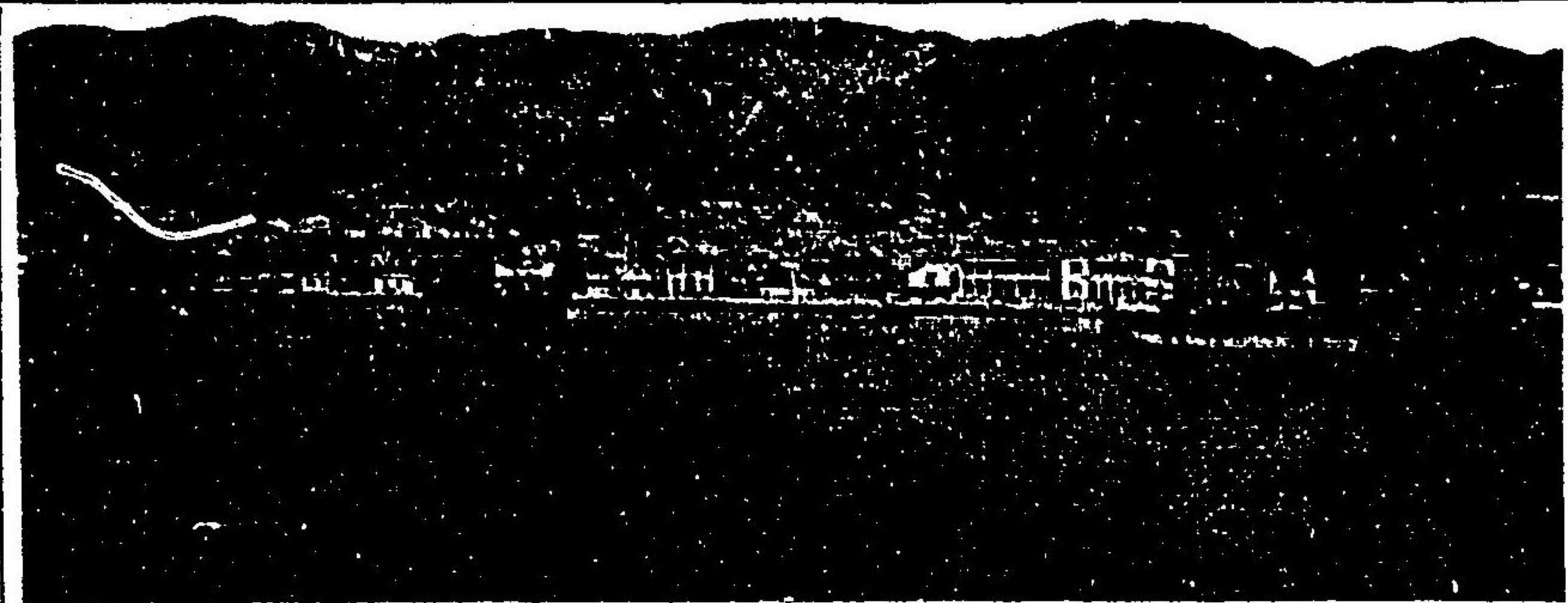
京都の政治の中心となれり



京都 畿内平野の北部に位し北東西の三面は丘陵を以て限られ南方は平野遠く開けて大阪灣頭に至る帝國第三の都會にして、人口三十五萬餘あり市街は二區に分れ街衢端整なり。此の地は桓武天皇奠都以來明治の初年まで千有餘年間の帝都たりし所にして舊御所二條離宮を初めとし到る處に神社佛閣あり殊に各宗の本山

多く茲に集る。市の美術工藝は全國に冠絶し西陣織鴨川染清水焼粟田焼等精巧を以て鳴る。近頃又京都帝國大學第三高等學校高等工藝學校を置かれ關西學術の中心となれり。東海道鐵道線は七條を過ぎ東京大阪の間を連絡す。南は奈良鐵道にて伏見を経て奈良に達し北は京都鐵道二條より起りて丹波園部に達す。水運は琵琶湖畔の大津市より南方伏見に達する疏水運河あり。夫より淀川によりて大阪に下るべし。

神戸 大阪の西汽車一時間程に位し人口二十二萬關西第一の貿易港なり。地勢は山を負ひ海に臨み地域狭小なれども京都大阪の輸出入口に當るを以て商業の盛大なること横濱と伯仲す。此の地は東海道鐵道線の終點にして又山陽鐵道の起點たり。港内水深く安全の錨地にして内海を經

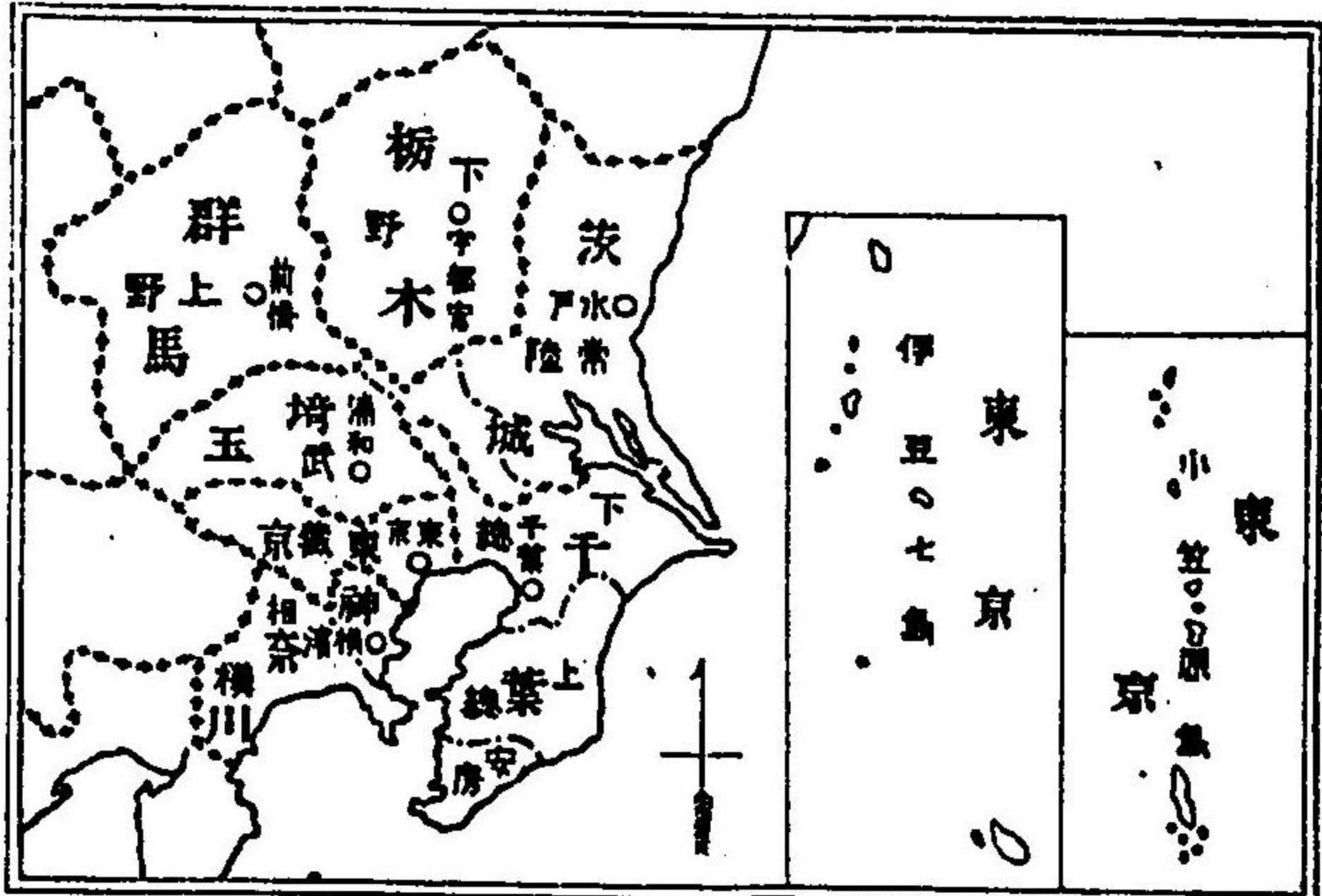


神戸港海岸の圖

由する大阪出入の船舶は皆茲に寄港し、大阪との商業上の關係最も密着せり。主要の輸出品は綿絲・銅・麥稈・眞田・茶・米・地蓆・樟腦等とし、輸入の主なるものを綿・砂糖・石油・メリンス・鐵・肥料等とす。神戸・横濱・大阪の輸出入額を合せば、帝國貿易全額の七割を占む。

### 關東地方

關東地方は阿武隈山脈の南、關東山脈の東に在り。大部は太平洋に向ひて開展せる關東の平野にして、利根



關東地方の圖

府縣名	廳所在地	及び其の人口	距離東京より 汽車程
東京	東京市	一四四、〇	五一分
神奈川	横濱市	一九、四	四二分
埼玉	浦和町	七	四二分
千葉	千葉町	二、六	一時〇九分
茨城	水戸市	三、四	四時一〇分
栃木	宇都宮市	三、二	三時二三分
群馬	前橋市	三、四	三時四〇分

川其の中央部を貫流し、其の北に那珂川、南に荒川・多摩川・馬入川あり。此の間に八國あるを以て、之れを關東八州と呼ぶ。又其の一部上野・下野を兩毛地方と總稱し、安房・上總・下總を

房總地方と總稱す。海岸は東に犬吠岬あり。南には房總三浦兩半島突出して、其の間に東京灣を擁す。此の兩半島は丘陵にして絶壁を成せども、其の他は概ね砂濱なり。關東地方の交通機關は日本鐵道海岸線東北線中仙道線甲武鐵道官設東海道鐵道線の外東京より千葉佐倉を経て銚子に達する總武鐵道及びこれと連絡する房總成田の二線あり。東武鐵道亦東京より起りて、東北海岸の二線と連絡す。又北部には東北線と十字形を成して、東西に水戸前橋を連ぬる兩毛線あり。信越鐵道は高崎に起り、信越地方に通ず。其の他尙小支線あり。海上には横濱より大阪神戸・豆南諸島東京灣沿岸の諸港、及びハワイ・北米合衆國等に通ずる定期航海あり。

東京府 關東平野の西南部多摩川荒川下流の流域にし

水の深サ  
は港の要  
件なり

て古の武藏野の一部なれば、地勢平坦にして山岳は僅に西部にあるのみ。地味肥えて農産物に富む。東京附近には小都會多し。

品川は東京の南に連り、ガラス煉瓦等の製造所あり。其の港は水淺けれども、東京に最も近き錨地なれば、船艦の出入多く、附近の淺海は海苔を産す。八王子は製絲機織の業盛んにして、一樂織・風通織を産し、染織學校を置く。其の北なる青梅は青梅鐵道にて甲武鐵道に連絡し、眞綿石灰を出す。豆南列島は富士火山脈を延ける島嶼の總稱にして、大島・八丈島等の伊豆七島、父島・母島等の小笠原群島、其の西南の硫黃島列島、及び鳥島を包含す。大島には三原山の活火山あり。遠州灘の航海中其の噴烟を望むべし。各島地味瘠せて耕作に適せず、住民概ね漁業・牧畜・機織に従事す。大島の大島紬



八丈島の八丈絹殊に名高く、又小笠原島は砂糖・藍・珈琲・山羊・鱧・琥珀を主産とす。大島の波浮港は幕吏秋廣平六が舊噴火口を開きて成せる所にして、海底深きに過ぐれども、大島唯一の碇泊地たり。

神奈川縣 關東平野の南西、東京府の南に位す。箱根・足柄の連山は西境に峙ち、大山中央に聳えて、地勢は西北より東南に傾く。三浦半島は馬入川流域の東を限りて東南に延び、房總半島と相對す。其の東岸に横濱・横須賀の二港あり。又灣口の觀音崎には砲臺ありて防備嚴なり。半島西方の沿岸には鎌倉大磯あり。東海道鐵道は鎌倉を経て横須賀に達する支線あり。



東京灣入口之圖

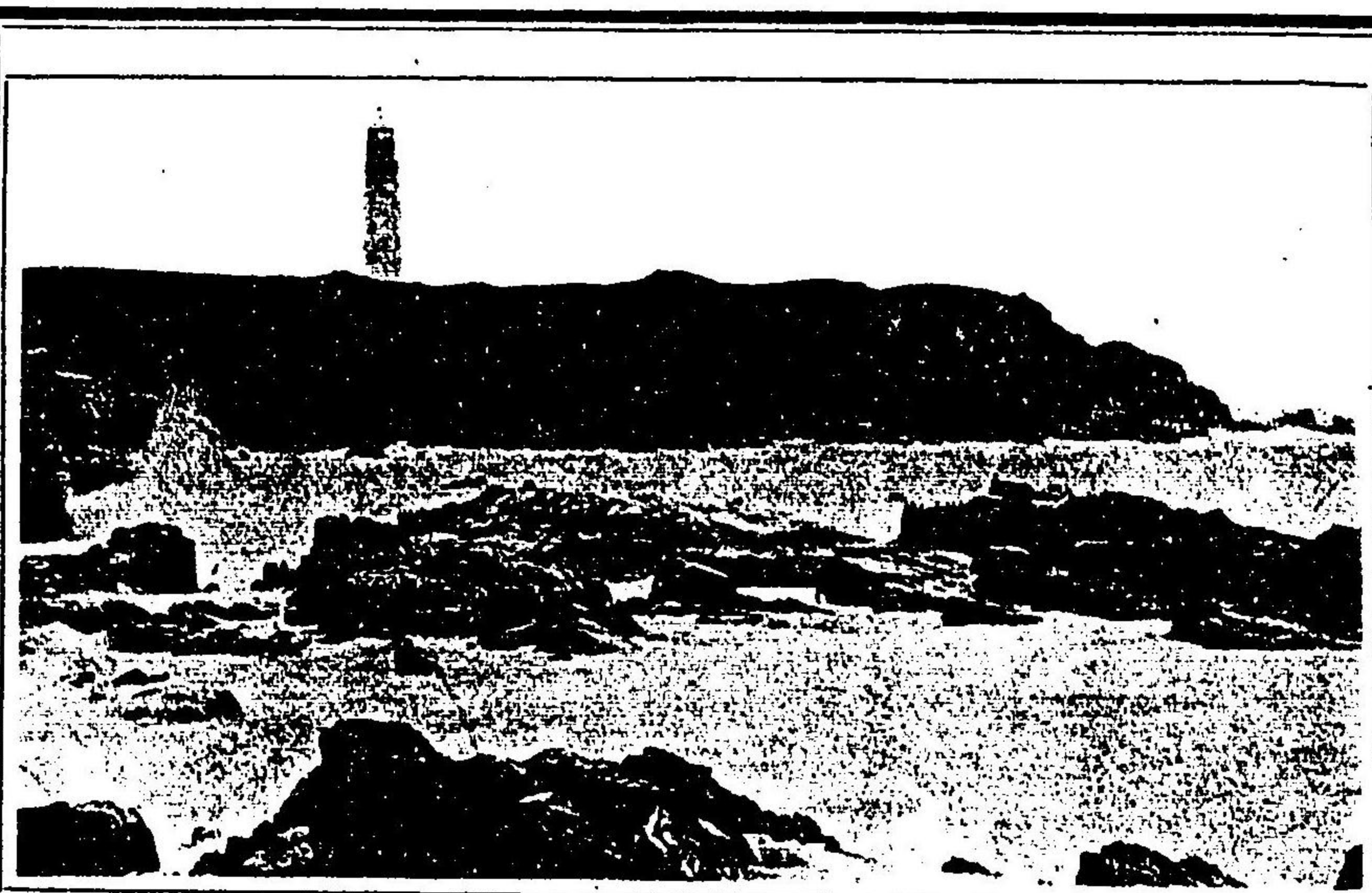
産業は地勢に關係す

温泉は火山地方に多し

横須賀軍港は本州の太平洋岸中、紀伊半島以東の海面を管する第一海軍鎮守府の所在地にして、東洋第一の造船所並びに海兵團海軍機關學校あり。鎌倉は源氏の故地にして鎌倉宮・鶴岡八幡宮・建長寺・稻村崎等の古蹟多く、附近に江島・金澤等の勝地あり。小田原は箱根及び熱海温泉の要路に當る都會にして、東海道鐵道との間に電車の便あり。又熱海に至る人車鐵道あり。沿海漁業の利多し。附近の秦野は葉烟草の産を以て知らる。海道一の要害と呼ばれたる箱根は一大休火山にして、箱根七湯を以て其の名高く、山頂の蘆湖は風光幽清なり。湖邊の箱根驛は昔關門の設ありし所とす。埼玉縣 東京府の北に位し、關東平野の西部を占む。縣の西部は甲信地方に接續する高地にして、關東山脈の秩父諸山聳ゆ。此の地方は養蠶盛にして、秩父絹を出す。其の他の部

分は秩父山より發する荒川及び利根川の支流江戸川の流域にして、地勢平坦地味肥沃なり。殊に麥の産額多きこと府縣の隨一とす。又木綿織の産出多く熊谷及び置廳以來繁榮に赴ける浦和を其の中心市場とす。浦和には甲種農業學校あり。其の北の大宮は日本鐵道中仙道線と東北線との會合點にして、日本鐵道會社の大工場を有す。大宮の東北の加須より東京吾妻橋に至る東武鐵道あり。

川越は甲武鐵道に連絡する川越鐵道の起點にして、川越平織の産あり。商業の盛なること縣内第一とす。熊谷は秩父地方に向ふ上武鐵道の起點にして、穀物・生絲織物の取引多し。  
**千葉縣** 東京府の東に隣し、關東平野の東南部を管す。北部下總は關東平野の一大部にして、習志野・小金原等の廣野あり。東京灣より利根川に至るまで平地遠く連れり。南部の



犬吠岬の燈臺附近の圖

岬の東南端にあり高き海面上一六八呎なり

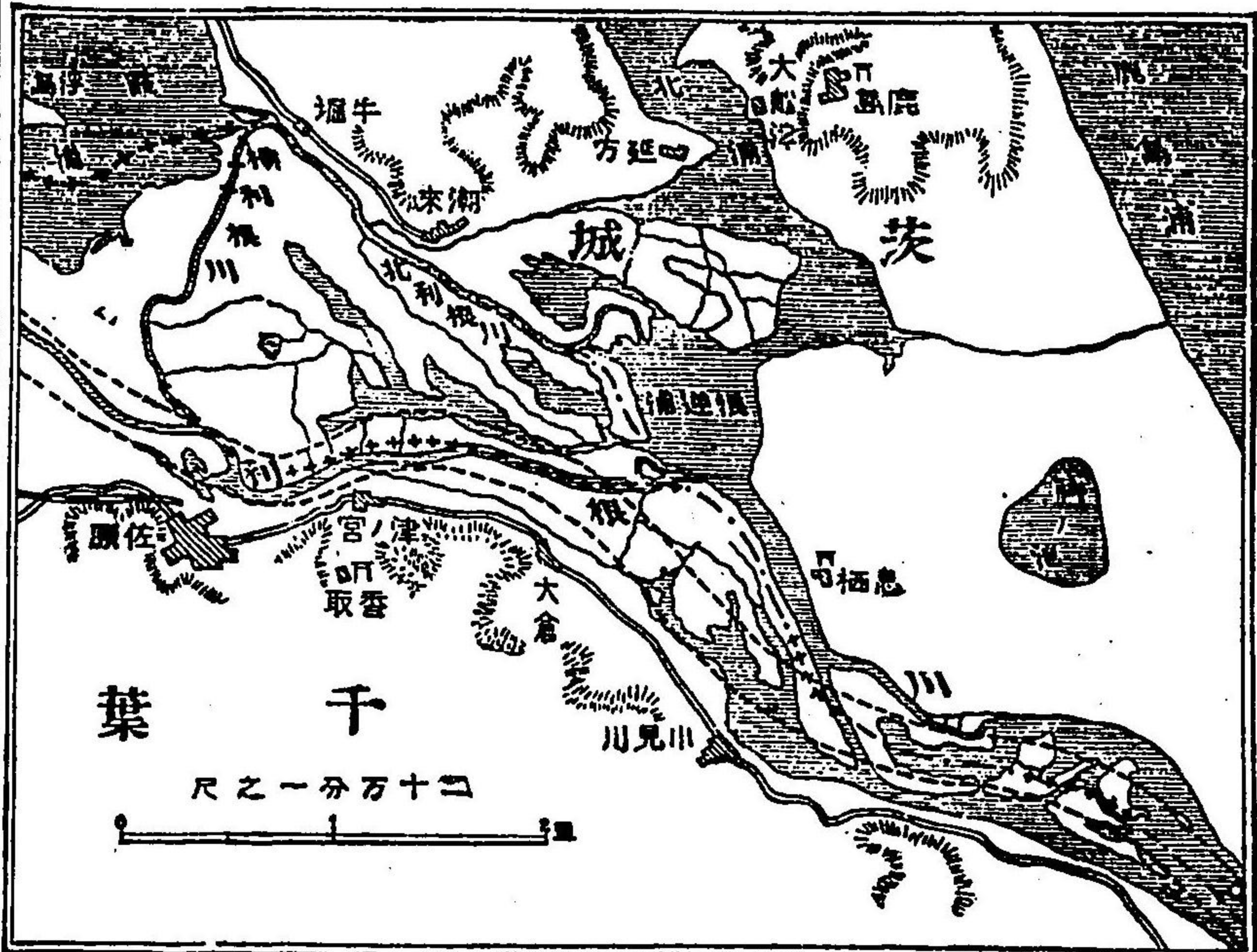
**房總半島**は鹿野山・鋸山等の山丘起伏して平地稀なり。東京灣に臨める千葉・利根川口の銚子。其の中間の佐倉は北部平地の都會にして、總武鐵道にて東京と連絡す。房總鐵道は更に千葉に起りて上總に通じ、成田鐵道は不動堂を以て榮ゆる成田を起點として、佐倉・佐原に通ず。又江戸川の沿岸には味淋に名高き**流山**・醬油に名ある**野田**あり。房總半島の名邑は海水浴に名ある**館山**・誕生寺を以て其の名

高き小湊等に過ぎず。上總より下總に亙れる太平洋沿岸九十九里濱一帯の漁業は其の盛大なること帝國第一に居り、鱈の漁額一千萬圓を越ゆ。

千葉町は置廳以來稍繁盛に赴き、醫學專門學校あり。佐倉は佐倉炭の産地にして、近衛第二旅團司令部あり。佐原は利根川水運の中心地にして酒醬油を産す。香取神社は其の東南里許に在り。銚子港は利根川口の右岸に在り。碓泊に適せずと雖も、利根川を遡り、利根運河を経て江戸川に通じ、東京に達する汽船の往復あり。醬油・縮布を産す。

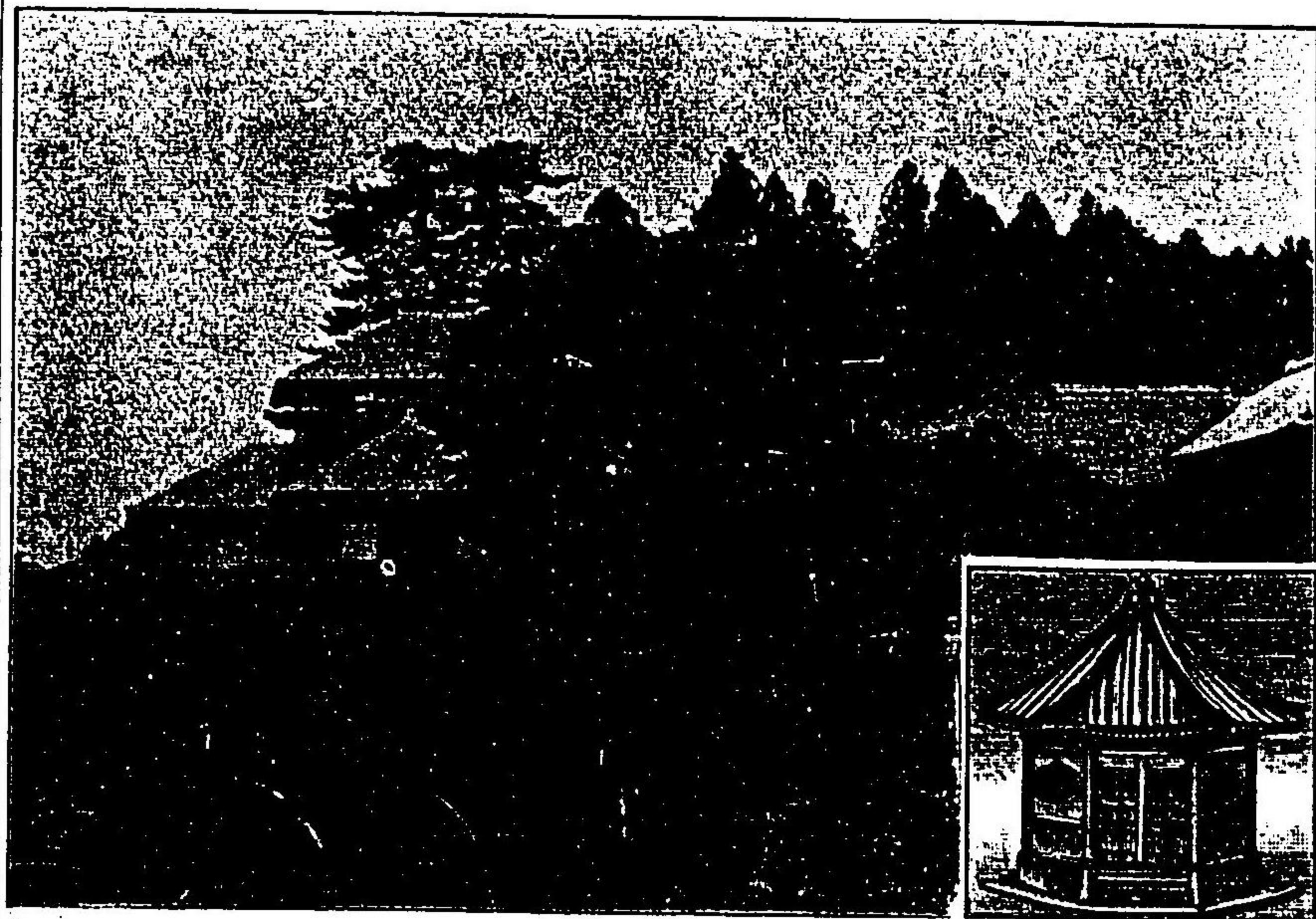
茨城縣 關東平原の北東部に於て、千葉縣と利根川を隔てて南北相隣す。地勢は阿武隈山脈北より來りて、縣の中部平野の間に屹立せる筑波山に達す。從ひて北部は山多く、地味瘠せたれども、磐城に亙れる炭田あり。又寒水石を出す。

砂質の海  
岸は港口  
を埋む



利根川下流の圖 (線點は改修河道を示す)

南部は利根川下流の流域にして那珂川に至るまで地勢低平にして、米・麥・綿の産額多し。又帝國第二の大湖霞浦及び北浦等の沼湖は利根川と相連りて水運の便最も宜し。又鯉・鰻等の水産に富む。海岸一帯砂丘高く、那珂川口の湊は水淺くして泊船の利なし。北部の平潟は水深



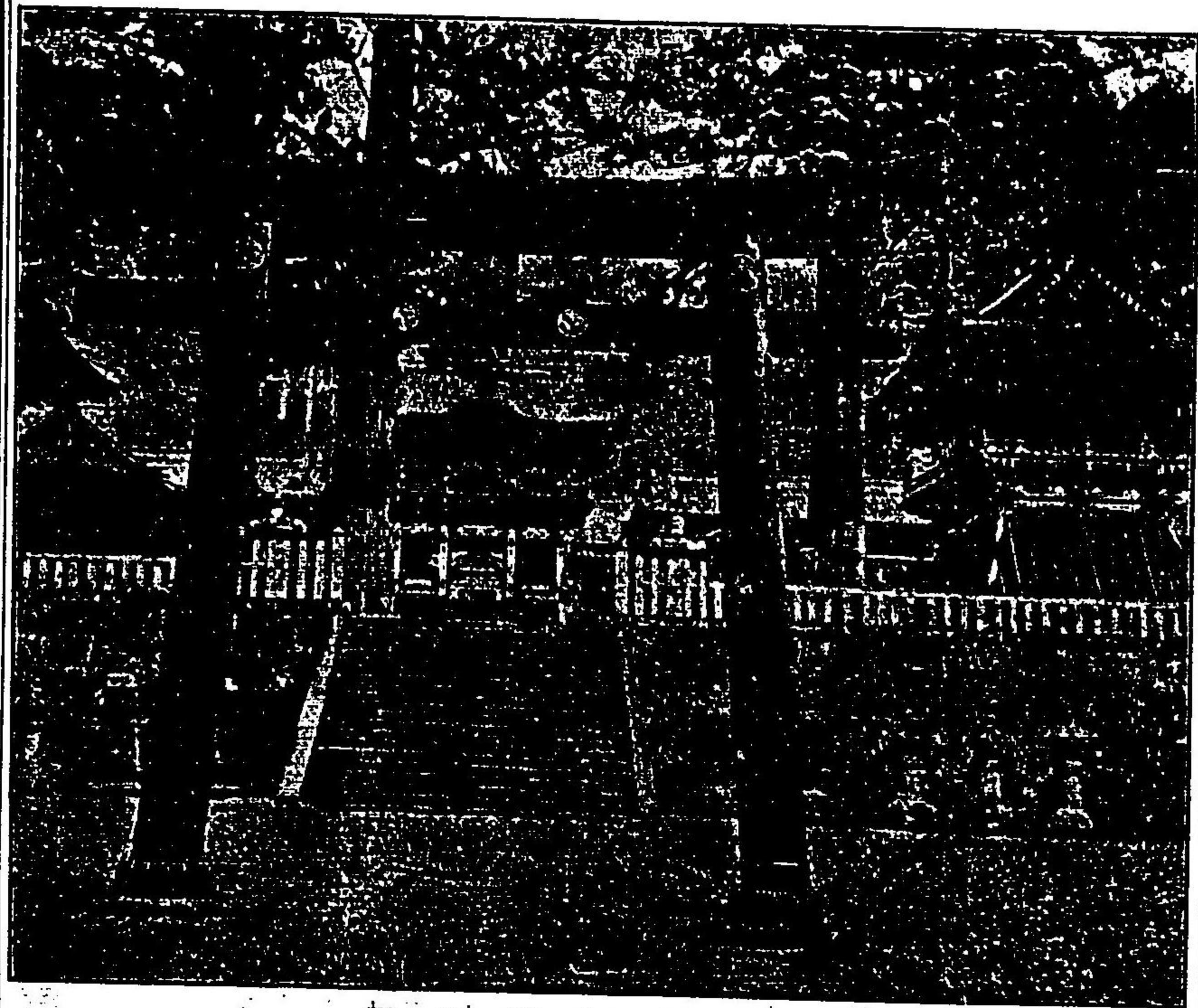
水戸常盤公園及弘道館の八角堂の圖

くして石炭積出しの要  
 港なれども地積狭し。  
 水戸・石岡・土浦は平野の  
 都會にして日本鐵道海  
 岸線にて連絡す。 紬を  
 以て名高き結城は兩毛  
 線に沿へり。  
 水戸市は那珂川を帯び  
 千波沼に臨み、奥羽より  
 關東に出づる濱街道の  
 要路に當り、徳川氏の親  
 藩を封ぜし地たり。市内  
 に弘道館及び日本三公

特産は都  
 會繁榮の  
 一原因な  
 り

園の一に數へらるゝ常盤公園あり。市の附近は烟草を名産  
 とす。商業學校・農業學校あり。霞浦沿岸の石岡・土浦は共に酒  
 醬油の醸造地なり。北浦沿岸の鹿島には鹿島神社あり。筑波  
 山には山階宮の設立せられたる氣象觀測所あり。

栃木縣 關東八州の最北に當り、那須岳の活火山北境に  
 聳ゆ。其の前面の裾野を那須野の高原とす。西方には那須火  
 山脈に屬する男體山及び白根の活火山等あり。其の南方の  
 足尾銅山は利根川の支流渡良瀬川の上流に位し、帝國全産  
 額の凡三分一を出す。足尾町これによりて榮ゆ。薪炭も亦山  
 地の一富源を成す。又那須・鹽原等の温泉所々に湧出す。南  
 部一帯は縣下北部に發源する那珂川・鬼怒川の流域にして、  
 關東平野の一部に屬し、平地開けて麻桑の栽培に適す。宇  
 都宮は縣下の中央に位し、小山と共に日本鐵道東北線に當



日光の門の圖

る。宇都宮東南の眞岡は眞岡木綿の本場にして、其の西北日光鐵道線に當れる鹿沼には製麻會社あり。縣下の西南隅に位する足利は足利絹の産地にして工業學校あり。兩毛鐵道にて群馬縣の起業地桐生・伊勢崎と連

名所舊蹟  
は都會繁  
榮の一原  
因なり

絡す。

男體山麓の日光には東照宮あり。徳川家康の廟所にして其の結構壯麗を極む。山中には瀑布多く、中禪寺湖より落つる華嚴瀑最も壯嚴なり。遊覽探勝の客四時絶えず。日光町爲に賑ふ。

群馬縣 關東八州の西北部に位す。地勢は關東平野に屬する東南の一部を除けば、大抵山地にして、那須火山脈所々に起伏す。縣界には東西に白根の兩活火山あり。又西南境に淺間の活火山あり。中部には赤城榛名及び奇岩突兀たる妙義山聳え、伊香保・草津等の温泉多し。利根川は北境に發して東南に流る。清水越に通ずる越後街道は其の上流に沿ひて開かれ、南方の流域には前橋・高崎・桐生・伊勢崎の都會相連り、繭・生絲の産出極めて多く、機業亦盛大にして、其の産額京

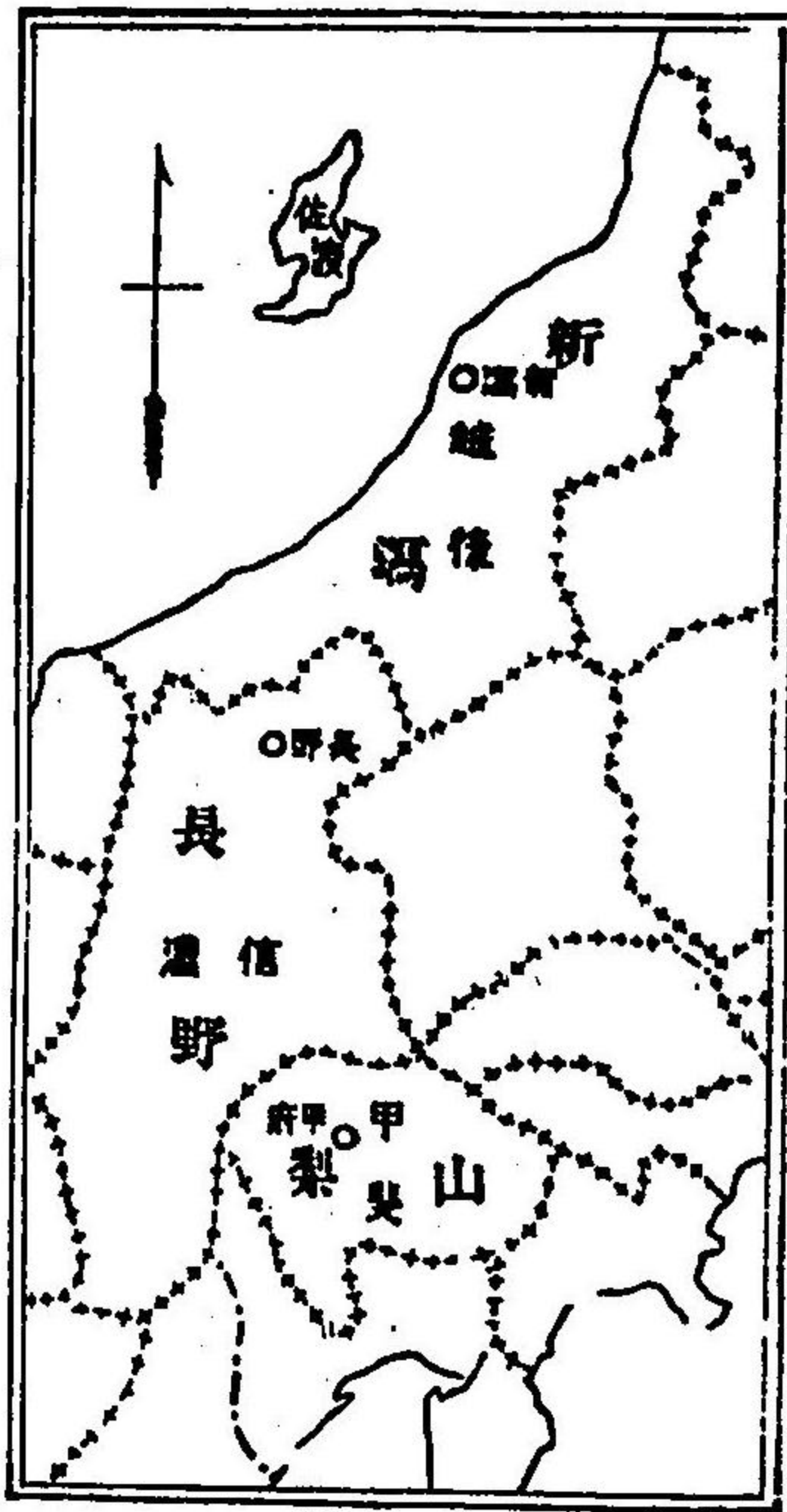
特産ある地は特殊の教育を要す

都府に次ぐ。高崎・前橋其の中心地たり。高崎より富岡を経て下仁田に達する上野鐵道あり。前橋市はもと麻橋と云ひ、縣下生絲取引の大市場にして、又越後より關東に出づる要路に當る。高崎も亦交通の要區にして生絲の取引多し。桐生は有名なる機業地にして、其の起源頗る遠く、西陣の織法を傳へて、其の術精巧を極め、京都と相對して織物の二大産地と稱せらる。織物學校の設あり。伊勢崎にも亦染織學校を置く。

### 甲信越地方

甲信越地方は關東の西部にありて、北は日本海に瀕す。越後東部の平原を除く外は、樺太・崑崙二大山系の會合點に當れる本州中央の高原地方とす。従ひて此の地方に發源する諸

大河多し。富士川・天龍川・木曾川は南に流れて太平洋に注ぎ、信濃川は北流して日本海に入る。海岸は極めて平直なり。以上は三縣の分治に屬す。



甲信越地方の圖

縣名	廳所在地	人口	及	其	距離	汽車程
山梨	甲府市	三、八〇分	○	東京より	三時二〇分	一二里餘
長野	長野市	三、一〇分	○	前橋より	五時五〇分	
新潟	新潟市	五、三六分	○	長野より	八時〇分	

信越鐵道貫通し、長野を経て

日本海岸の直江津に達す。北越鐵道更に此の地より起りて、新潟市對岸の沼垂に到る。又長野の南篠井より分岐する篠井線あり。甲州は交通最も不便にして、富士川の水路を南方に開く外、官設中央東線の一部其の東部に通ずるのみ。

**山梨縣** 關東平野の西方に位する山地にして、東は關東山脈を廻らし、西方には赤石山脈あり。南には富士山屹立し、北には金峰山・八岳聳え、山岳四周して摺鉢状をなし、甲府平原其の底に當る。富士川は南方の一部を破り、急流となりて南下す。角倉了以の經營によりて船を通ずるを得たり。**御澤**は其の水運の要所たり。東部**郡内**は別に一區を成す。中央東線の開通により關東地方との交通便利となれり。郡内**縞**・**甲斐絹**を其の特産とす。谷村町に染織學校を置く。

**甲府市**は甲府平原の中央に位す。縣内百貨の集散地にして、商業學校あり。生絲は勸業製絲場を設けし以來其の産額著く増加せり。附近には武田信玄の遺蹟多く、御勅使川の信玄堤の如きは其の一に居る。富士川沿岸の市川附近は盛に三椏を植え、近年に至り製紙業殊に發達せり。勝沼の甲州

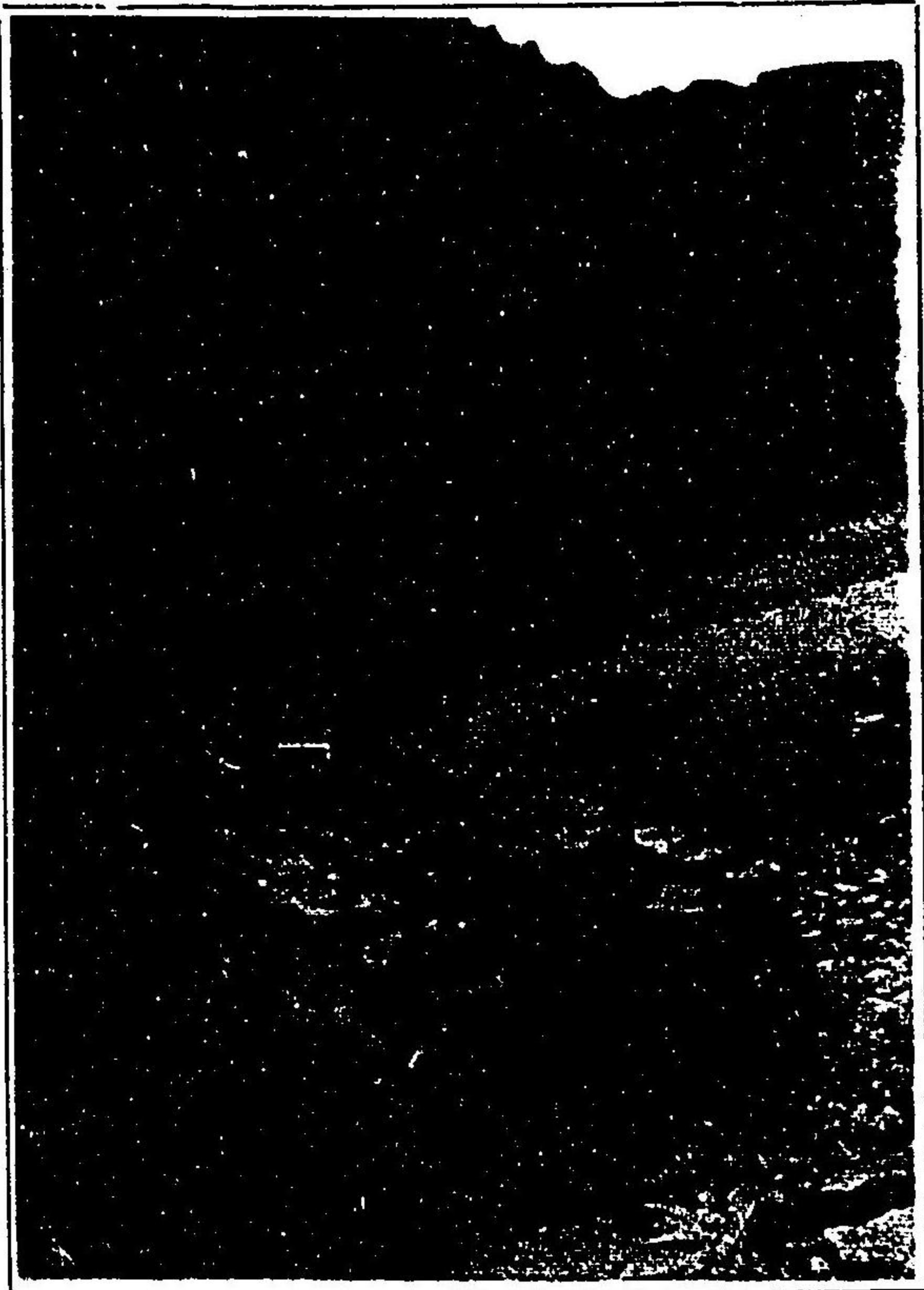


淺間の山の圖

葡萄、御岳、金峰山の水晶亦著はる。富士川下流の右岸に**身延山**あり。日蓮宗の本山久遠寺の在る所とす。

**長野縣** 山梨・群馬兩縣の西に位する一大高原にして、東境に那須火山脈ありて、淺間の活火山を起し、東南山梨・静岡兩縣の境には赤石山脈の赤石山等聳え、西境の飛彈山脈には御岳・乘鞍

岳等の峻嶺多し。地勢は中央の和田峠分水界となりて自ら南北に分れ、北は信濃川の流域に屬し、南は木曾・天龍二川の流域と



木曾街の寢覺の床の圖  
右岸は檜の森なり

なる。信濃川の上流千曲川は紬の産地上田を中心とする佐久平を流れ、松本平を流る、犀川

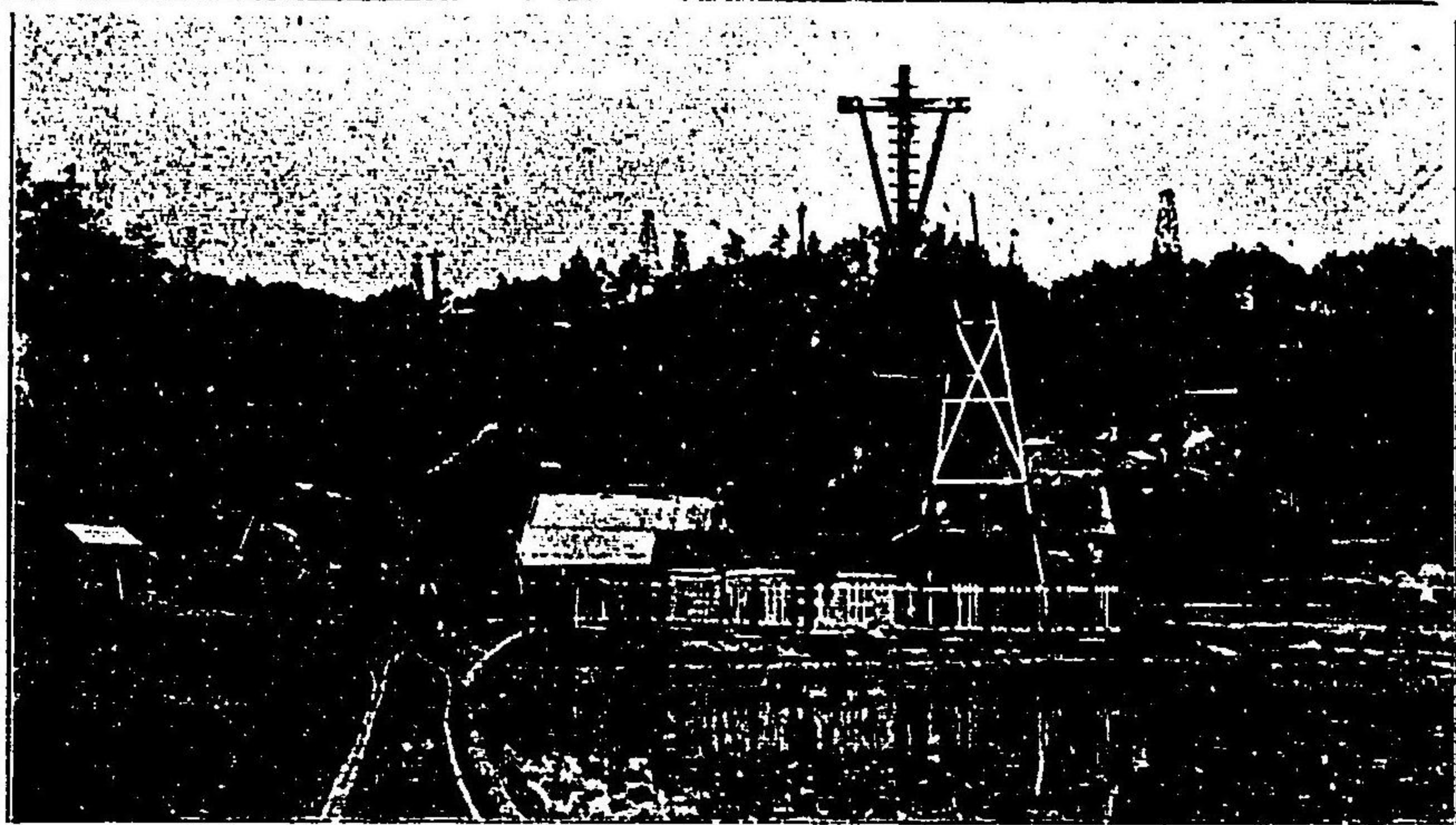
谷川の昔には夢も結ばじを  
寢覺めの床と誰名くらん(近衛家郷)

と信州第一の平原善光寺平に會して新潟縣に入る。天龍川は諏訪平の諏訪湖に發源して、木曾・赤石兩山脈の間なる伊那谷を南流し、木曾川は飛驒・木曾兩山脈の間なる木曾谷を流れて南下す。木曾谷の兩側は帝國第一と稱する木曾山林の在る所にして、又有名なる木曾街道は此の峽谷より西南濃尾平原に通ず。縣内大部は火山岩に掩はれ田圃に乏しと雖も、養蠶製絲の業盛にして、繭生絲の産額各府縣に冠たり。上田に甲種蠶業學校あり。木曾谷は檜の良材及び馬を名産とす。官設鐵道篠井線は犀川に沿ひ、觀月の名所姨捨を経て松本に達す。長野市は善光寺平に在り。貨物の集散多く、又善光寺あるを以て信徒の參拜絶えず。其の南方犀川上流の松本は蠶卵紙生絲の市場なり。諏訪平の上下諏訪は多くの製絲場あり。



烟突林の如し。此の地冬季寒氣強くして、諏訪湖は氷結し其の上に人馬を通ず。諏訪平より伊那谷の一都會飯田を経て、天龍川を下れば東海道に通ずべし。福島は木曾街道の一都會にして、檜細工を出す。御岳登山者の通路なるが故に夏季殊に榮ゆ。

新潟縣 長野群馬二縣の北に在りて、約一百里の沿岸を有する地方なり。西部には富士火山脈に屬する焼山妙高山等起伏し、西境飛騨山脈の蓮華山は餘脈海に迫りて親不知、險を成す。平地は深雪に名高き高田附近の荒川流域あるのみ。東部には朝日山、飯豊山等東境に峙ちて越後山脈を成す。中部は越後の大平野にして、地勢は信濃川の方向に従ひ、北東に開展す。信濃川は本縣に入りて越後の大平野を灌漑し、新潟港に注ぐ。阿賀川は福島縣より來り、小阿賀川にて

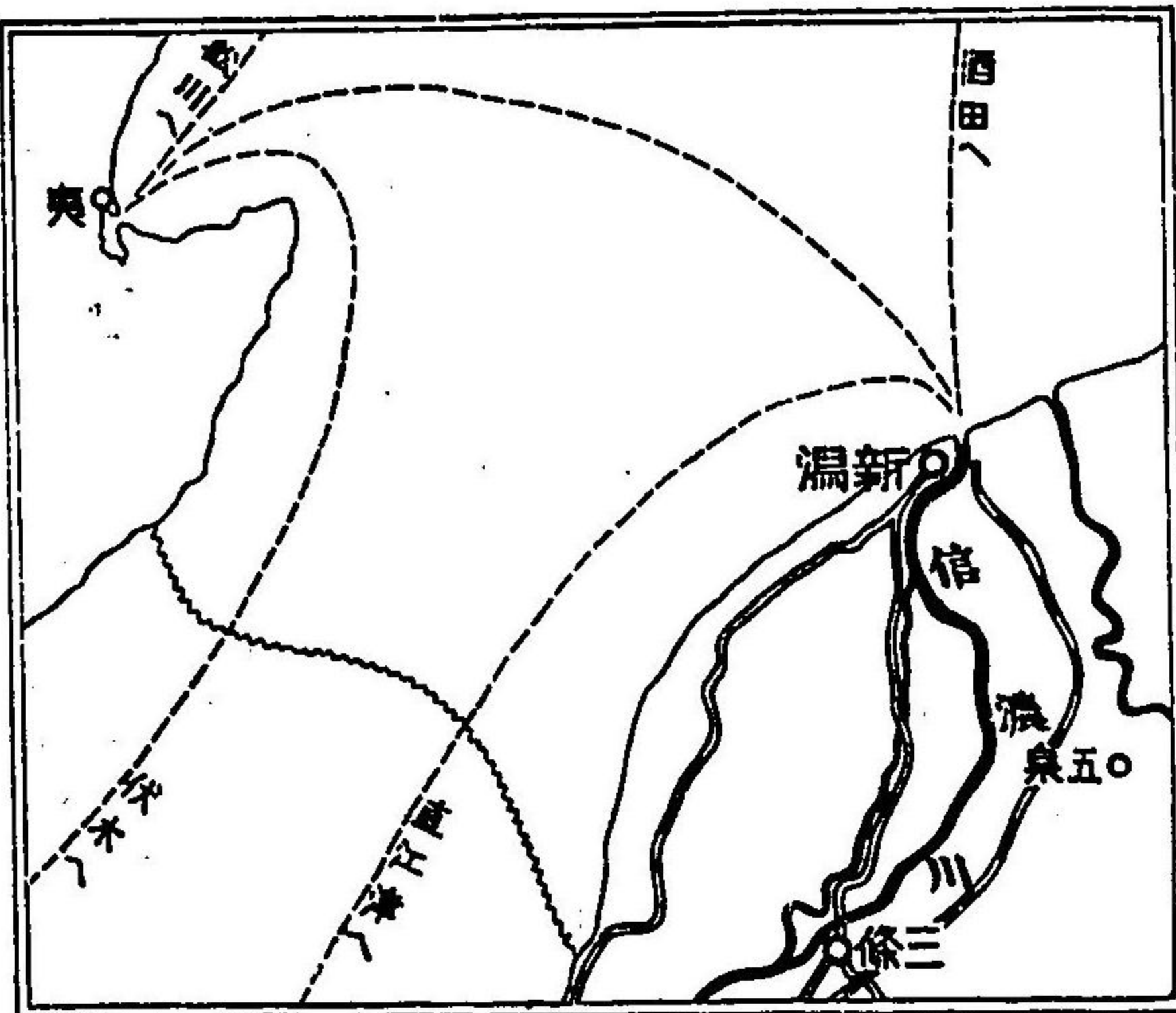


日本石油會社長嶺油田の圖

一井を穿つ毎に數百石の油ありとせしれりな

信濃川に連り、又越後平野の一部を灌漑す。此の平野の米産額は二百萬石と稱せられ、四國全島に超ゆ。信濃川には新潟・長岡間に汽船の便あり。國內石油礦多く、其の産額帝國第一に居り、浦瀨・尼瀨を其の主産地とす。又阿賀川の中流附近に赤谷の鐵山あり。海岸は砂丘高く、沿海に鱈の産多し。新潟市は信濃川口左岸の

風波を避  
くるとは  
港に要件  
なり



新潟港附近の圖

地に在り。萬代橋にて沼垂に通じ、それより鐵道の便あり。開港場の一なれども、川口に砂洲多く、冬季風波荒き時は船舶は寄港するを得ずして、對岸の佐渡夷港に避難す。從ひて夷港に新潟税關出張所あり、市内に商業學校あり。新發田は北部平野の一都會にして、第十五旅團の設置以來其の繁榮を増せり。新潟の南西に當れる柏崎は東の方越後縮透綾に名高き小千谷、及び染織學校の設ある十日町を控え、織物の取引多し。又日本石油

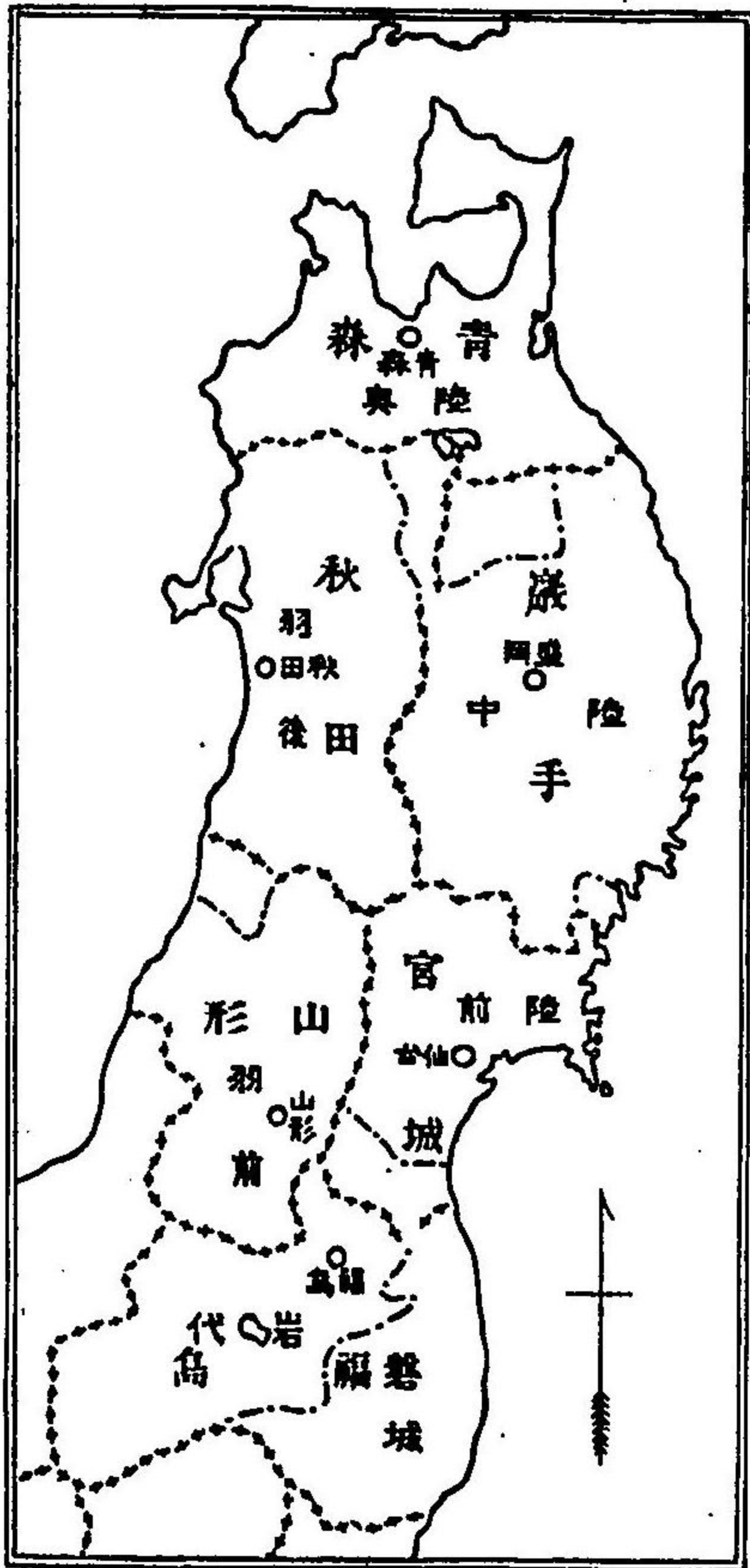
砂丘は内  
地に侵入  
して耕地  
を埋む

會社あり。出雲崎は其の北に當る。直江津は荒川口に在りて砂洲の爲に陸地との連絡不便なれども、新潟との間に汽船の往復あり。又鐵道の要路に當るを以て商況頗る活氣あり。附近の平地は藤野條助の經營せる松林によりて、砂丘の侵入を防くを得たりと云ふ。佐渡は新潟より海上三十哩に在り。其の東岸の凹入せる所に夷港あり。金北山は海内屈指の金坑を以て名高く、相川これが爲に榮ゆ。又無名異燒瑪瑙細工を出す。

### 奥羽地方

關東の北にある本州の東北部を總稱して、奥羽又は東北地方と云ふ。地勢は中央に分水山脈南北に亘りて東西兩部に分れ、東部には北上阿武隈の二山脈海岸に沿ひて分水山脈

と併走し、同名の二大川其の中間を反対の方向に流る。又北上川の水源に近く發する馬淵川は北流して外洋に注ぐ。西部の能代・御物・最上の三川は岩木火山脈を横ぎりて、秋田・庄内の兩平野を成し、岩木山麓を流る。岩木川は津輕平野を北流す。本州の北端は津輕・斗南の兩半島斗出して津輕灣を成し、又北州と相對して津輕海峡を成す。津輕海峡は日本海の東門にして、通商並びに國防上の要地たり。以上の區域は最



東北地方の圖  
本海の東門にして、通商並びに國防上の要地たり。以上の區域は最

も久しく蝦夷の占據せし地方にして、本州中人口の最も稀薄なる所とす。維新前は陸奥・出羽の二國に分ちしが、今は七國に分ち六縣の分轄に屬す。

縣名	廳所在地及び其人口	距離(汽車程及び里程)
福島	福島町 二〇	宇都宮より六時二〇分
宮城	仙臺市 八、三	福島より三時六分
巖手	盛岡市 三、三	仙臺より五時五一分
山形	山形市 三、五	福島より四時八分
秋田	秋田市 二、九	青森より七時三五分
青森	青森市 二、八	盛岡より七時二五分

日本鐵道東北線は此の地方交通の幹線を成し、阿武隈・北上の二大川に沿ひて、福島・仙臺・青森を連絡す。關東地方の水戸を經過せる海岸線は東海岸に沿ひて北進し、仙臺の南に來

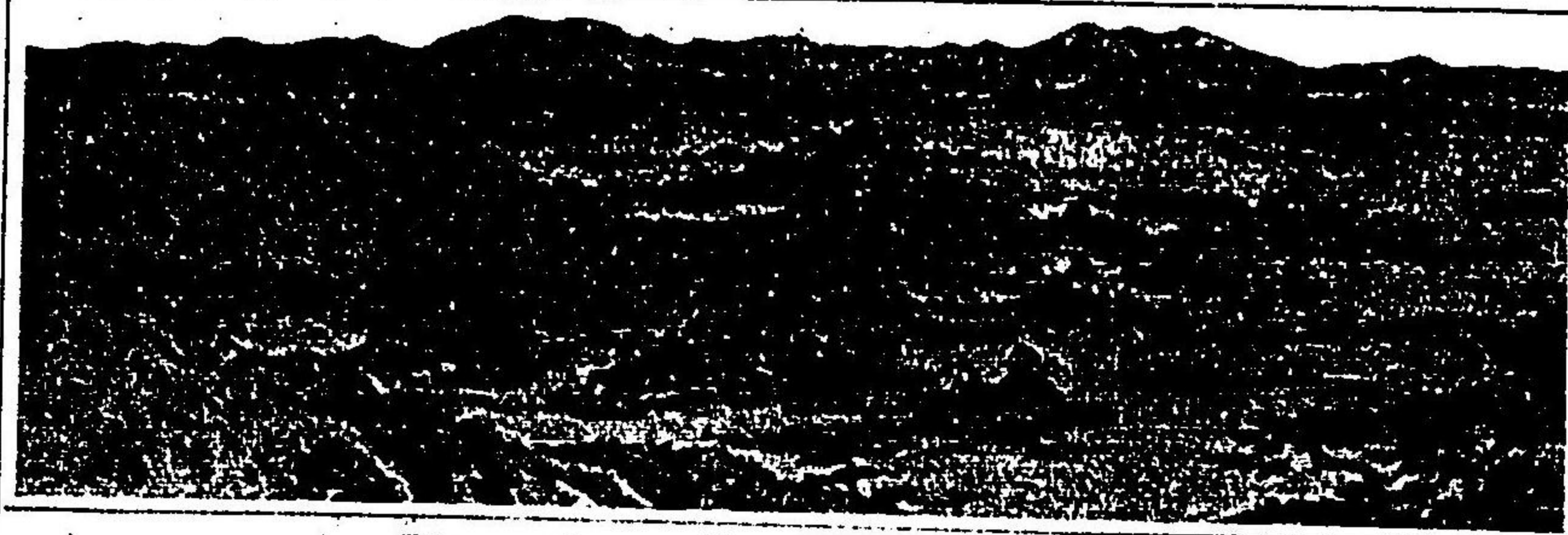
りて之れと連結す。西部の山形縣には福島より來れる官設  
・奥羽南線あり。秋田縣には青森より來れる同北線あり。又東  
西兩岸は共に神戸・小樽間の航路に當る。

福島縣 關東に接する地方にして、東部の磐城には阿武  
隈山脈起伏し、西部の岩代は那須火山脈之れを貫きて、北に  
半田銀山、中部に磐梯・吾妻等の活火山あり。土地概ね高地に  
して、僅に沿海地方と阿武隈川の流域とに平地を有するの  
み。阿武隈山脈の南部には白水・小野田の炭田あり。又縣内  
各所に牧場あり。三春駒殊に名高し。阿武隈流域は桑園開  
け、養蠶盛にして、福島を其の中心とす。二本松亦製絲細織に  
名あり。而して縣内に需要する米穀は多く宮城縣に仰ぐ。  
縣の中央部に於て別に一區を成せる會津平は若松の都會  
を有す。其の山水明媚なる猪苗代湖の水は日橋川となり鶴

沼川只見川を合せて、越後に入り阿賀川となる。又此の湖水  
を郡山地方に疏通して灌漑に供す。縣下は奥羽の門口に  
して南境に白河・勿來の關址あり。交通不便なりしが、今は鐵  
道によりて便利を得るに至れり。

福島町は置廳以來益繁榮に赴き、蠶卵紙・生絲取引の一中心  
市場にして、近傍に蠶業學校あり。又養蠶製絲の傳習教師と  
して他縣に聘用せらるゝ者多し。若松は商工業地にして  
漆器・陶器・蠟燭を出す。此の地は南方遙に白河あり。奥羽を控  
制するには最も險要の地なるを以て、帝國の戰史に其の名  
高し。若松より郡山に達する岩越鐵道あり。

宮城縣 地勢は中央分水山脈より東に向ひて傾斜し、阿  
武隈山脈南境より餘勢を延き來り、又北上山脈は北境より  
來りて牡鹿半島を起し、仙臺灣を擁成す。灣内に石巻・野蒜・荻

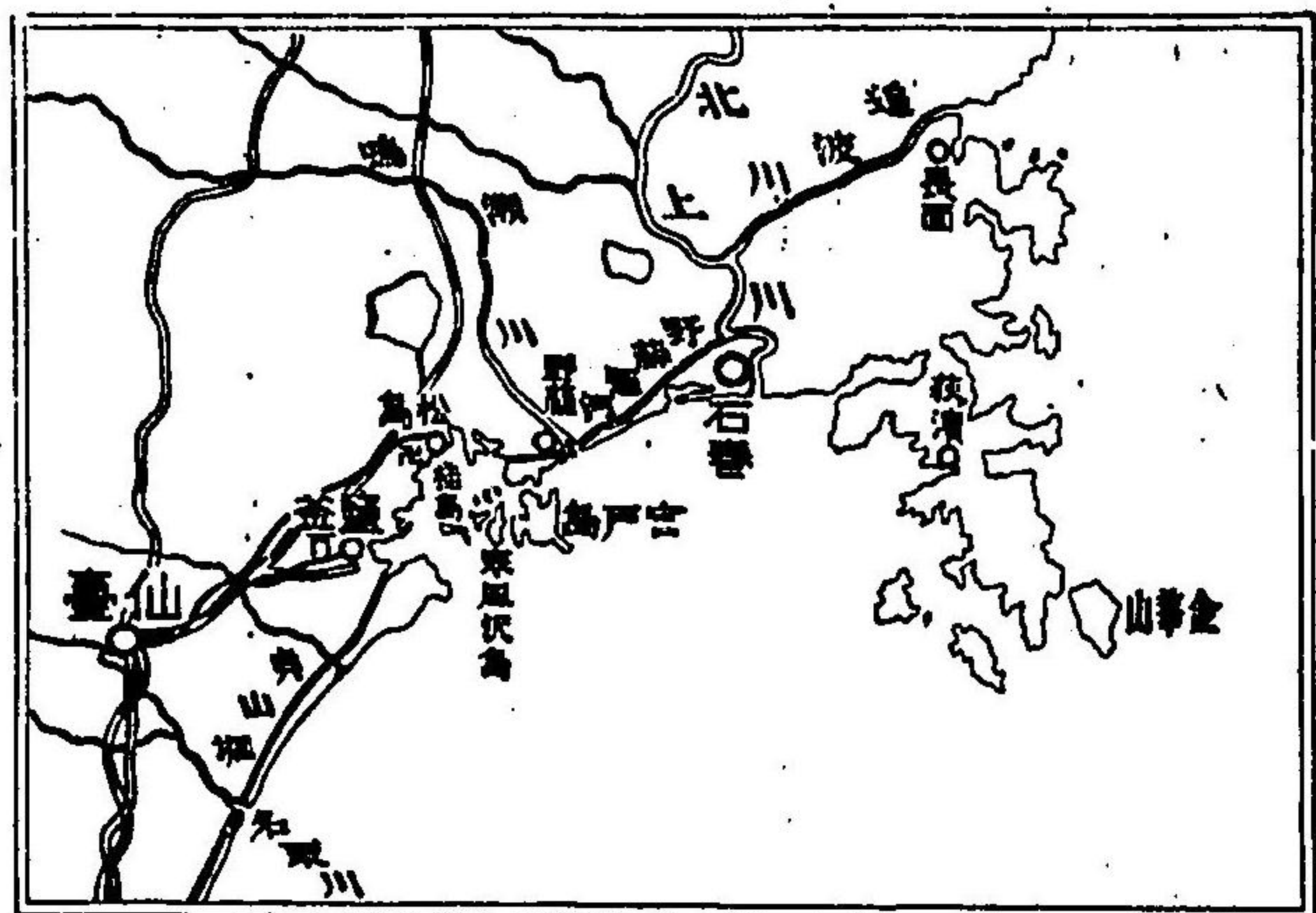


松島全景の圖

濱の諸港あり。萩濱は東海岸第一の良港にして横濱・函館の中間に位し、其の間に定期航海あり。阿武隈・北上兩川流域の中間仙臺灣頭に仙臺平野あり。名取川其の間を流る。仙臺米の産地たり。日本鐵道東北線は支線を鹽竈に出し、日本三景の一なる松島の遊覽者に便す。又鹽竈より阿武隈川口に達する處山堀は伊達政宗の開鑿せし所にして、海上風波の險を避くるを得て、交通の便大なり。西部の地方は溫泉多く、又其の牧場には往々駿馬を出す。

仙臺市は名取川の支流に跨り、伊達政宗

の築城以來東北地方の中心地たり。現今第二師團司令部控



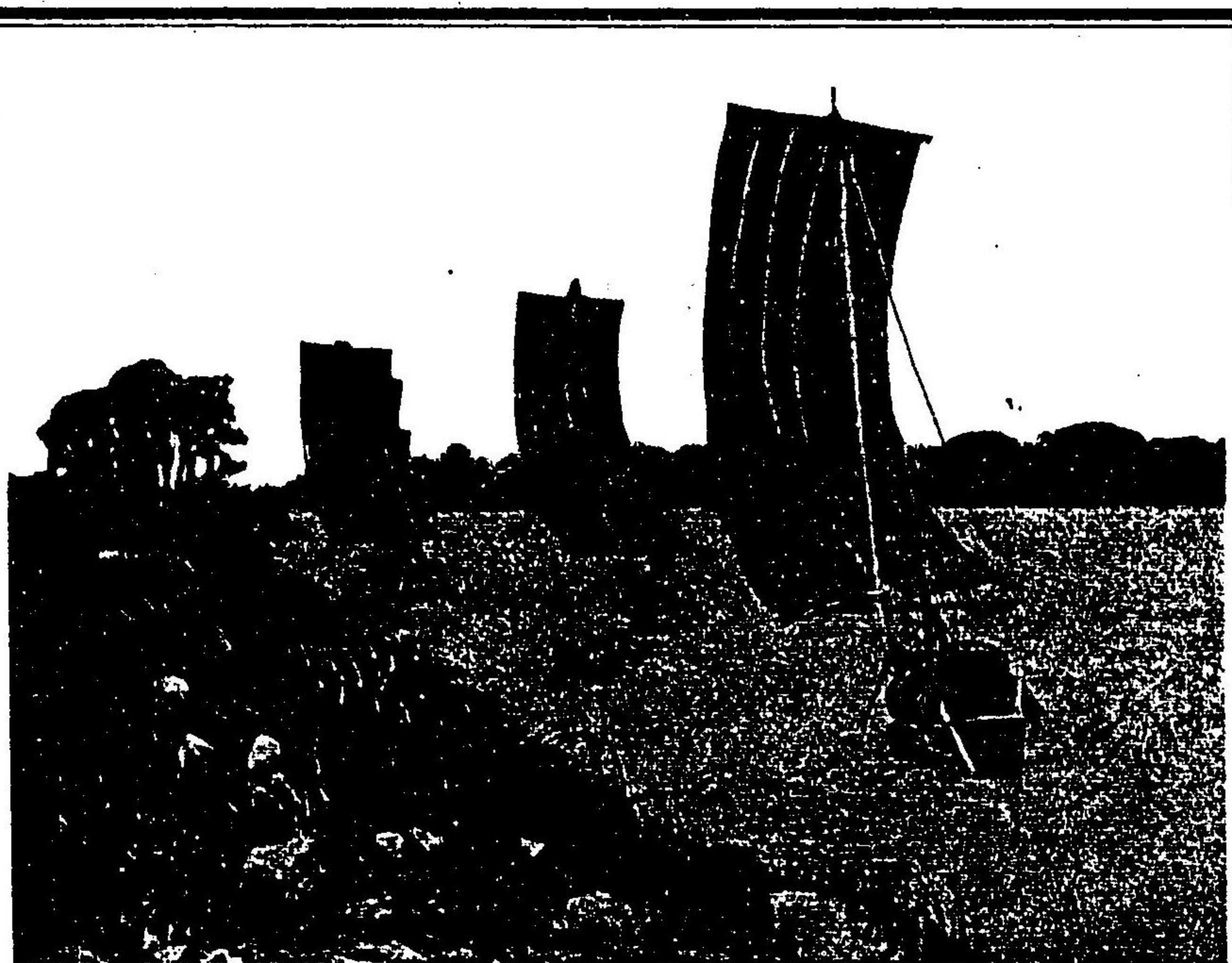
仙臺灣の圖

訴院、第二高等學校、醫學專門學校を置く。又商業學校、工業學校あり。市の絹織物は西陣の織法を傳へ、仙臺平織、八橋織最も精巧なり。石巻は伊達氏が北上川本流を南に導き、追波川を一支流とせしより、水運の便開けて繁華の地となれり。又野蒜運河、東名運河に由りて松島灣に通ず。此の地より一關、萩濱鹽竈に至る汽船あり。

巖手縣 西境の中央分水嶺には南部富士と稱せらるゝ

岩手山あり。東部に蟠れる北上山脈には早池峰あり。北上川の流域の外は山地多く、管轄區域は府縣中最も大にして、人口は最も粗なり。牧馬は本州第一に居り、南部馬の名は全國に冠たり。北上川の流域は地味肥沃にして、一關以下汽船の往來あり。盛岡市其の上流に位す。海岸線は鋸齒の如く屈曲して、多くの小灣入を成し、其の間に釜石、宮古の二港あり。宮古には水産學校を置く。

盛岡市は南部氏の舊城下にして、仙臺、青森、交通の要區に當り、生絲、織物、鑄物を産す。農學校及び工業學校あり。釜石は東風の時を除く外、安全の錨地にして、附近の鐵山は全國産出額の過半を占め、釜石町これが爲に榮ゆ。一關の稍北に中尊寺あり、藤原清衡の草創に係り、今尙二十餘の堂宇あり、其の金色堂は五間四面の覆堂にて保護せらる。清衡以下三



最上川舟行の圖

代の居館たりし平泉館亦其の附近にあり。

**山形縣** 東境は分水山脈に限られ、西南境には越後山脈あり。岩木火山脈は鳥海山より月山に連り、羽黒湯殿の二山と共に縣の中央に蟠る。附近に溫泉多し。平地は最上川の流域に屬し、米澤を有する置賜地方、山形を中心とする最上地方、酒田、鶴岡の立てる庄内地方の三部に分る。最上川は南境より發して北

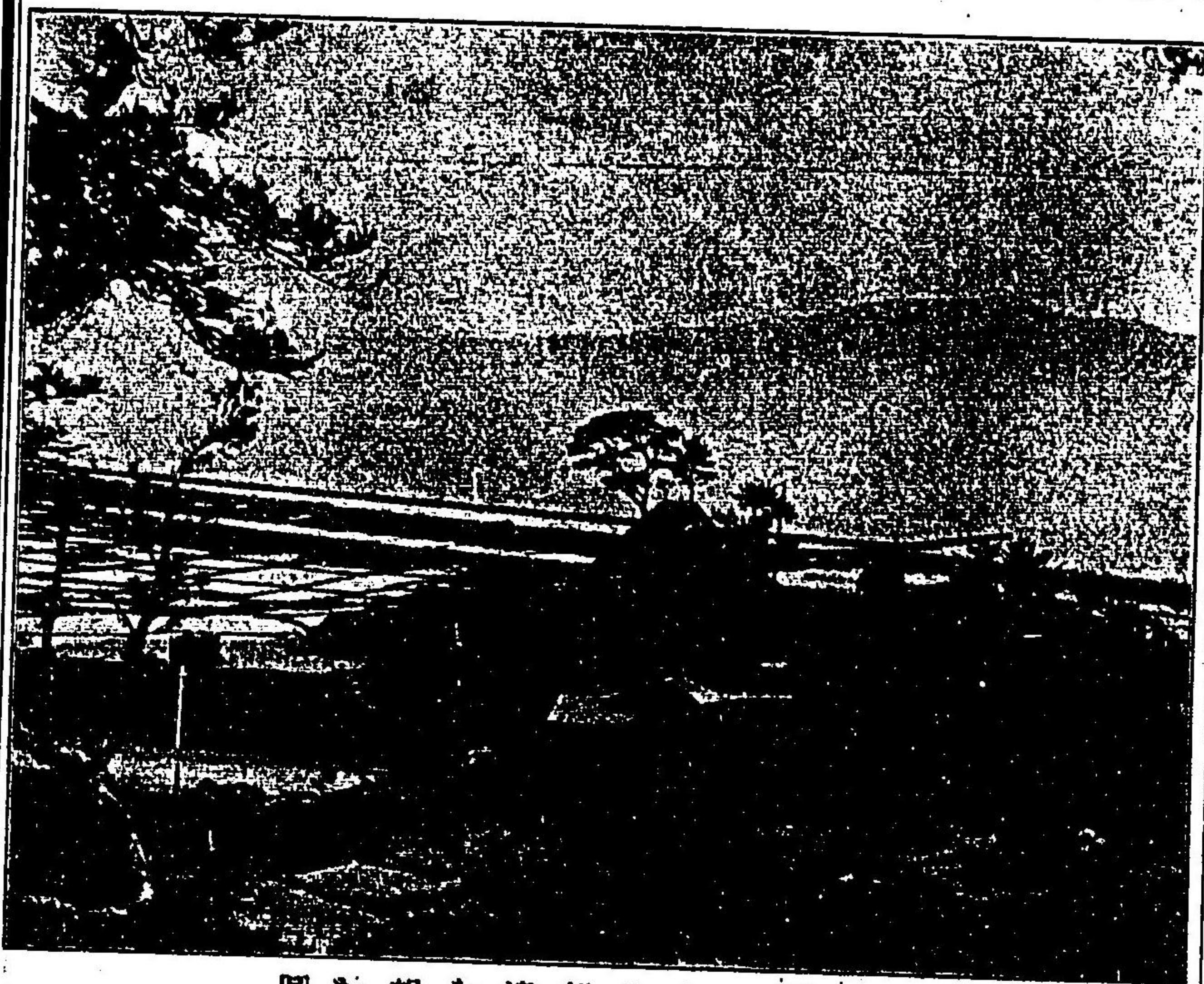
産業は英  
勸により  
て發達す

火山地方  
礦産多し

流し、六十餘里の間に於て海拔八百尺の米澤より四五十尺の酒田に下るを以て、本邦三急流の一と稱せらる。中流の大石田は水陸交通の要路とす。

山形市はもと最上と稱す。置廳以來商業盛大となり、殊に鐵道の開通以來、市況活氣あり。附近の地方は上杉鷹山の遺澤に依りて養蠶盛に、器械製絲業大に發達し、米澤織亦著名なり。現時工業學校、農學校を置く。酒田は庄内平野を控え、最上川口に在りて船舶の碇泊に適す。此の海岸一帯は風砂の害大なりしが、富豪佐藤氏が秋田縣界に達する海岸に防風林を經營せしより、之れを免るゝに至れり。

秋田縣 巖手縣と相表裏す。東境山深く、岩木火山脈は中央分水山脈と平行して縣の中央部を走る。鳥海山は南部の名山なり。管内礦山に富み、院內、阿仁、小阪の銀山及び荒川

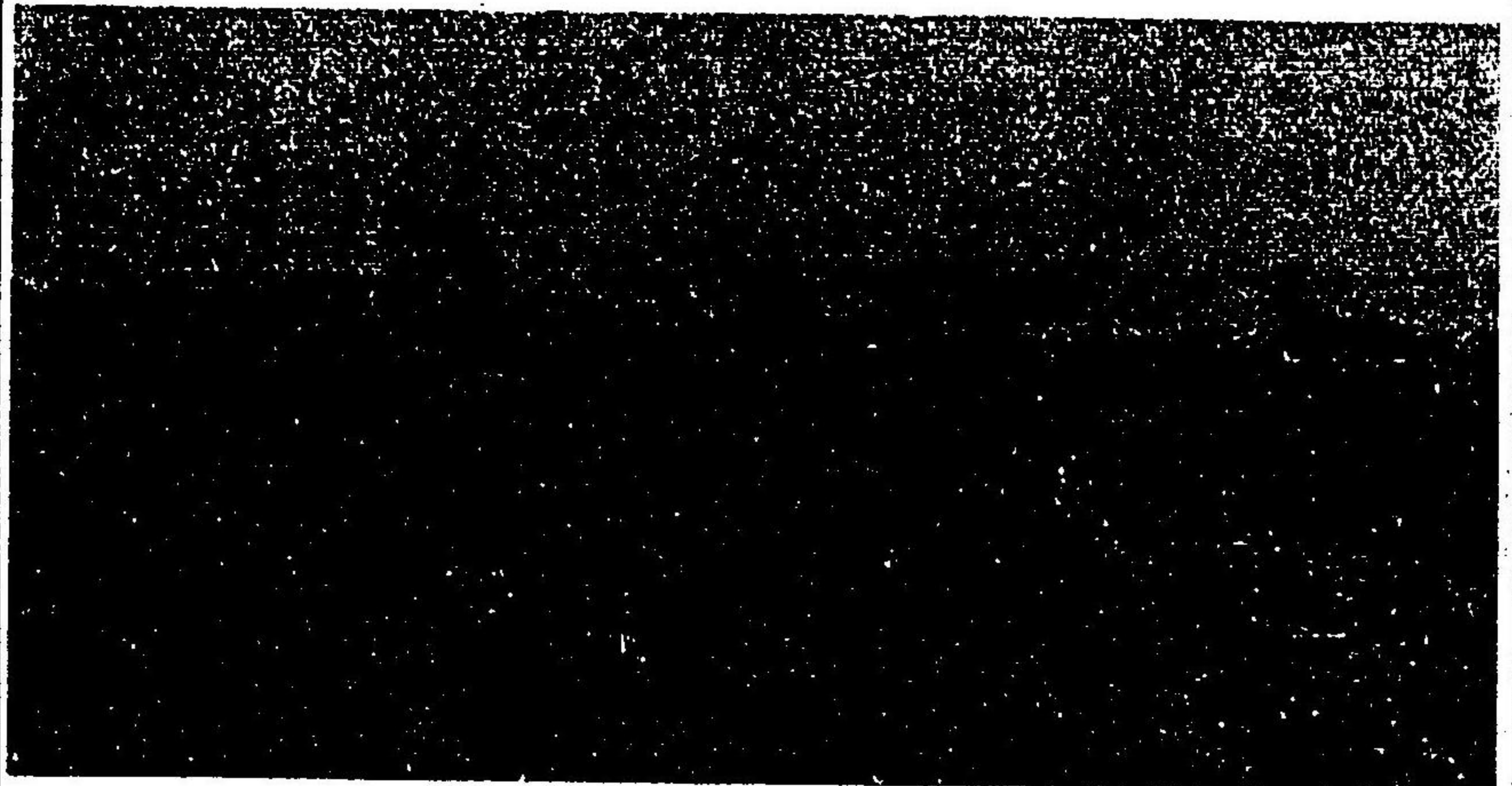


鹿渡驛より八郎潟を望む

中國の小丘は南面と稱し、上紀念碑あり、明り治四十  
年聖御驛の所と云ふ遠山は男鹿半島の諸山なり

尾去澤の銅山あり。殊に銀の産額は全國の十分の四を占め、銅は栃木縣に次ぐ。御物川流域の秋田平野は八郎潟及び能代川の流域に連り、秋田米の産地にして、秋田・土崎・能代此の平野に在り。山形・青森に通ずる國道これを連絡す。奥羽北線は秋田に達す。男鹿半島は八郎潟を

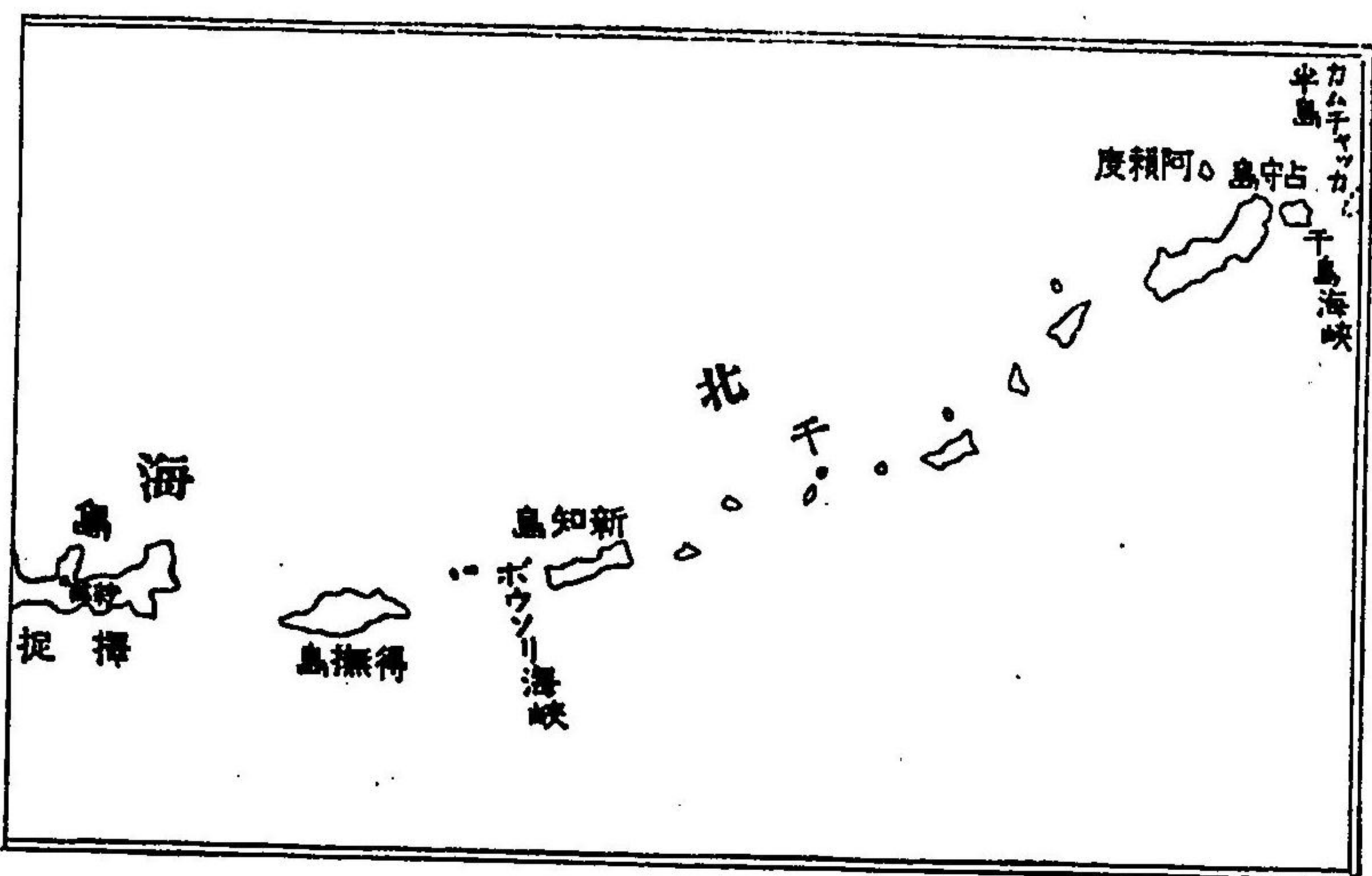
擁して山水の明媚なること、東海岸の松島に譲らずと云ふ。沿海一帯は鯨の漁利大なり。秋田市は畝織八丈縞の産ありて市況盛に、第六旅團司令部を置く。土崎港は其の門口に當り、北海道との航通繁く、商業の盛なること縣内第一とす。されども冬季風波荒くして碇泊に適せず。北に寒風山を負へる船川は一時これに代るべき良泊地なり。能代は川口に砂洲あり。良港と稱し難けれども、土崎に次ぐ商業地にして、春慶塗を産す。青森縣縣下の北部は斗南津輕の兩半島凹字形をなして斗出し、陸奥灣を抱き青森野邊地大湊の諸港灣内にあり。沿海は鮑、鱒、昆布の産多し。中部には恐山、八甲田山の火山あり。西部の岩木山は岩木火山脈の起點にして、津輕富士の名あり。岩木川其の東を流れて津輕平野を灌漑す。弘前市其



三本木牧場の圖

の流域に立つ。馬淵川流域は太平洋岸の平野にして、八戸、鮫港あり。小河原沼附近は馬の産出多く、其の南の三本木は殊に名高し。畜産學校あり。東北線は巖手縣より來り、尻内にて八戸、鮫に至る支線を岐つ。青森市は陸奥灣内の青森灣頭に位す。函館交通の要地にして、日々汽船の往復あり。七時間にて達すべし。弘前市は津輕平野の中心市場にして、奥羽北線に沿ひ、漆器の産あり。縣下第一



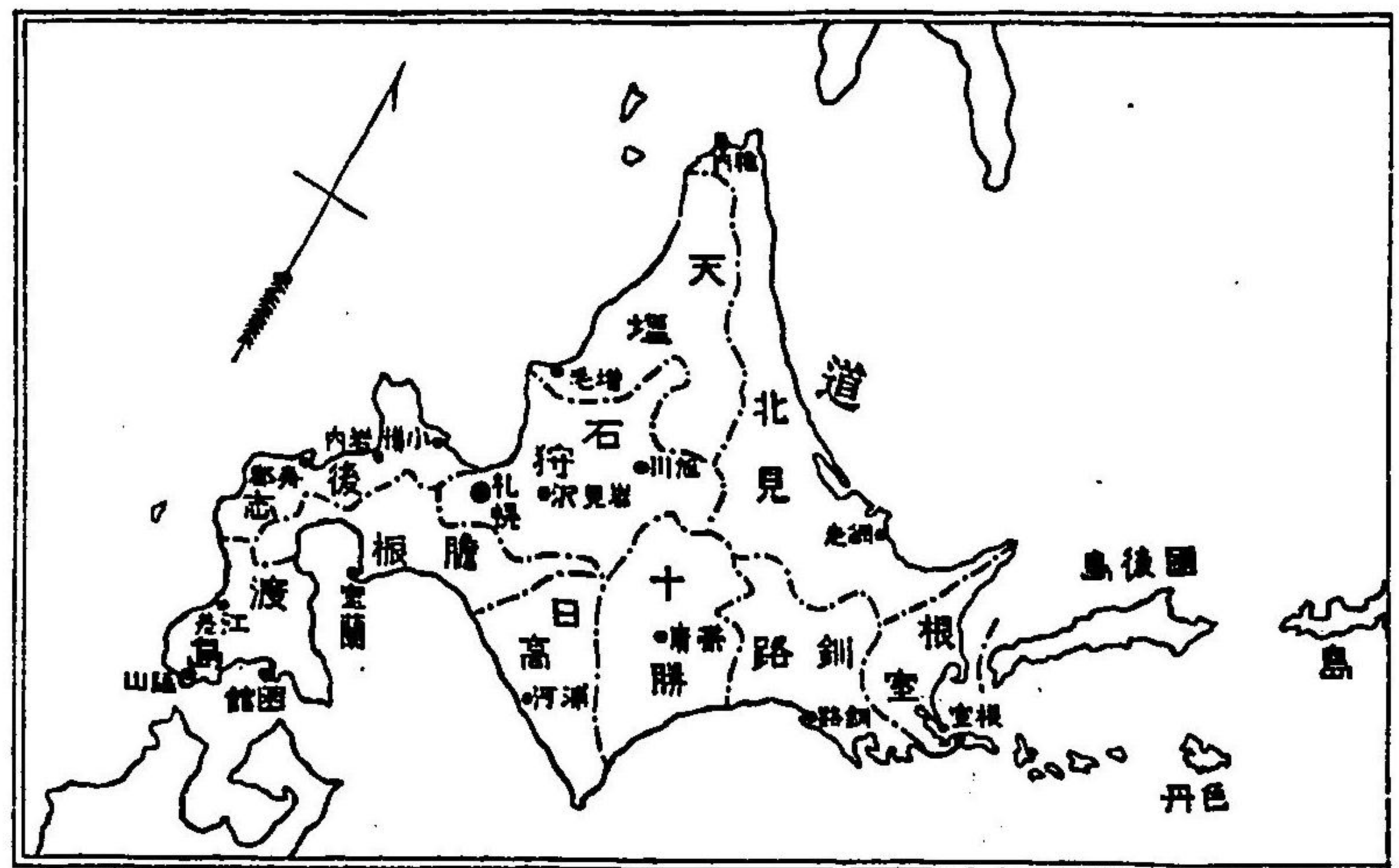


千島の圖

の都會とす。第八師團司令部あり。

### 北州及び千島

北州は本州の北に當れる一大島にして、徳川幕府の當時は南端の福山に松前藩を置きて、全島を管治せしめたり。明治二年北海道を置き全島を十國とし、千島諸島を合せて十一國とし、開拓使廳を置きしが、現今は北海道廳を札幌に置



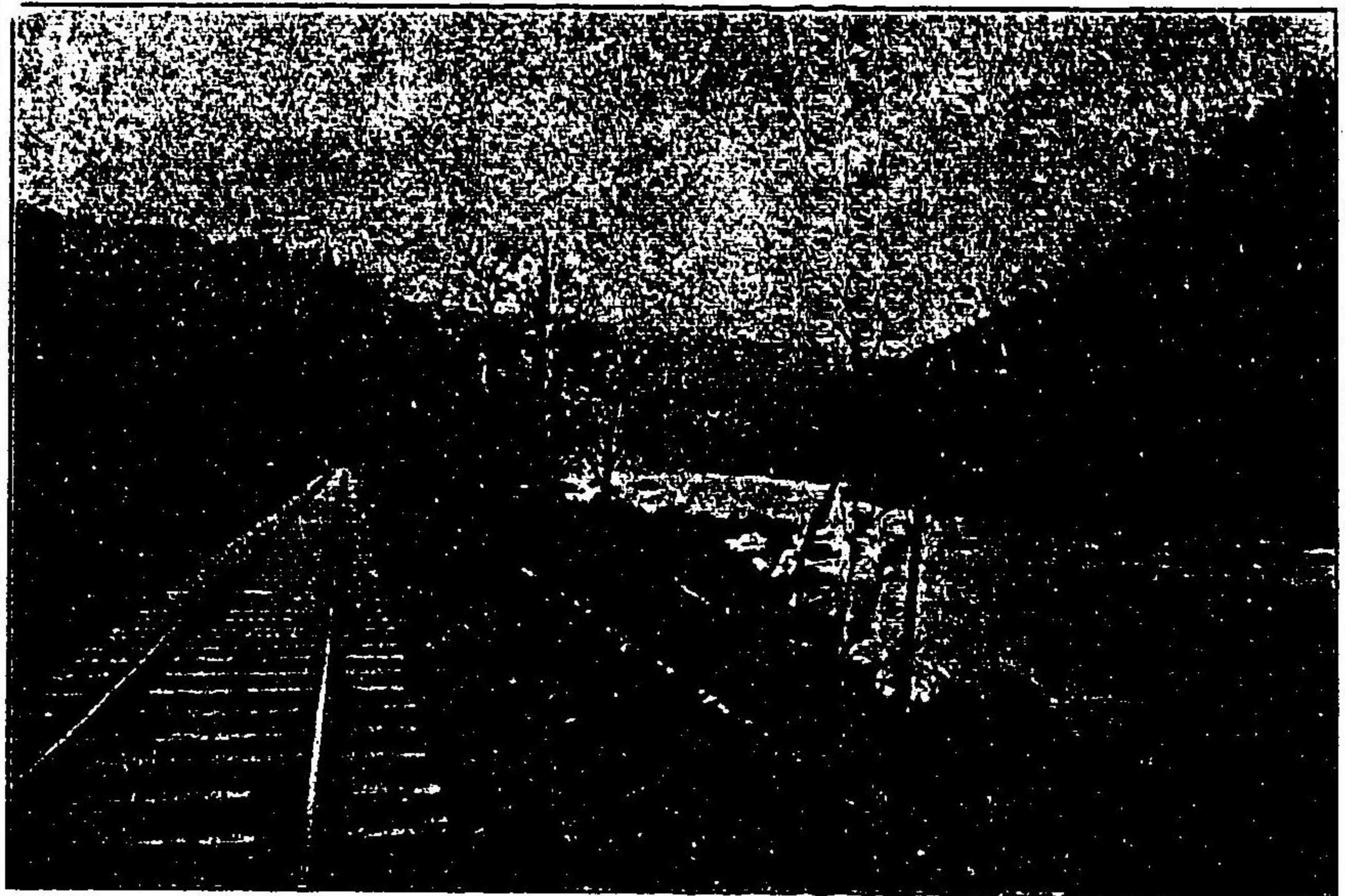
北州の圖

きて管治せしむ。現時其の下に十八支廳あり。鐵道は大部は炭礦鐵道會社に屬す。小樽室蘭は其の起點にして、一は札幌を過ぎ、他の一は苫小牧を経て、石狩平野の中部岩見澤に會す。官設上川線これと連絡して旭川に至り更に天鹽・十勝の二線路に分る。東部には釧路・白糠間に短距離の鐵道あり。又小樽・稚内間並びに函館と根室及

び千島との間に定期航海あり。又函館より本州青森縣との間に二條の海底電線を通ず。

北州 地勢 樺太山系は殆ど南北に走りて、本島を縦断し千島火山脈は千島列島より來り、本島中央部に於て之れと相會す。兩山脈の相會する所にはヌタツカウシユベ、十勝岳、石狩岳等の高峰聳え、本島の最高地點をなす。内地の山岳には蝦夷松、樅松、白楊等の森林多く、人跡未だ到らず、熊、鹿等多し。

本州の諸大川は皆中央高地に發源し、四方に流れて其の流域を開く。石狩川は西部の傾斜面を流るゝ、本島第一の大川にして、石狩岳より發し、上川地方を流れ、旭川附近にて忠別川、美瑛川を合せ、神居古潭の急流をなして、石狩の平野に出で、更に雨龍川、空知川、江別川、豊平川を合せて石狩灣に入



石狩川神居古潭の圖

左の方鐵道は官設線にして上川地方に通ず

る。札幌區は其の流域にあり。其他天鹽の原野を流るゝ天鹽川、十勝、釧路の兩平野を貫流する十勝、阿寒、釧路の三川の如きは石狩川に次ぐ大河なり。又オホツク海に臨める東北面の一部を流るゝ湧別川と常呂川との中間に猿瀧湖あり。本島第一の大湖とす。諸川には、概

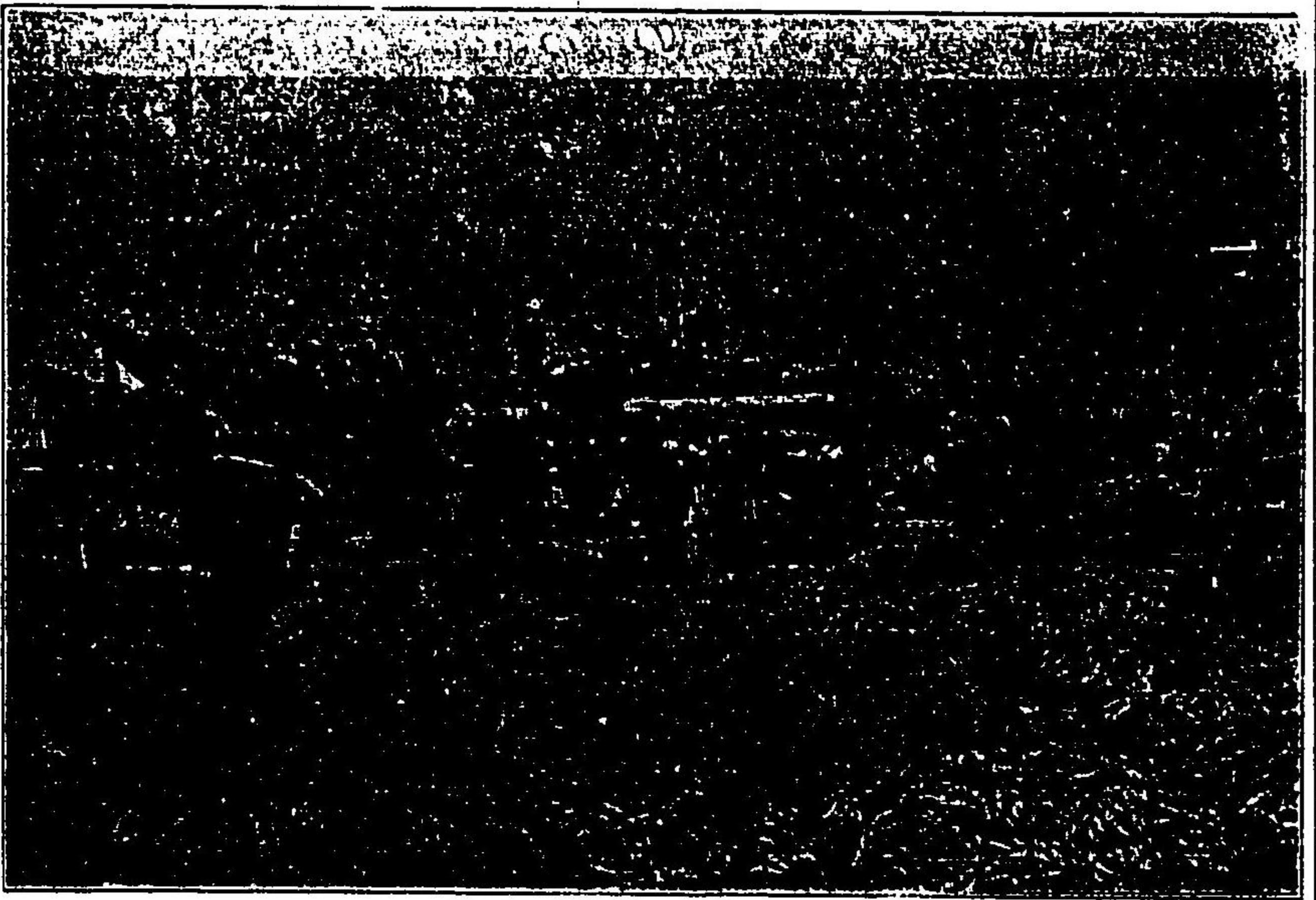
概ね

ね流木横はり、河道の屈曲多く航運の便に乏し。冬季は河水氷結し、却りて駄馬を通ずるの利あり。

石狩平野は日本海に向ひて開展し、其の南部は更に太平洋岸に達す。北州中地味最も豊穰にして開拓事業又最も進歩せる地方なり。平野の東境には幌内、幾春別、空知、夕張等の炭山多く、炭鑛鐵道之れを連絡す。此の平野の南西は北州の半島部にして、渡島山脈の方向に従ひ、東南に彎曲して内浦灣を擁成す。其の周圍に樽前山、有珠岳、駒岳等の火山ありて膽振火山脈を成し、脈を本州に延く。故に内浦灣は又噴火灣とも云ふ。

十勝平野は十勝川の流域にして、其の大きな石狩灣に次ぐ。近時開拓漸く緒に就き、河西支廳の所在地なる帯廣、其の中部に位す。十勝川の一派大津川口の大津は鮭漁に名あり。

海岸 北州の西海岸は、函館以西は概ね斷崖絶壁多きも、渡島には福山、江差あり。又後志には鯨鱈の漁場なる壽都、岩内、小樽の諸港あり。天鹽には小樽以北の名邑増毛あり。天鹽昆布を以て名高き、苫前其の北に位す。本島西岸の北端にある稚内亦漁業盛なり。此の地宗谷海峽を出づる暖流の支流あるを以て、冬季と雖も氷結せず。西岸の小樽と東岸の枝幸との間に汽船の往復あり。北見第一の繁昌地とす。本島の東岸より知床岬を経て、納紗布岬に至る間は、概ね低くして野付の砂嘴を除く外、著き出入なし。港は根室及び網走あるのみ。南岸には中部に襟裳岬突出して海岸を東西に分つ。東部には釧路、厚岸、花咲等の港あり。釧路は開港場の一にして西方白糠に達する鐵道あり。又北方跡佐登に産する硫黃の輸出港たり。



鮭の漁

物産 沿海は西岸に暖流を有し、東南岸に寒流流れ、水産最も豊富にして、鮭、鱒、鱒、昆布、臘虎、鰻、鮎等を生ず。殊に鮭は北州第一の漁利にして、西岸の小樽、釧路、増毛を主なる漁場とし、東岸にては根室を推す。漁期は春分の頃にして、其の肥料の産額一千万圓以上に達す。鮭は秋分頃を漁期とし、石狩川を第一の

産地とす。川口の石狩港爲に賑ふ。日本海上の奥尻、利尻、禮文の諸島亦皆鮭の好漁場たり。

本島は又林産、鑛産に富み、森林の地積は約一千万町歩を下らず。又各種の鑛物は殆ど埋藏せられざるものなけれども、未だ其の富源を開發するに至らず。金、石炭、硫黄の外多額の産出なし。枝幸の砂金は近時大に人目を惹けり。又全道の平野は概ね穀類、蔬菜に適するも、農業亦未だ進歩せず。工業としては製麻、製藍、製粉、及び麥酒の醸造、木材挽割、罐詰、燐寸軸木の製造を其の主なるものとす。軸木は其の原料多きを以て五十餘の製造所あり、網走最も有名なり。米、酒、砂糖、鹽、味噌、醬油、織物、漁網等の日用品は函館小樽を経て本州より輸入す。

人口 維新以來奥羽、新潟及び北陸地方より移住せるもの



アイヌ及び其の住宅物置の圖  
(東京帝國大學科學大地理學人類學教學所藏寫眞)

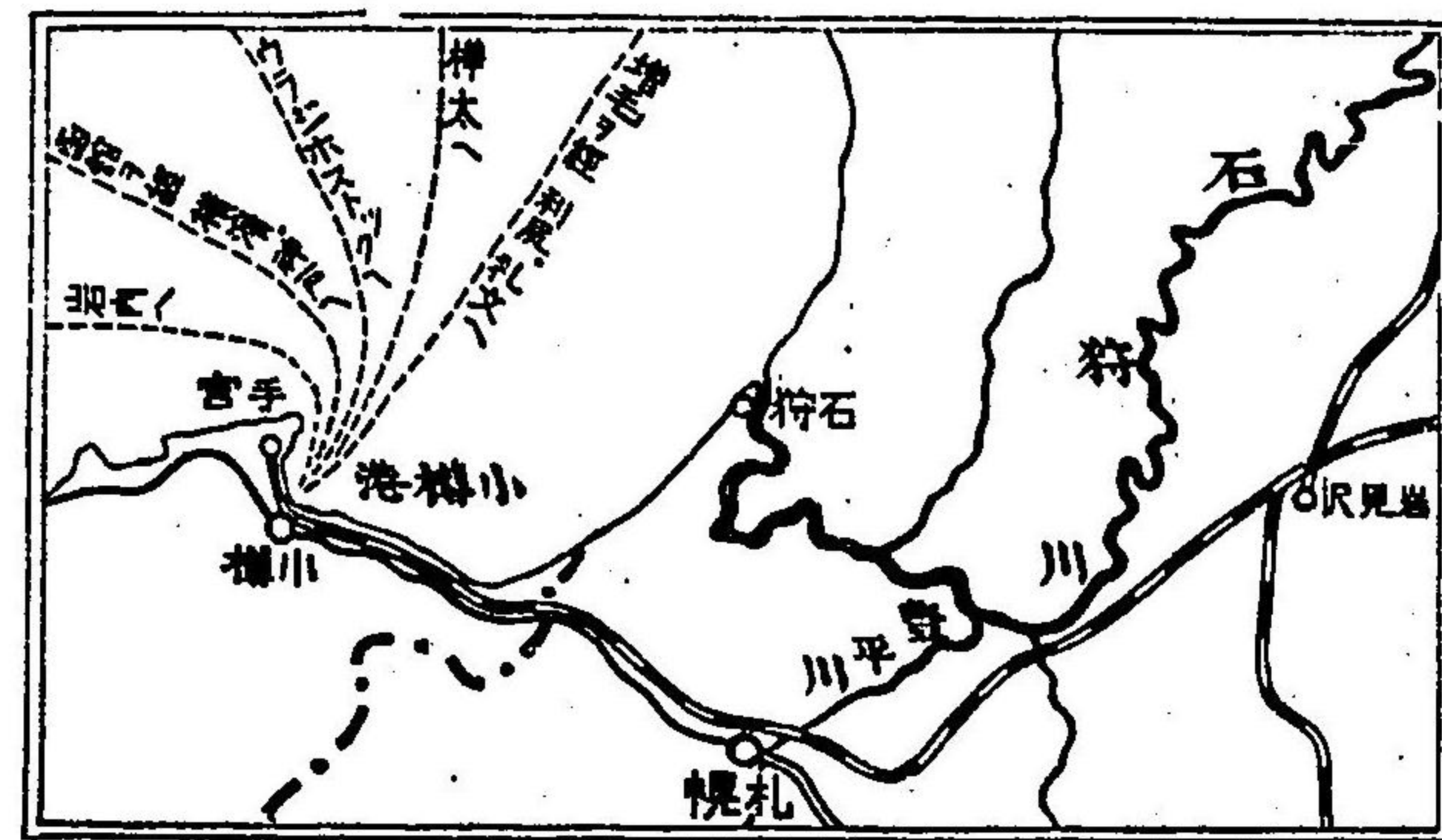
多く、人口年々増加すれども、本州に比すれば尙極めて稀薄にして、僅かに八十四萬人、即ち一方里に百三十八人のみ。本島の土人アイヌ族は、主として本島南部に居住し、現時僅に一萬七千餘あるのみ。

アイヌは全身多毛にして男子に鬚髯多く且つ之れを貴重す。女子は口邊に入墨を施す。風習粗野にして開化の度低し。

男子は漁獵を事とし、弓箭に長じ、毒矢を用みて熊を捕へ、嗜みて其の腦を生食す。衣服は楡樹の纖維にて織れるアツシを以て作り左衽に着す。食物は百合の根にて製したる澱粉及び粟稗を用ひ、男子は殊に酒、煙草を嗜む。家は土中に柱を建て茅を以て葺く。大低、ブと稱する物置あり。其の構造は床を高くし鼠害を防ぐべき用意をなせり。

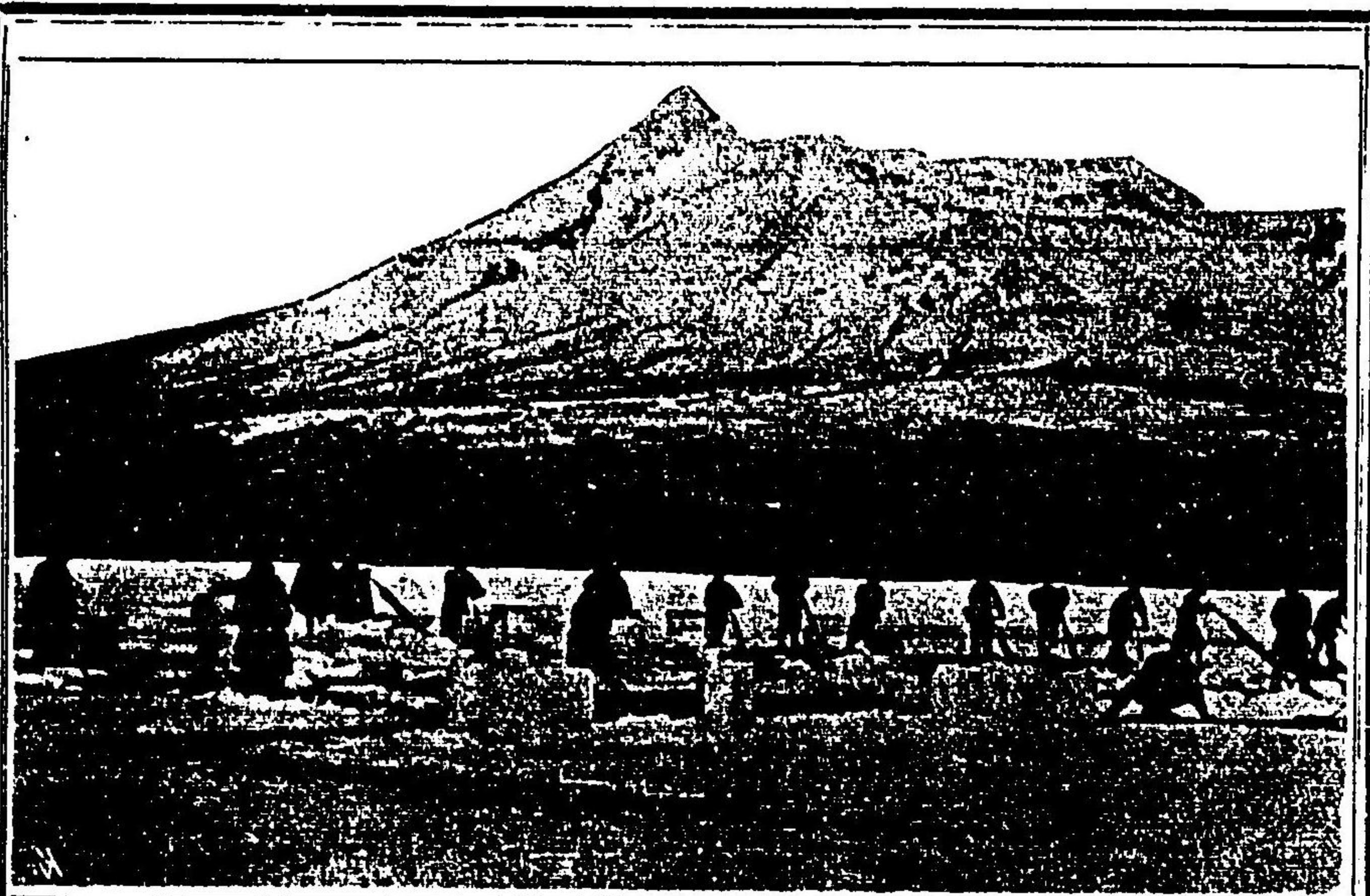
札幌區は全道を管轄する北海道廳の所在地にして全道交通の中心たり。人口三萬七千、札幌支廳及び札幌農學校あり。製麻會社、麥酒會社等の工場多し。西北の小樽港は札幌の輸出入口にして恰も東京横濱間の關係を有す。東北の旭川は第七師團司令部、上川支廳あり。市街の西南なる旭岡は美瑛川と忠別川との會合點に位し將來離宮を造營せらるべき地なり。

小樽區は三方に丘陵を負ひ東方は小樽灣に臨む、松前藩の



函館區は函館灣に臨み人口七萬餘あり。控訴院函館支廳、商業學校、商船學校あり。港は北州南方の良港にして、小樽、青森、

當時は鯨の一漁場に過ぎざりしが、維新後札幌に通ずる道路を開き、波止場を設けしより、商況大に進歩し、築港亦進行中に屬す。人口約六萬あり。西岸唯一の開港場にして樺太、シベリア等に定期航海あり。神戸との航海には函館、荻濱、横濱を經過する東廻線、及び日本海諸港を經過する西廻線あり。共に此の港を終點とす。鯨、石炭、鐵道用枕木等を輸出し、米、織物等を輸入す。



五稜廓氷切りの圖

荻濱、横濱等に定期航海あり。又税關及び外國領事館あり。毎年此の地より樺太、シベリア沿岸地方に川漁するもの亦五六千を下らず。鮭、鱈、昆布、並びに鰯、鱈、鱈等を輸出す。函館の東北にある五稜廓は、函館奉行の築造に係り維新最終の古戰場にして、今は其の外濠の製氷所として名あるのみ。内浦灣南岸の森は函館より室蘭を経て札幌に至る街道に當り、函館間の寄港地たり。現時檜山支廳を置く。

室蘭は第五海軍鎮守府指定地にして、海路函館に通じ、陸路は鐵道にて札幌と連絡し、海陸の運送最も便なり。開港場の一にして、石炭の輸出巨額に上る。室蘭支廳の所在地たり。鐵道にて苫小牧に至り、更に海岸に沿ひて日高に至れば、沙流川沿岸の平取及び附近にアイヌの部落多し。根室は鮭、鱒、鯨、鱈、昆布の漁獲盛にして、又函館及び千島との航海の要津に當る。東海岸第一の都會なり。冬季は結氷又は流水の爲めに妨げられ、汽船は背面の花咲港に寄泊す。

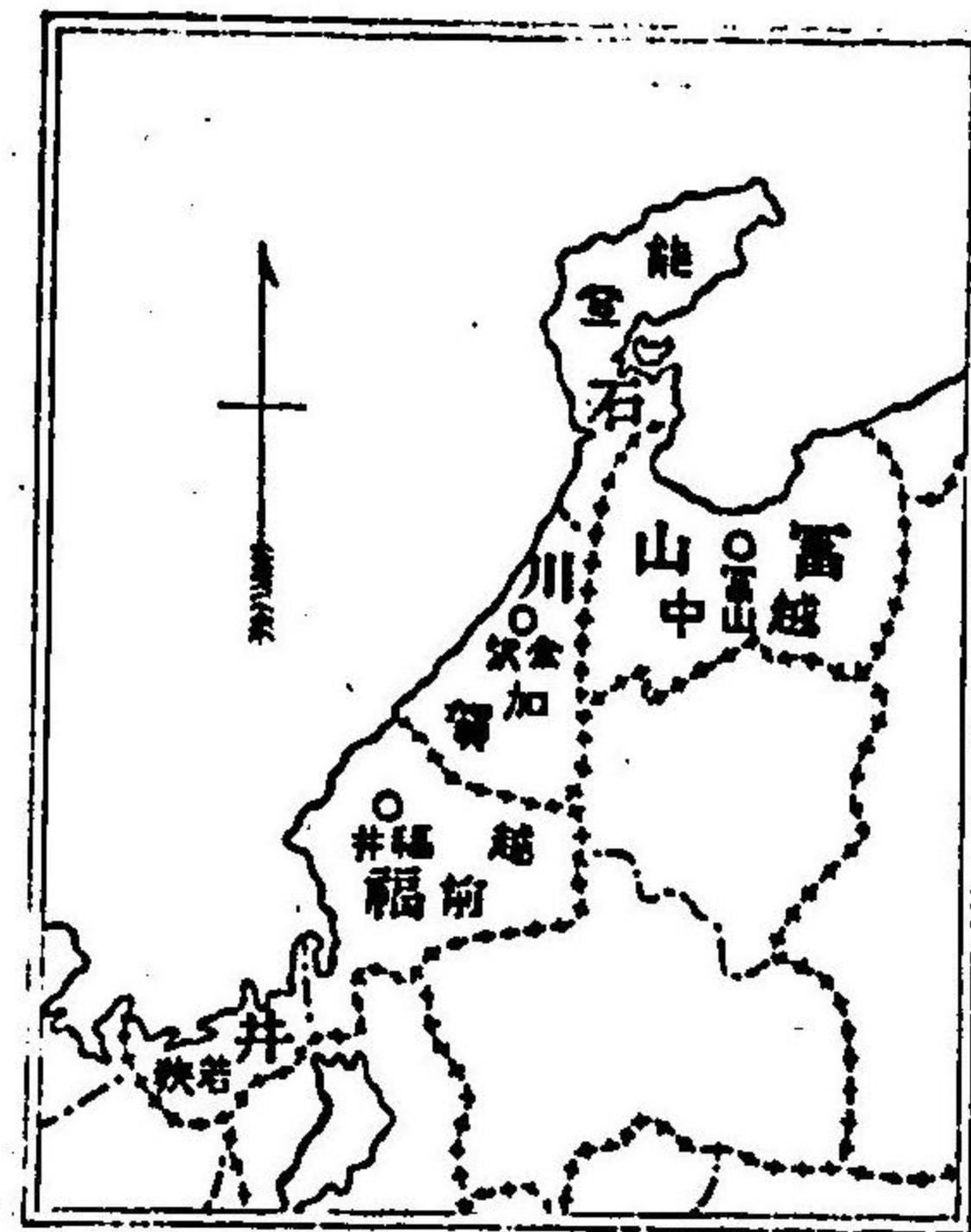
千島 千島は根室の東北より露領カムチャッカ半島の間に散在せる列島にして、オホツク海を控制する北方の要地なり。國後、色丹、擇捉、得撫、新知、幌筈、占守、阿頼度等の三十二島あり。何れも火山岩質の山丘にして平地乏し。沿岸は千島海流に洗はれ、霧深く、氣候は寒氣凜烈なり。陸地には椴松

蝦夷松等の雜木林あるのみ。水産に富めることは北州に譲らず。全列島は得撫、新知間のボウソリ海峡にて殆ど南北に分る。其の總面積は千方里に餘り、四國島に比敵す。明治十七年全島の土人を盡く色丹島の斜古丹灣に移住せしめしより、北千島は全く無人島となり、只郡司大尉の統率する報効義會員の占守島に移住して、漁獵開墾に従事するあるのみ。南千島の諸大島には何れも住民あり、擇捉島に紗那支廳を置く。色丹島の斜古丹港は軍艦商船を泊するに足り、新知島のプロートン灣は灣口の暗礁を除けば如何なる大船巨艦も自由に出入する良港となすを得べしと云ふ。

### 北陸地方

本州中部の北西に傾ける地方にして、東方は飛驒山脈に接

し、東南は高峻なる濃飛高原の山岳に限らる。冬季に最も多  
 き北西風は日本海の水蒸氣を齎らして之れと衝突し、深雪  
 を降らす。従ひて此の高地に發源して、北流する射水川、神通  
 川及び北西に流るゝ九頭龍川は融雪の候何れも漲溢す。  
 能登は日本海岸の大牛島にして、其の東岸に七尾港あり。  
 沿岸絶壁多し。西南の敦賀灣には敦賀港あり。其の外沿岸著



北陸地方の圖

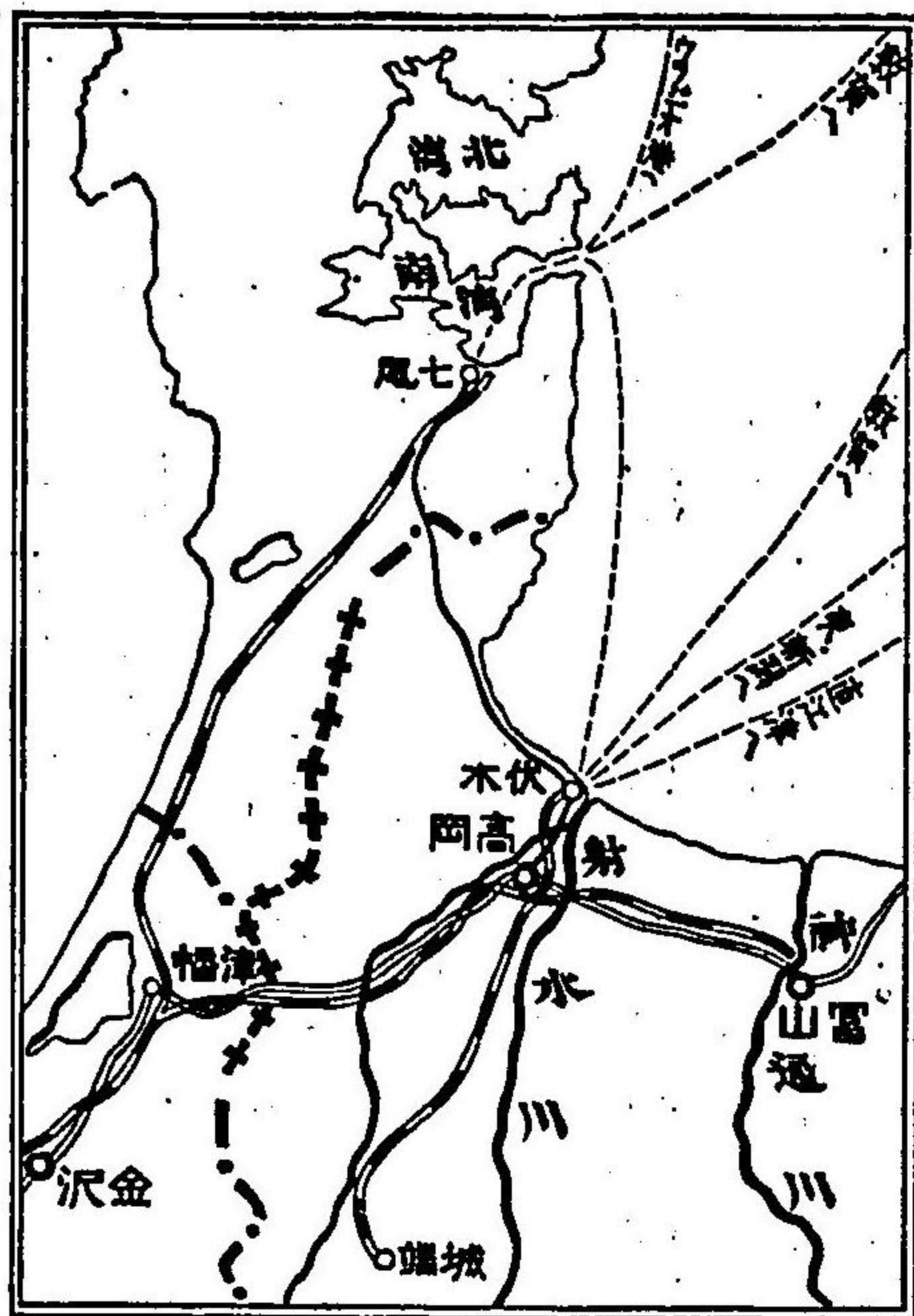
き出入なく、概ね砂濱にして、川  
 口亦淺く、水深屢變更するを常  
 とす。

縣名	廳所在地	及び其の人口	距離	汽車程
富山	富	山五、九	金澤	二時四〇分
石川	金	澤八、四	福井	二時三七分
福井	福	井四、四	名古屋	七時三四分

官設鐵道北陸線は富山・金澤・福井を連ねて、東海道鐵道に連  
 絡し、北陸街道も亦略これと平行す。又北陸線に接續する七  
 尾鐵道・中越鐵道あり。

富山縣 中央高原の北に傾ける地方にして、立山其の東  
 南境に接して聳え、今尙ほ盛に硫烟を噴出する地獄谷あり、  
 立山より發する黒部川は水勢急にして、下流は黒部の四十  
 八瀬と稱せらる。愛本橋の奇橋あり。神通射水兩川は飛騨高  
 原より來りて北流し、富山灣に注ぐ川口には砂洲ありて、泊  
 船の利に乏しと雖も、鮭・鱒の漁利多し。流域の平地は越中米  
 の産地にして養蠶亦行はる。富山・高岡及び農學校の設ある  
 福野は此の流域内にありて其の間に鐵道の便あり。加越  
 の國境を扼する俱利伽羅峠の嶮は鐵道並びに新道を通じ、  
 今は只史上に名あるのみ。



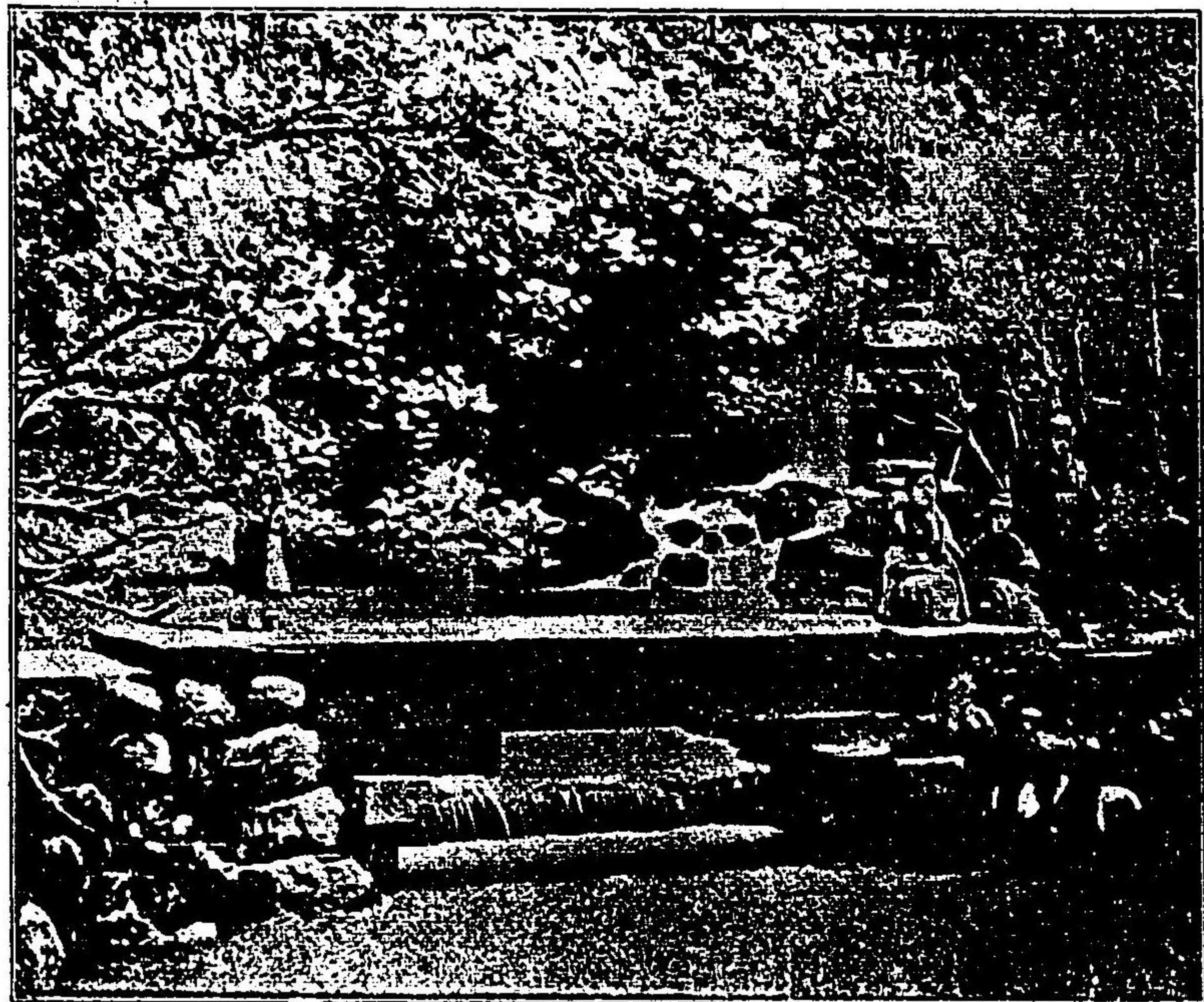


絡する開港場伏木港を控え、銅鐵器、漆器の産あり。機業亦盛なり。近傍に工藝學校あり。

**石川縣** 北陸地方の中部に當れる地方にして、東境の白山は南北に其の脈を延き、手取川は白山より發して北西に流る。縣の南部は北西風を受けて降雪多し。海岸の低地には

富山市は前田氏支封の地にして、神通川の下流に在り。貨物の集散地なり。其の名産なる賣藥の販路は舊藩主の保護を得て、全國に普及す。高岡市は北に中越鐵道にて連

産業は地勢に關す



兼六公園瓢池及翠瀑の圖

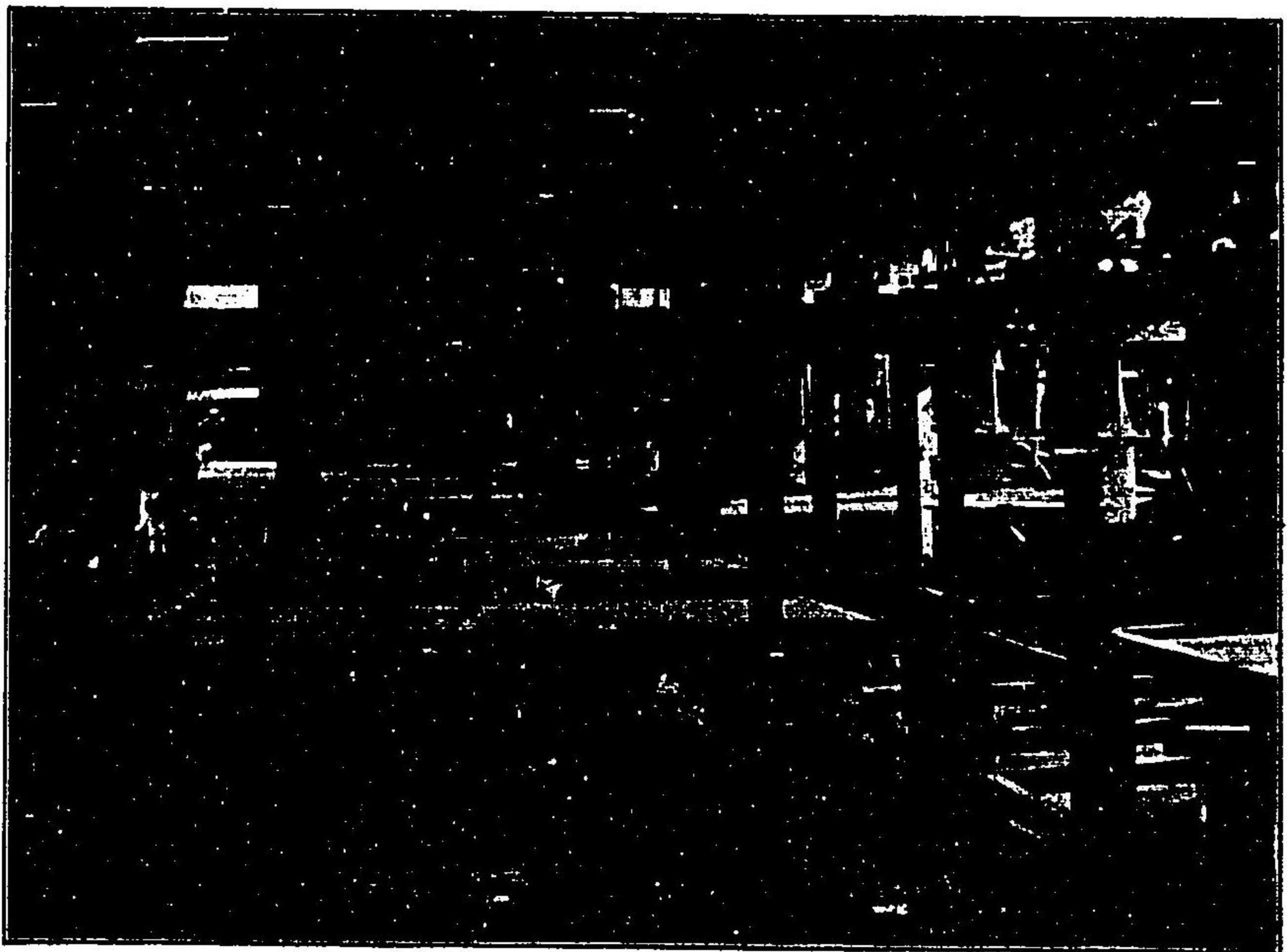
金澤市中を流る川の水を引きて造るれものなり

潟多く、耕地は多からず。金澤、小松、大聖寺は何れも工業地にして、陶磁器の産は岐阜、愛知に次ぎ、漆器の産は静岡に次ぐ。  
**金澤市**は前田氏百萬石の舊城地にして、九谷焼、象眼細工、絹布を名産とす。第九師團

司令部第四高等學校、醫學專門學校、工業學校ありて、自ら北陸地方の中心地たり。市の兼六公園はもと前田氏の庭園にして、日本三公園の一と稱せらる。市中を流る、犀川の口に金石港あり。大聖寺には九谷陶器會社あり。九谷焼は舊藩主の奨励に由りて九谷村に起り、肥前の製陶法を傳へて大に進歩せりと云ふ。

能登は北方に寶立山聳えて山地多く、地味瘠せて農業に適せず。北岸の輪島は輪島塗を以て著はれ、沿海の製鹽は日本海岸第一位に居る。東岸の七尾は開港場の一にして、ウラジオ港に直航する定期航路あり。縣下の工産及び富山縣の農産を輸出す。

福井縣 北陸地方の西南部にして、濃飛高原より北西に傾く。九頭龍川は足羽川、日野川を合せて北流し、越前米の産



羽二重工場内部分の圖

地を灌漑す。縣内機業殊に發達し盛に貿易上の重要品羽二重を織り出し、織物の産額京都府に次ぐ。日野川に沿へる福井市は其の中心地にして、川口に三國港を控ゆ。西部の若狹地方は中國山脈に連り、敦賀灣頭の外は平地乏しく、地味瘠せて農産豊かならず。海岸は屈曲多

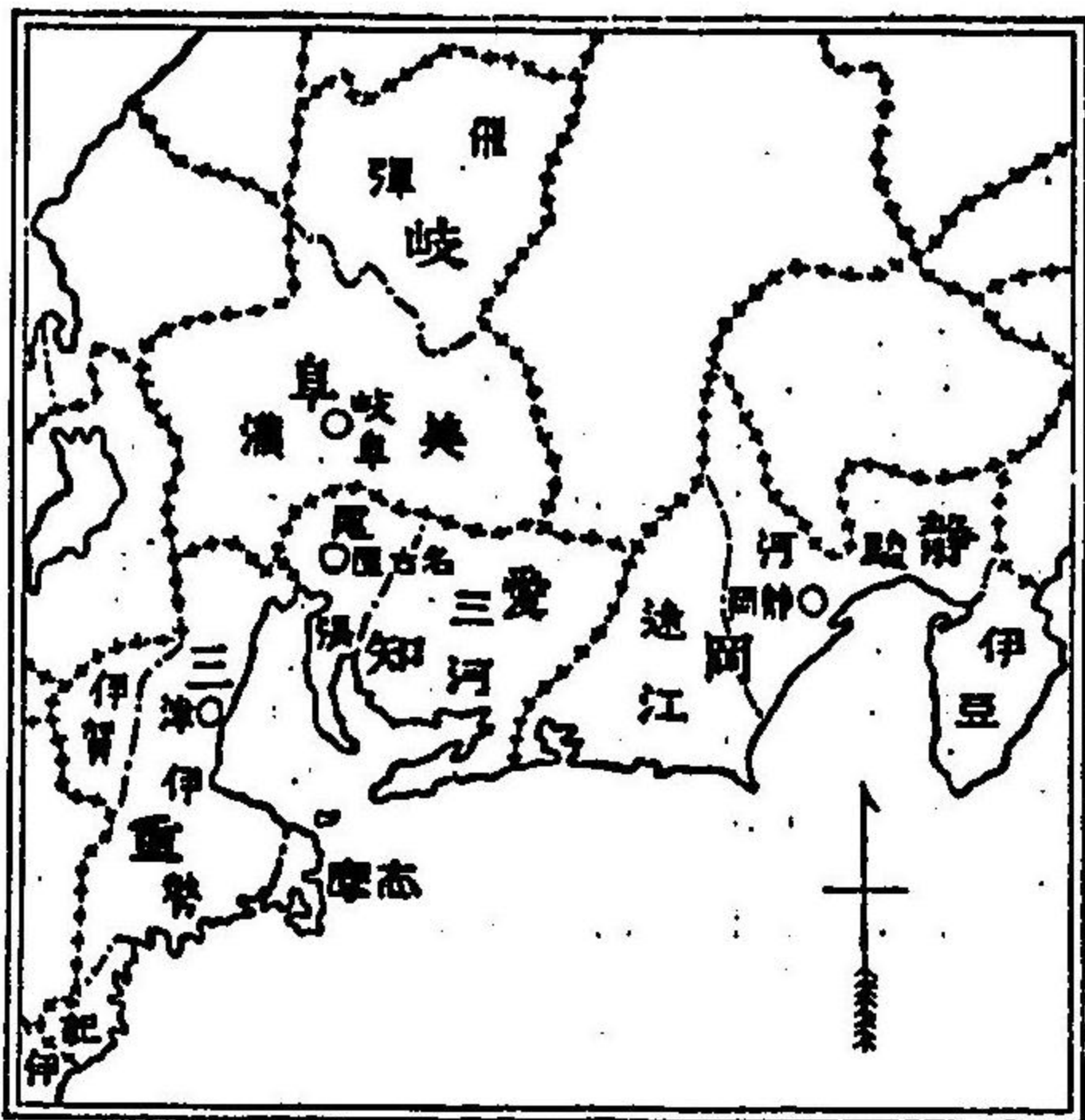
く漁利又多し。

福井市はもと北莊と稱す。結城秀康此の地に封ぜられて後、今の名に改む。夙に奉書紬を産せしが、明治二十年以來羽二重業起れり。市内に農學校及び新田義貞を祀れる藤島神社あり。僧道元の開創せる曹洞宗、本山永平寺も亦市を距ること遠からず。又市の南方には武生の機業地あり。九頭龍川口の三國港は福井と漕運の便あり。敦賀は北風を避くるに適せずと雖も、金崎より波止場の設あり。日本海の良港にして開港場の一に居り、ウラジオ港に直航する定期航路あり。町に第十八旅團司令部を置く。金崎には尊良親王を祀れる金崎宮あり。小濱港は其の西の青戸入江と相待ちて碇泊安全なり。小濱鯛、若狹塗を名産とす。又水産學校あり。

### 東海地方

關東平野の西境箱根峠より西志摩半島に至る沿海地方を云ふ。富士火山脈の貫ける伊豆は南方に突出して遠州灘を隔て、遙に志摩半島と相對し、更に其の間に三大灣入を成す。即ち伊豆半島と御前崎との間は駿河灣にして、志摩・知多兩半島の間は伊勢海、知多・渥美兩半島の間は三河灣なり。富士・大井・天龍・矢作・木曾の諸川皆北部の山地に發源し、南流して太平洋に注ぐ。諸川の流域及び海岸附近は平地廣し。飛騨高原は長野縣に隣接する本州中央高地の一部にして、飛騨川は南部の水を集め南流して木曾川に會し、北部の水は神通・射水兩川の上流となりて北流す。伊勢海西岸一帯の地方は伊勢にして、西北には鈴鹿山脈ありて、四面海なき伊

賀に接續し南には紀伊山脈蟠り、其の間の諸川は皆東流して伊勢海に注ぐ。



東海地方の圖

關西鐵道は名古屋に起る。又關西線に連絡し津より山田に至る參宮鐵道あり。飛驒は全く鐵道の便を缺く。  
静岡縣 關東平野の西に隣れる地方にして、本州最高の

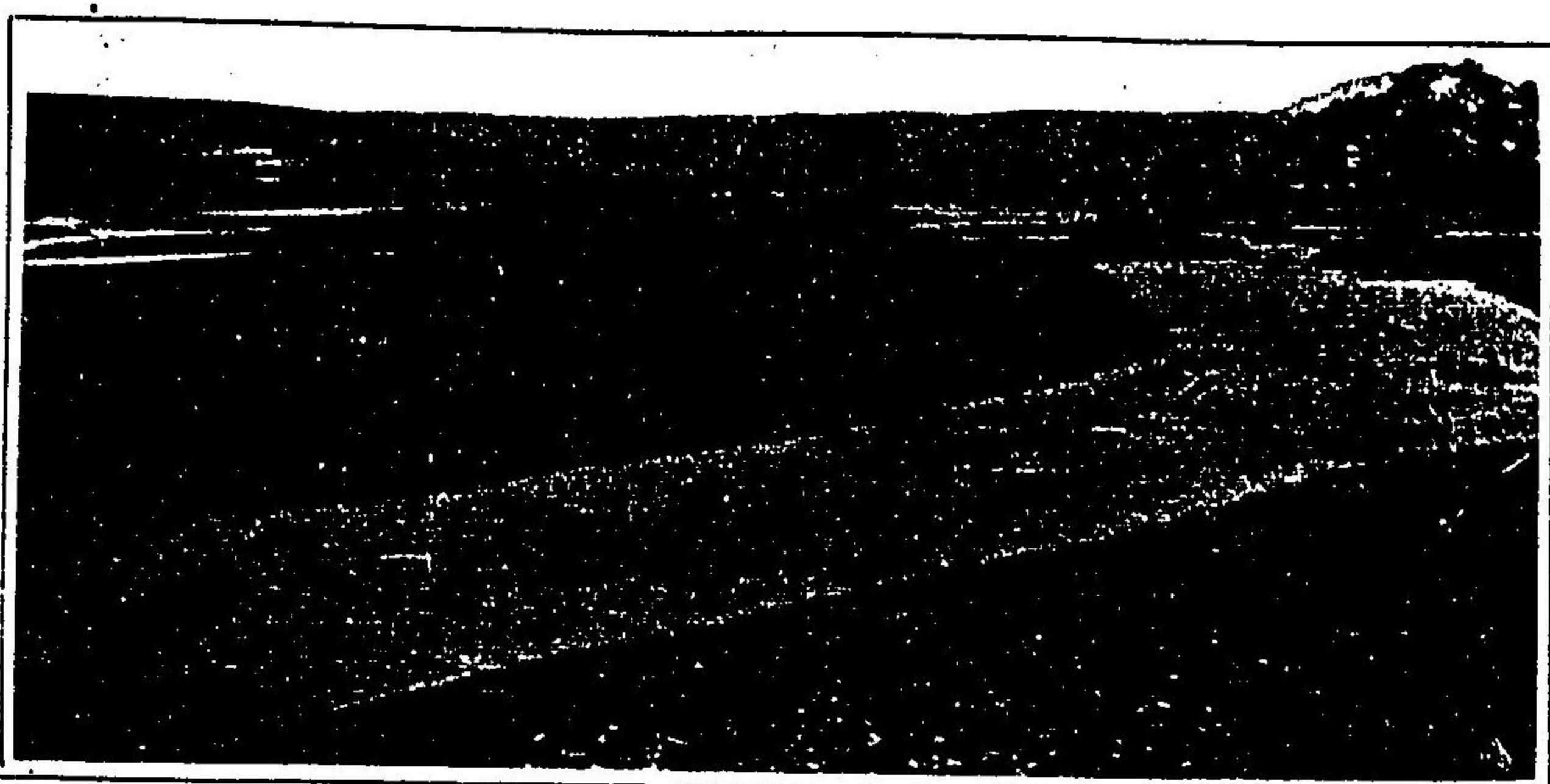
縣名	廳所在地	及び其の人口	距離	汽車程
静岡	静岡市	四、二	横濱より	五時五分
愛知	名古屋市	二四、四	静岡より	六時一分
三重	津市	三、二	名古屋より	三時四分
岐阜	岐阜市	三、三	全	一時一分

陸上の連絡は港の要件なり



下田港の圖

富士山は北境に聳えて、山梨縣と腹背を成す。富士火山脈に屬する箱根山は富士山の東南に峙ちて、關東平野との境界をなし、船材に富める天城山は其の南方伊豆の中央部に蟠り、火山岩海に迫りて石廊崎を成す。處々に石材の産地あり。又温泉多し。間歇泉に名高き熱海は北部に、源頼家幽屏の地たる修善寺は中部にあり。南端の下田港は維新の際米艦來泊の地として有名なれども陸上の交通不便なり。駿河遠江は赤石山脈其の北境に聳えて、其の脈遠江の中央に位する秋葉山に連り、地勢は南に急斜す



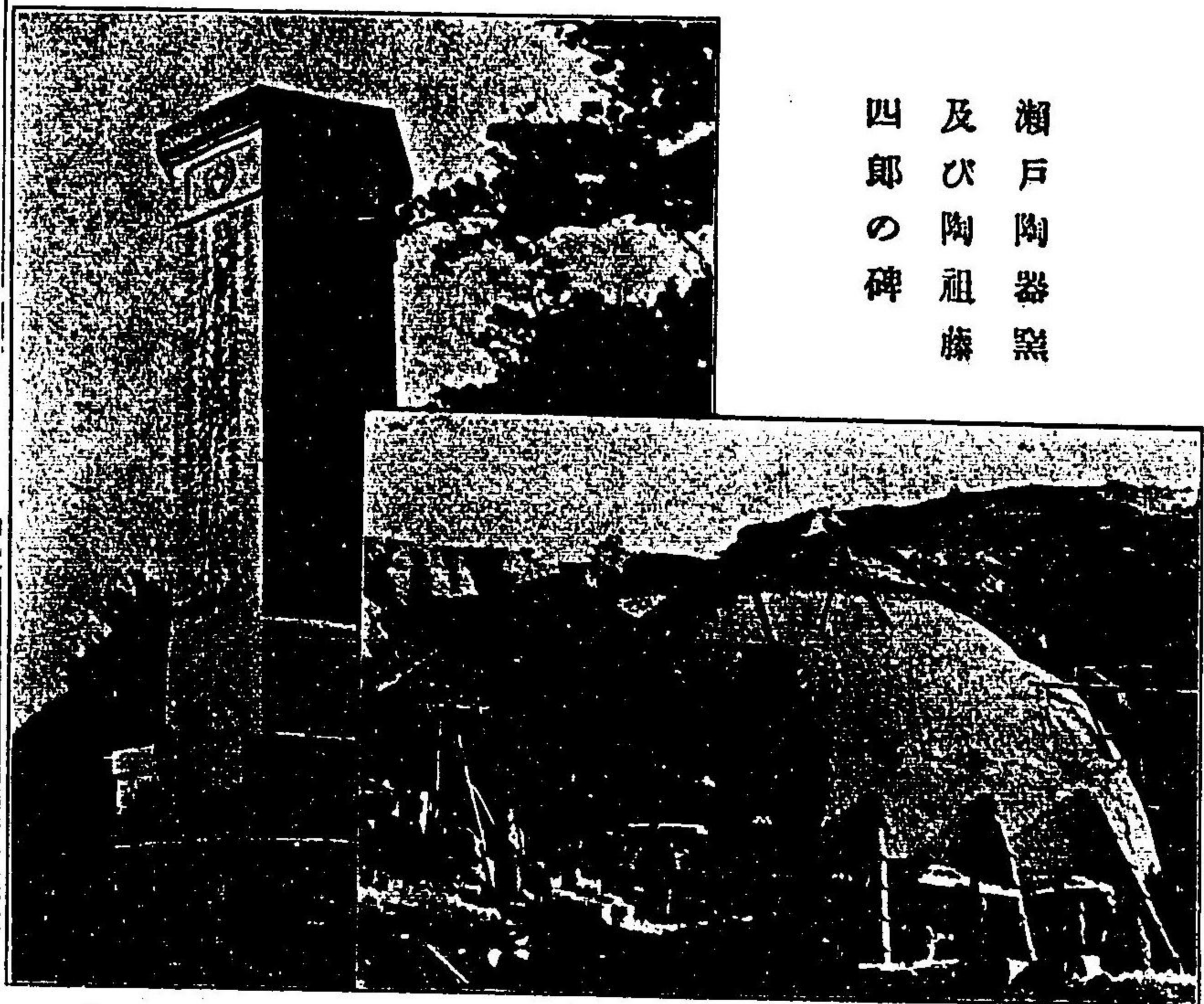
大井川の圖

るを以て、富士・大井・天龍の諸川何れも急流にして、雨後には水量激増す。富士川は甲・駿兩國の通路を成し、更に運河を以て東海道岩淵に通ず。蓮臺渡に名を得たる大井川は今も尙鐵道の外橋梁を架せず。天龍川は北部林産の輸送に利あり。縣内林産に富む。富士山麓の大宮及び伊豆の田方に農林學校を置く。諸川の流域及び海濱の地は次第に開拓せられて、茶樹・楮・三椏の栽培盛なり。殊に茶の産額二百萬貫に達す。静岡・濱松等

を其の中心地とし製茶・製紙の取引多し。東海道鐵道は黃瀬川に沿ひて南下し三島にて豆相線を分つ。海岸には千尋以上の深度なる駿河灣あり。御前崎附近には石油の製造所を有する相良あり。海上には黒潮の暖流ありて鱈の漁利多く、鱈節の産額六十八萬圓に及び、茶と共に其の産額府縣に冠たり。

静岡市は駿府城の在りし所、賤機山を負ひ、久能山・安倍川を控え、頗る要勝の地なり。漆器・竹細工を産し、製茶・半紙の取引多し。商業學校あり。市外の臨濟寺は臨濟宗の總本山たり。三保灣頭の清水港は開港場にして風波穏かなり。濱松は天龍川の流域に在りて、其の平地は三方原の古戰場に連り、茶の製造・取引共に盛に、商業學校あり。樂器及び藺席の輸出多し。

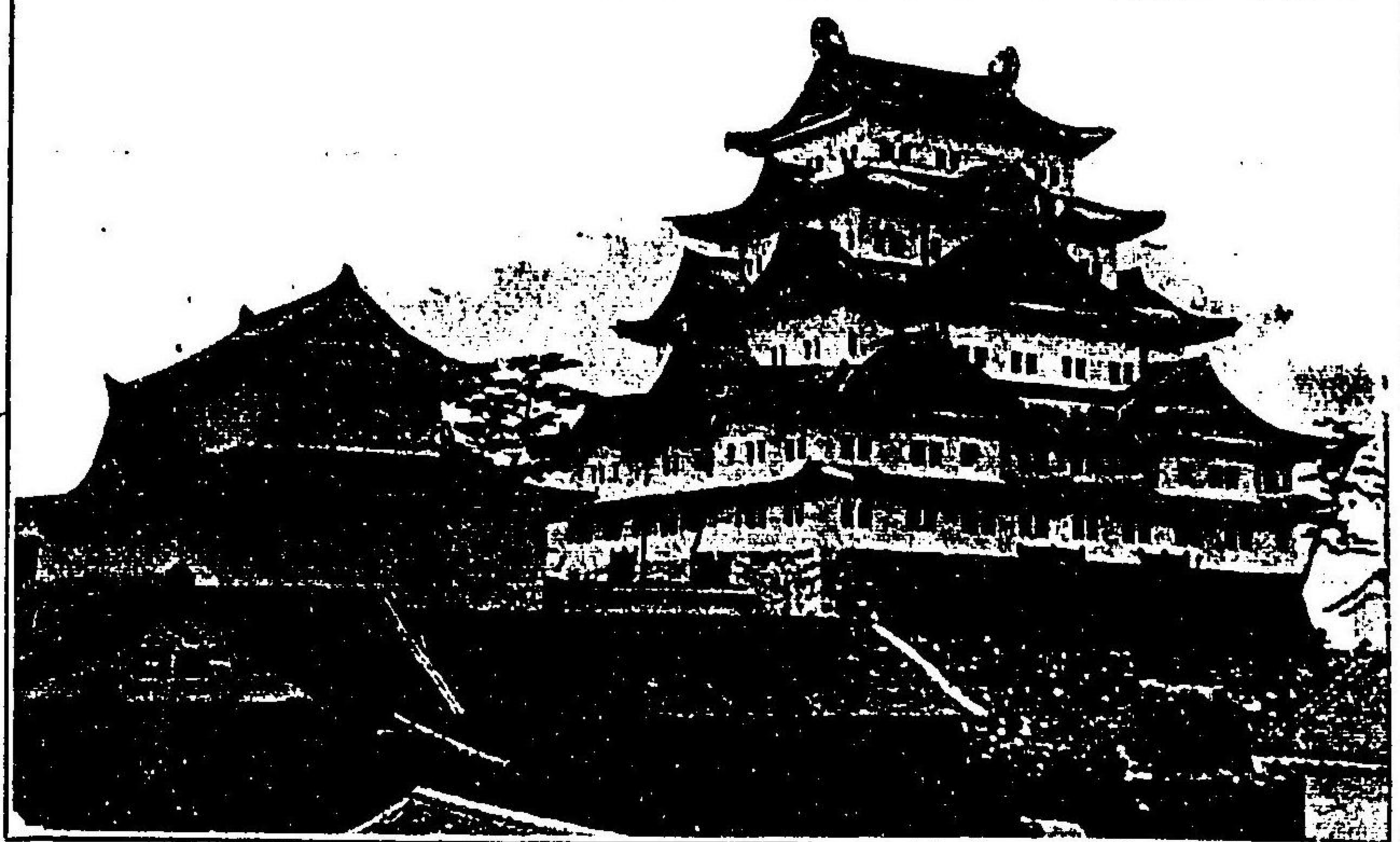
瀬戸陶器窯  
及び陶祖藤  
四郎の碑



愛知縣 東海地  
方の中部に位す。尾  
張の大部は濃尾平  
野の南部にして、米  
の産出多し。尾西鐵  
道西部に通して、東  
海道・關西の二線を  
連結し、武豊線は東  
海道鐵道の大府よ  
り起り、清酒に名あ  
る半田を過ぎ開港  
場武豊に達す。東北  
部は陶器の原料に

富み瀬戸は陶祖藤四郎の窯を開きしより、窯業を以て其の  
名高く、尾張侯の保護に由りて發達し、多く輸出向製品を出  
す。南方知多半島の常滑も亦土管の製出多し。兩地共に陶器  
學校あり。三河は國名の由りて起れる矢作・大平・豊の三大  
川あり。東北部は山丘起伏す。鳳來寺を以て名高き鳳來寺山  
は森林鬱葱たれども、其の他は概ね矮松あるのみ。平地には  
綿を産し、三河木綿の名夙に著はる。縣内各地紡績・機業盛  
に、絹綿交織の産多し。陶器は本邦第一位を占め、一年の産額  
百萬圓以上に達す。

名古屋市は濃尾平野の大市場にして、庄内川に跨り南方熱  
田に接し、東海道中仙道の要路に位す。人口二十四萬あり。徳  
川氏が親藩を置きし地にして、六十二萬石の舊城下たり。其  
の城は徳川家康の諸侯に課して、造營せしめたるものにて、



名古屋屋城の圖

牙城は金鯱を以て著はれ、現今離宮となれり。城址に第三師團司令部を置く。本市は其の位置恰も東西兩京の中間に位し、三府との連絡最も密なり。綿絲織物、七寶燒等を産す。控訴院、醫學校、商業學校、工業學校あり。熱田は神宮あるを以て宮と通稱す。此の地より四日市に汽船の往復あり。其の名古屋に對する關係は東京に於ける品川の如し。東南の有松は絞染を出す。矢作川に沿へる岡崎は鐵道を距ること約一里にあれども、水運

の便あり。味噌を名産とす。豊川に近き豊橋は水陸運送の便あり。其の繁華岡崎に譲らず。第十七旅團司令部の所在地たり。

三重縣 東海地方の西部にして、西方畿内に接し、伊勢伊賀、志摩及び紀伊の一部を管治す。伊勢は鈴鹿山脈を以て琵琶湖に注ぐ諸川の流域との境界をなし、南部の紀伊山系は木曾に次げる良材を出す。地勢は伊勢海に傾き鈴鹿、雲出、櫛田、宮等の諸川其の平地を灌漑し、北は濃尾平野に連り、米穀取引の盛なる桑名、絹木綿に名高き松坂等皆鐵道にて連絡す。松坂には工業學校あり。伊賀は山地にして薪炭を出し、其の中部の上野は伊賀越の要所たり。志摩は半島國にして農耕に適せざる山地なるを以て、水夫又は漁夫となるもの多し。



内宮の圖

茅葺に於て千木木盤あり古風を存す

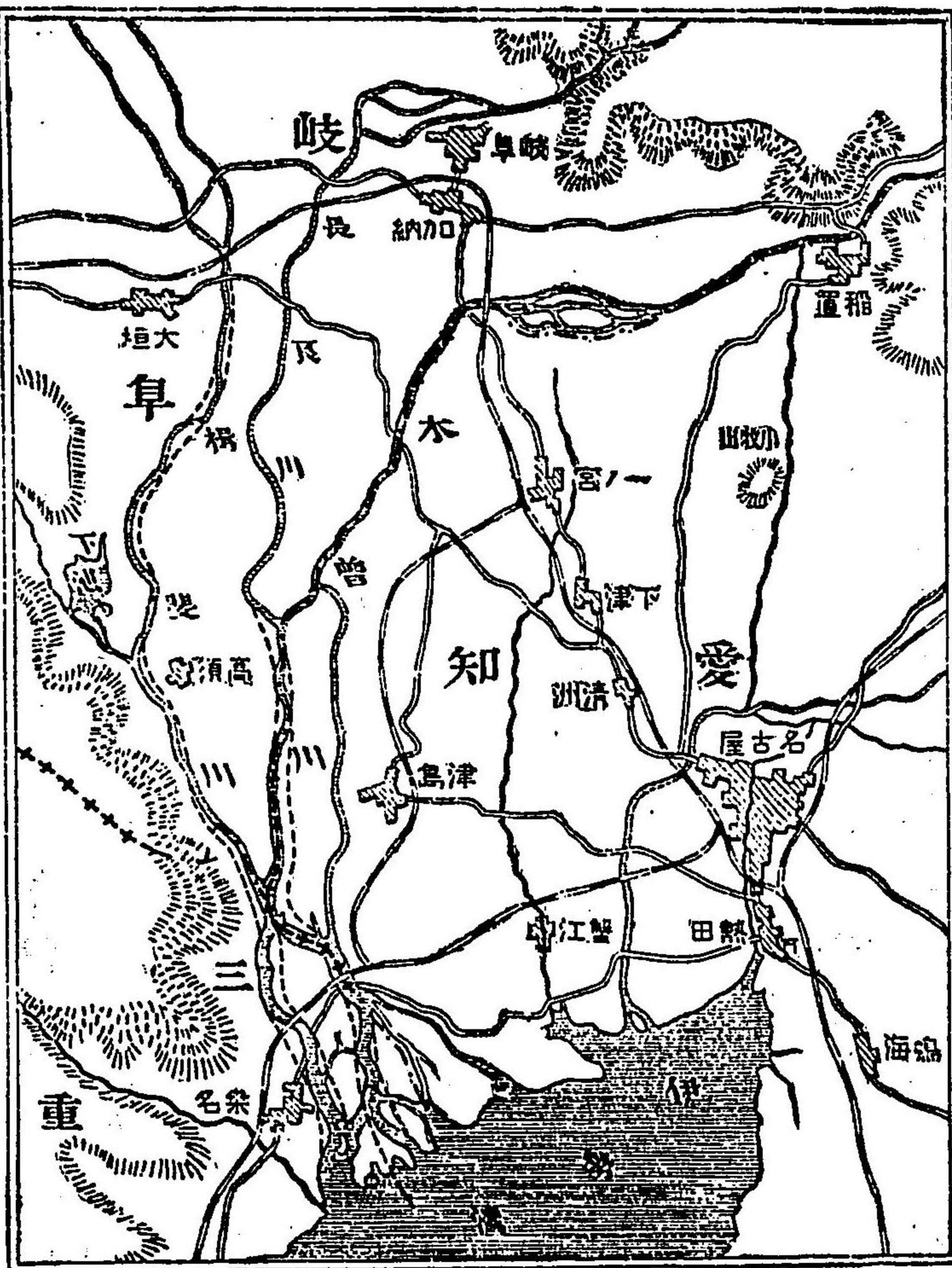
津市は古の安濃津にして、塔世川と岩田川とに夾り、阿漕浦に臨む商業地なり。參宮鐵道は此の地に起り、松坂を経て宇治山田町に至る。宇治山田は内宮外宮の在る所に於て、參宮の旅客四時絶えず、市街之れが爲に賑ふ。近傍に二見浦、朝熊山等の勝地あり。朝熊山麓の鳥羽港は港門穩かにして、外洋の波浪を避くるに適す。熱田及び大阪に定期航海あり。四日市市は神

戸横濱間第一の埠頭にして、稻葉三右衛門の經營により漕運の便大に開け、開港場の一たり。商業學校あり、萬古焼を産し、洋紙、紡績絲の製造亦盛なり。

岐阜縣 東海地方の北部に當り、美濃・飛驒を管治す。北方の飛驒は濃飛高原に屬し、其の東境には飛驒山脈の峻嶺相連り、土地高峻にして寒氣強く、冬季積雪丈餘に及ぶ。交通不便なるを以て、風俗質朴に工匠若くは礦業に従事するもの多く、中古以來飛驒匠の名高し。高山町は一位細工を出し、其の北方神通川の上流高原川附近の神岡礦山は銀・銅・鉛を産す。南方濃尾の平野は木曾川の流域に屬し、長良・揖斐の二大川更に之れを灌漑し、地味極めて肥沃にして、農産最も豊かなり。屢洪水の害ありしが、明治二十年三大川の分流工事に着手してより水災漸く減ぜり。



岐阜市は此の沃野の大都會にして稻葉山を負ひ長良川に



木曾川流域南部の部の圖  
點線は分流水工事の河道を示す

臨み、名古屋より京阪に通ずる要路に位す。繭・生絲の取引多し。製紙盛に提燈・團扇の名産あり。近傍に農學校を置く。西南の大垣は楫斐川・株瀨川の間在り。大垣城は慶長五年關原役の初め石田三成の本營を置きし所にして、徳川家康は其の西北石灰岩に名高き赤阪附近に陣し、西方關原に於ける大戦となれり。濃尾平野の東南は陶土に富み、廉價にして實用を主とする美濃陶器の産甚だ多く、多治見は其の中心市場にして、土岐津には陶器學校あり。

### 近畿地方

近畿地方は琵琶湖及び其の下流の流域に接續する一帯の地方と、之れと密接の關係ある紀伊半島及び中國に接する一部を包括す。南方の紀伊半島は西方淡路島との間に大

阪灣を抱き、北方の丹後半島は其の東に與謝灣を擁し、南北の兩灣共に良港に富む。紀伊半島の大部は紀伊山脈東西に走り、地勢高峻にして、紀伊川之れに沿ひて西流す。丹後半島の南方には中國山脈東西に亘りて北陸地方に連り、日本海と日本内海との分水嶺を成す。由良川、朝來川は北流して日本海に入り、淀川、市川、楯保川は南流して日本内海に入



近畿地方の圖

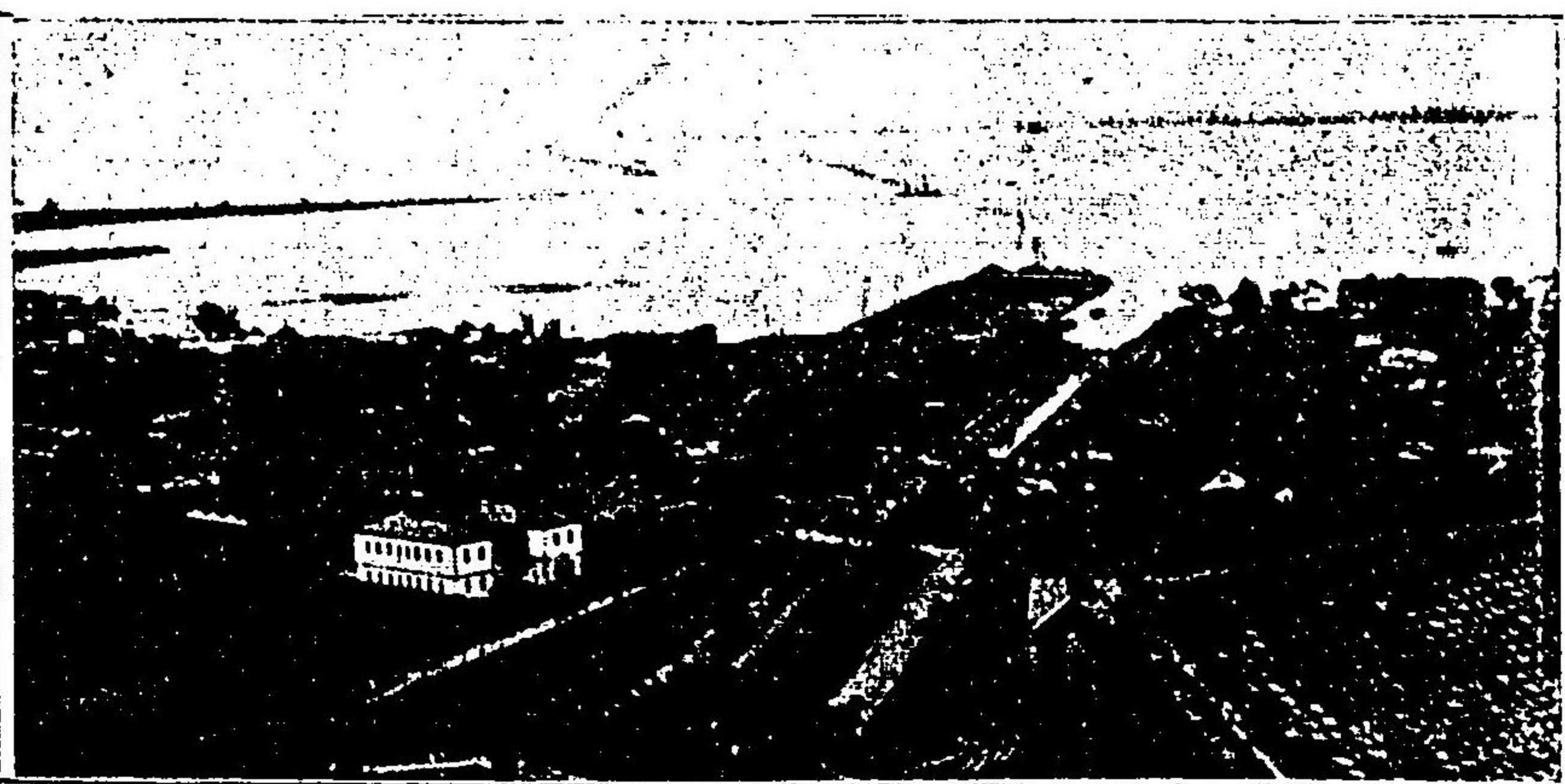
府縣名	廳所在地	及人口	距離	汽車程
滋賀	大津市	三、四	岐阜	三時〇三分
京都	京都市	三五、三	東京	一四時三十分(急行)
奈良	奈良市	三、一	京都	一時五分
和歌山	和歌山市	六、四	大阪	二時七分
大阪	大阪市	八二、一	京都	一時八分
兵庫	神戸市	二二、六	大阪	一時一分

る。以上は二府四縣の分轄に屬す。

近畿地方には東海道・北陸山陽・南海・關西・奈良・阪鶴の諸鐵道の外、兵庫縣には其の中部を南北に貫通する播但鐵道あり。和歌山縣には紀伊川に沿へる紀和鐵道あり。其の他高野鐵道・河南鐵道等の小鐵道あり。紀伊半島は大阪・熱田間の航路に由りて、沿海地方水運の便あり。淡路島は海底電線にて和歌山縣・兵庫縣及び四國と連絡す。

滋賀縣 琵琶湖四周の地にして、四面に山岳を繞らし、東境には鈴鹿・伊吹の兩山脈あり。北境及び西境には中國山脈高く聳ゆ。中央の低地に在る琵琶湖は稍西に偏し、本邦第一の大湖にして、周回六十里、縣下面積の三分一を占め、野洲・愛知・犬上等の諸川を入れ、其の水勢多川となりて京都府に入る。湖上に汽船の往來あり。琵琶湖に入る諸川の水源は禿山

森林なき  
山は河川  
の水量を  
調整せず



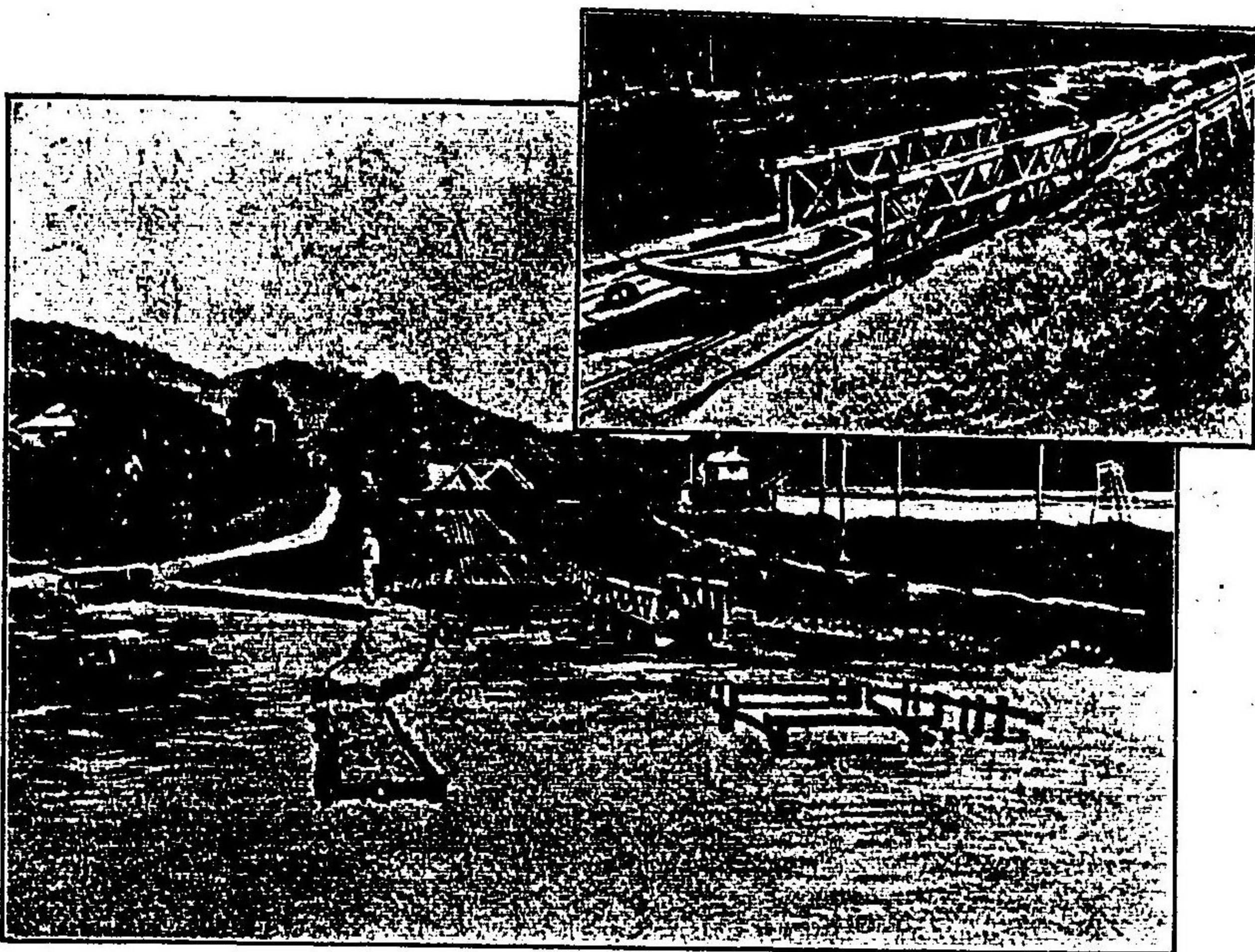
大津市の街の圖

三井寺より市街及び琵琶湖を望む

多く、従ひて屢水災あれども、其の流域及び湖邊の平地は地味肥沃にして、米・藍・烟草に適す。著名の都會は多く湖の東南に位し、交通も亦東部最も便なり。官設東海道鐵道は岐阜縣に近き米原より彦根・草津を過ぎ、馬場にて大津線を岐ちて京都に入り、關西鐵道は草津より東南三重縣に通ず。米原は又長濱を過ぎ、柳瀨の隧道を経て福井縣に入る北陸線の起點なり。琵琶湖の西南角にある大津市

は水陸交通の要所にして、貨物の集散多く、近江八景の三井寺・石山等は多く其の附近にあり、大津の東北に位する彦根は又湖畔に在り、其の繁華は湖東第一に居る。長濱は濱縮緬の産地にして、又農學校あり。彦根の西南なる八幡は近傍に商業學校あり。綿・蚊帳・疊表を特産とす。又其の東南に日野あり。いはゆる江州商人は多く此の地方より出づ。

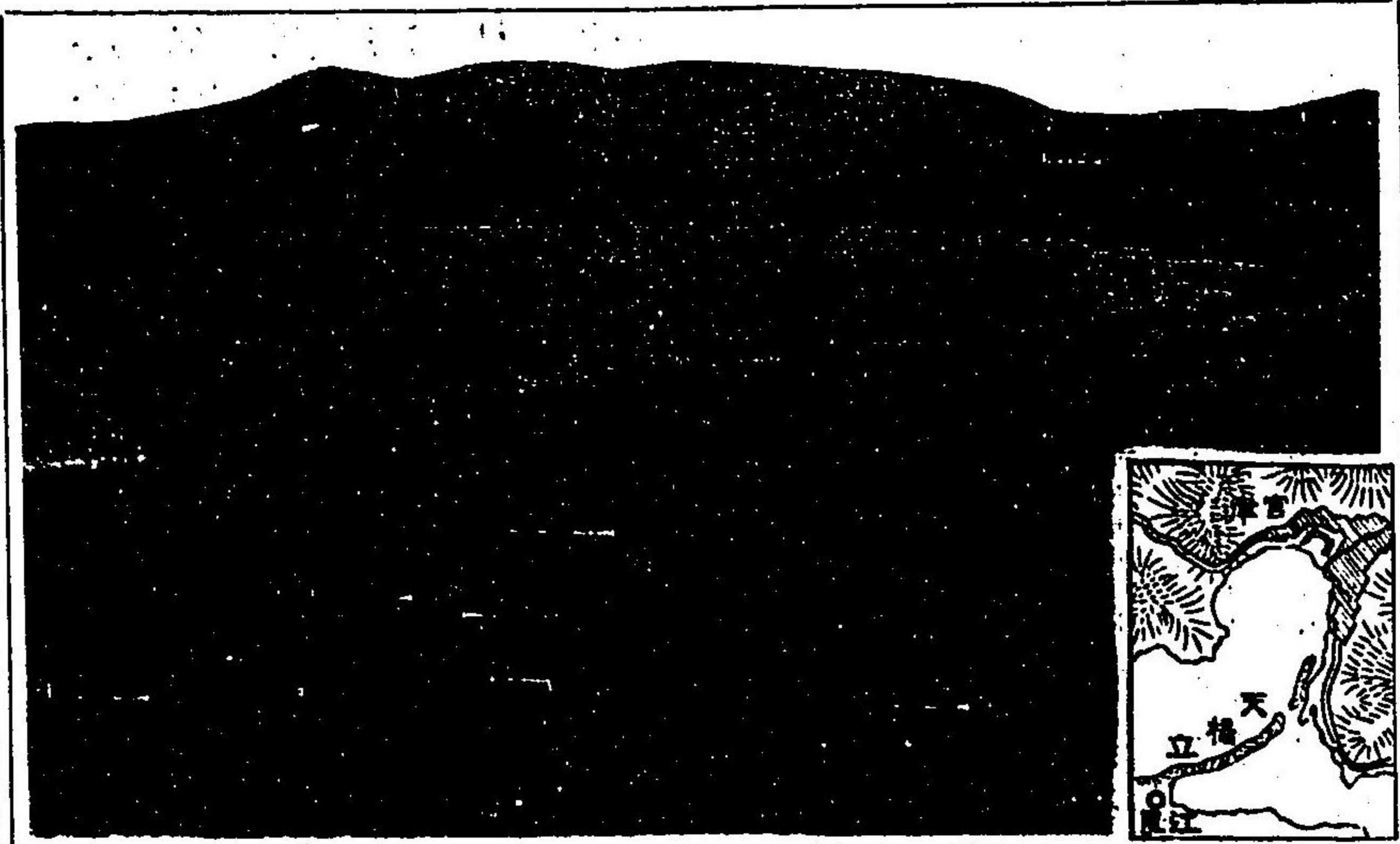
京都府 滋賀縣の西部に位し、管下は北西に延びて日本海に臨める丹後を包括す。中國山脈東西に亘りて分水界を成し、山城に比叡・鞍馬・愛宕の諸山あり。丹波は中國山脈間の山地にして、養蠶盛に行はれ、又材木・薪炭を出す。山城の南部は勢多川の下流なる宇治川の流域にして、此の川は淀に至りて淀川と呼ぶ。其の支流鴨・桂・木津の三川は畿内平野の北部を灌漑し、其の流域に京都・伏見・宇治の都邑あり。近頃又京



圖のノイラクニ河運水疏

す下上を面斜てに力電は船の河運

都と大津との間に琵琶湖水を疏通して水運の便を開けり。織物・陶器・茶等著名の産物多し。殊に織物は精巧を以て其の名高く、産額二千餘萬圓に達し府縣中第一位を占む。伏見は豊太閣築城の地にして、京都南面の要勝に當り、歩兵第十九旅團司令



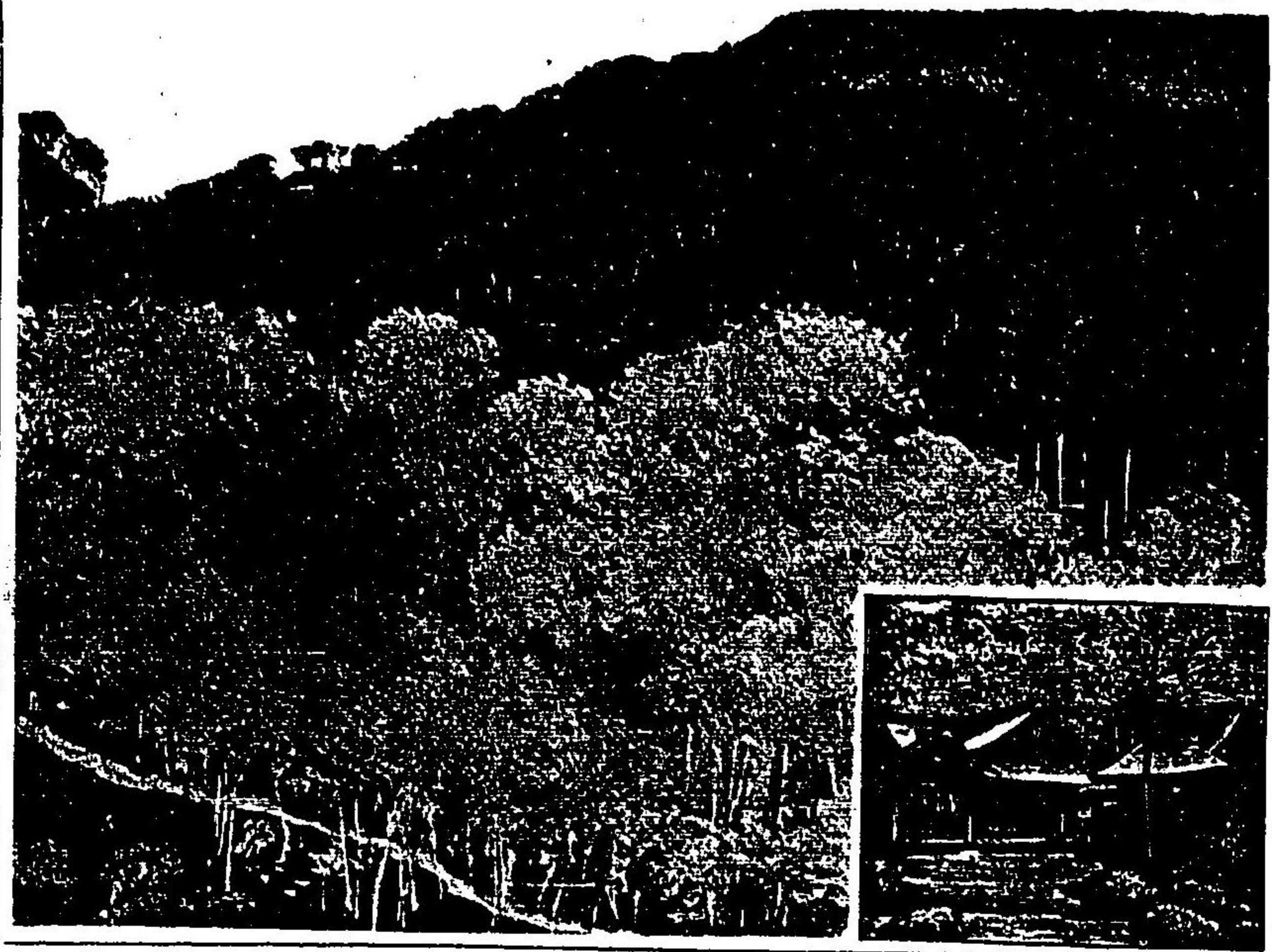
圖の立橋天

端南りあ間十四町七十二長間二十三幅は噴砂  
(すに上を南に特は圖地)云と戸切を道水狭の

部の設あり。此の地より大阪に至る汽船の便あり。其の東南の宇治は茶所として著はれ、産額多し。平等院・鳳凰堂あり。宇治の南にある笠置山は木津川の南岸に峙つ峻嶺にして、後醍醐天皇行宮の遺址あり。北方奥謝灣には舞鶴港あり。其の東灣餘部は軍港にして、本州日本海沿

岸大部の警備に任ずる、第四海軍鎮守府の所在地なり。灣内水深く、安全の錨地なり。由良川上流の福知山には第二十旅團司令部あり、舞鶴西北の宮津港も亦安全の良港にして、開港場の一たり。港の西方に在る天橋立は、一帯の白砂濱北より延びて、海上を横絶して、青松其の上に繁茂し、最も絶景とす。

奈良縣 京都府の南部にして、吉野川其の中央を西流し、縣域を南北に分つ。南部は紀伊山脈蟠りて、彌山・大臺原山等聳え、良材を産す。此の山間を南流する北山川・十津川は河谷極めて狭けれども、木材運搬の要路を成し、アンチモニーの産ある十津川郷は山間に僻在す。北部にも亦笠置・葛城の二山脈ありて、大和川流域に屬する西北部の外は平地少し。東境名張川に沿ひて、月瀬梅林あり、其の實は紅染の原料とす。



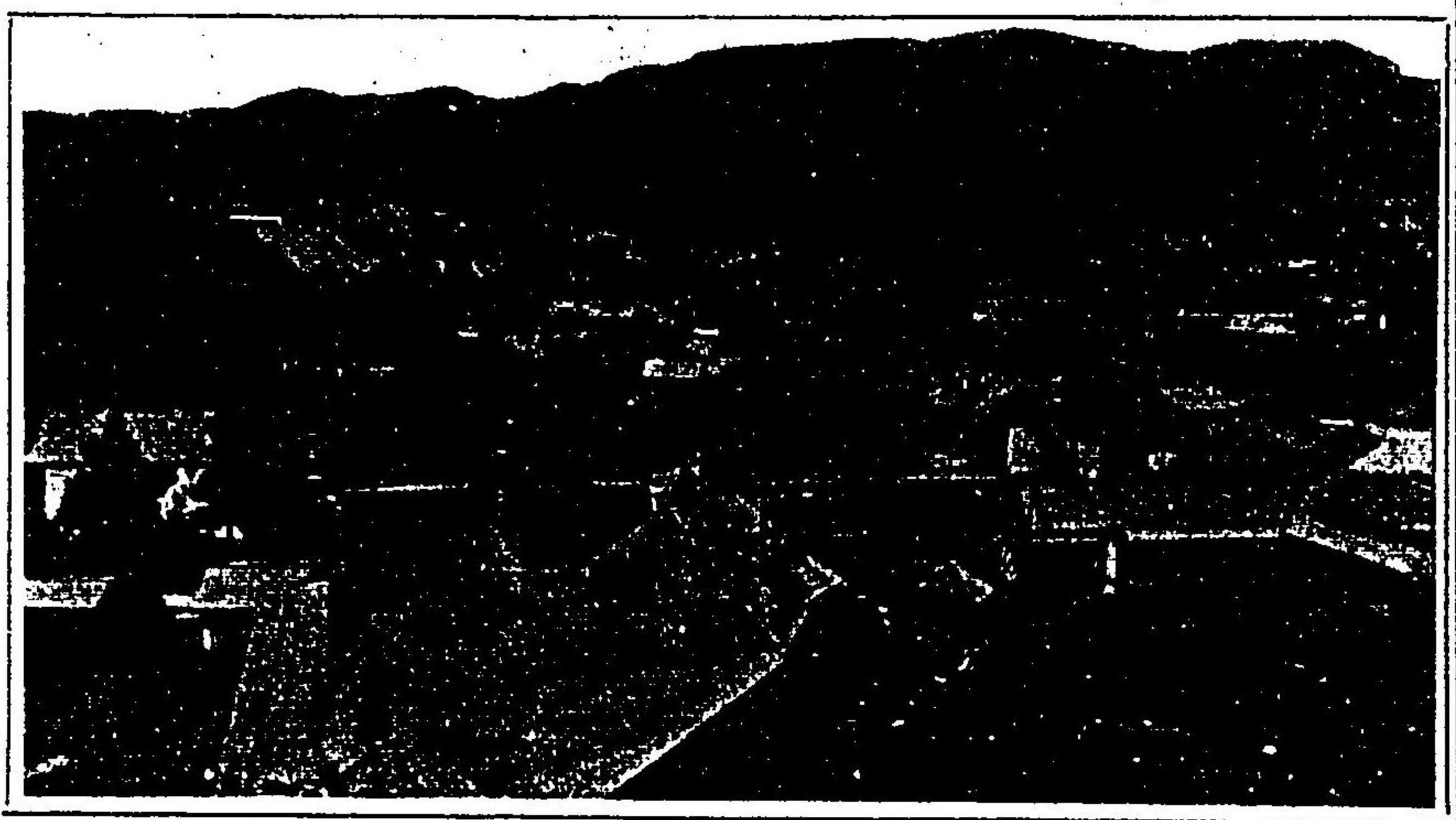
吉野山の櫻花及び吉水神社の圖

櫻花の中の一丁目千本の水吉神社は後  
關天島の行在所しりとも吉水院と稱す

して京都に出せしめ、今は其の販路を失せり。大和川附近の平地は地味肥沃にして、七代の帝都たりし奈良及び郡山等の都邑あり。奈良を中心とする奈良鐵道は京都及び南方櫻井に通じ、之と連絡する關西鐵道は

西南郡山及び王子を連ねて櫻井に達す。南和鐵道は高田より起り、紀伊の境なる五條に至りて紀和鐵道に連絡す。縣下は神武天皇の皇基を定め給ひし地なれば、平安京以前の歴代の帝都は概ね此の縣内にあり。從ひて舊蹟甚だ多し。奈良市は古の奈良の都の地にして、社寺古蹟に富み、春日神社・興福寺・大佛殿・正倉院等美術工藝の模範を後世に垂るゝもの多し。奈良帝室博物館あり。晒木綿・奈良漬・根來塗・鹿角細工を名産とす。郡山・法隆寺も亦市を距ること遠からず。神武天皇を祀れる橿原神宮及び畝傍山御陵は其の南に當る。吉野は山間の僻地なれども、南朝三代皇居の地にして、其の行在所たりし吉水神社、後醍醐天皇を祀れる吉野神社、及び御陵あり。山中の櫻花は一目千本の勝あり。吉野飛白・吉野葛亦著はる。之れより南部の地方は造林事業盛んに行はれ

信仰は都  
會案榮の  
一原因な



高野山頂上の全景

山頂多のく寺坊と高野村とあり此の小都會を成す

大淀村には農林學校の設あり。  
和歌山縣 近畿地方の南部に位し、其の全部は紀伊山脈起伏し、懸崖直に海に迫り、河流の附近に少しく平地あるのみ。西北部の高野山は眞言宗古義派の本山弘法大師開基の金剛峯寺を以て其の名高く、山頂別に一小都會を成す。東南の那智山には熊野三社の一なる熊野神社あり。

其の山腹の瀑布は高八十四丈にして、熊野浦を過ぐる者は



那智流

一ノ瀧ノ最も著名なる三ノ瀧ノ三ノ瀧ノあり此の瀧あり

川・有田川・日高川・南流する熊野川あり、何れも流域廣からず。

船中より之れを望むべし。河には西流する紀伊

従ひて耕作の利に乏し。氣候は温暖にして雨量多きを以て  
良材・薪炭を出す。紀伊川は吉野地方より、熊野川は熊野山中  
より出す。木材輸送の通路を成す。熊野川口に近き新宮、紀伊  
川口の和歌山は之れが爲に繁昌す。又有田川・日高川の流域  
は蜜柑を名産とす。縣の南部は山深くして、陸地の交通不  
便なり。南端の潮岬は岬下に黒潮流れ、潮勢最も急なり。其の  
東側大島は安全の錨地を擁す。東方一帯熊野沖は鯨獵を以  
て著はる。

大阪灣口に近き和歌山市は徳川氏の親藩紀州侯の舊城下  
にして、水陸運輸の便あり。商業盛にして、夙に紋羽織を産せ  
しが、市人瀬戸十助綿フランネルを發明してより、今は其の  
製織甚だ盛なり。西南一里に在る海濱を和歌浦と云ふ。風光  
明媚を以て稱せらる。市の北に當る根來には根來寺あり。根

來塗の原産地なり。現今は和歌山市の南なる黒江の漆器工業最も盛に紀州塗の名を博せり。

**大阪府** 京都府の西南に當り、東南境には葛城山脈ありて、史上に名高き生駒山・金剛山崛起す。其の他の大部は畿内の平野にして、之を貫流する淀川及び大和川の流域は地味肥沃にして、農産多く、綿の産は府縣の第一に位す。淀川には伏見に至るまで汽船の便あり、其の川口は數派に分れ、其の一派安治川は河村瑞賢の開く所にして、他の一派木津川と共に船舶の出入多し。川口の天保山には燈臺あり。府下は綿絲・摺附木の製造清酒の醸造最も盛なり。

**堺市**は大阪市の南に當る。曾て大内氏の外國と通商せし所にして豪商多く、清酒・緞通・又物を出す。大阪の西北に當れる**池田**は阪鶴鐵道に沿ひ、醸造業に名高く、又由多加織を産す。

**兵庫縣** 近畿の西部に位す。中國山脈縣の中部に亘りて分水嶺を成し、朝來川は北に流れて其の沿岸に豊岡あり。加古川・市川・楫保川・千種川は南に流れて南部の平地を灌漑す。姫路市其の平野の中央に在り。内海沿岸は製鹽に適し、西部の赤穂最も著はる。又東部は氣候溫和風景絶佳にして、名邑多く、須磨・舞子・明石は最も風光に富み、山間の有馬は温泉を以て著はる。有馬の東南に在る御影・西宮を灘地方と稱す。水質醸造に適し、灘酒の名は全國に鳴る。大阪府界に近き尼崎・伊丹も亦醸造に名高く、縣下の産額凡そ五十萬石に達す。又縣下の米産額は新潟縣に次ぐ。

**姫路市**は飾磨港を控え、交通至便の一商區にして、姫路草を名産とす。其の城には第十師團司令部の設あり。

北部日本海に傾ける地方は豊岡附近の外平地乏しく、海岸



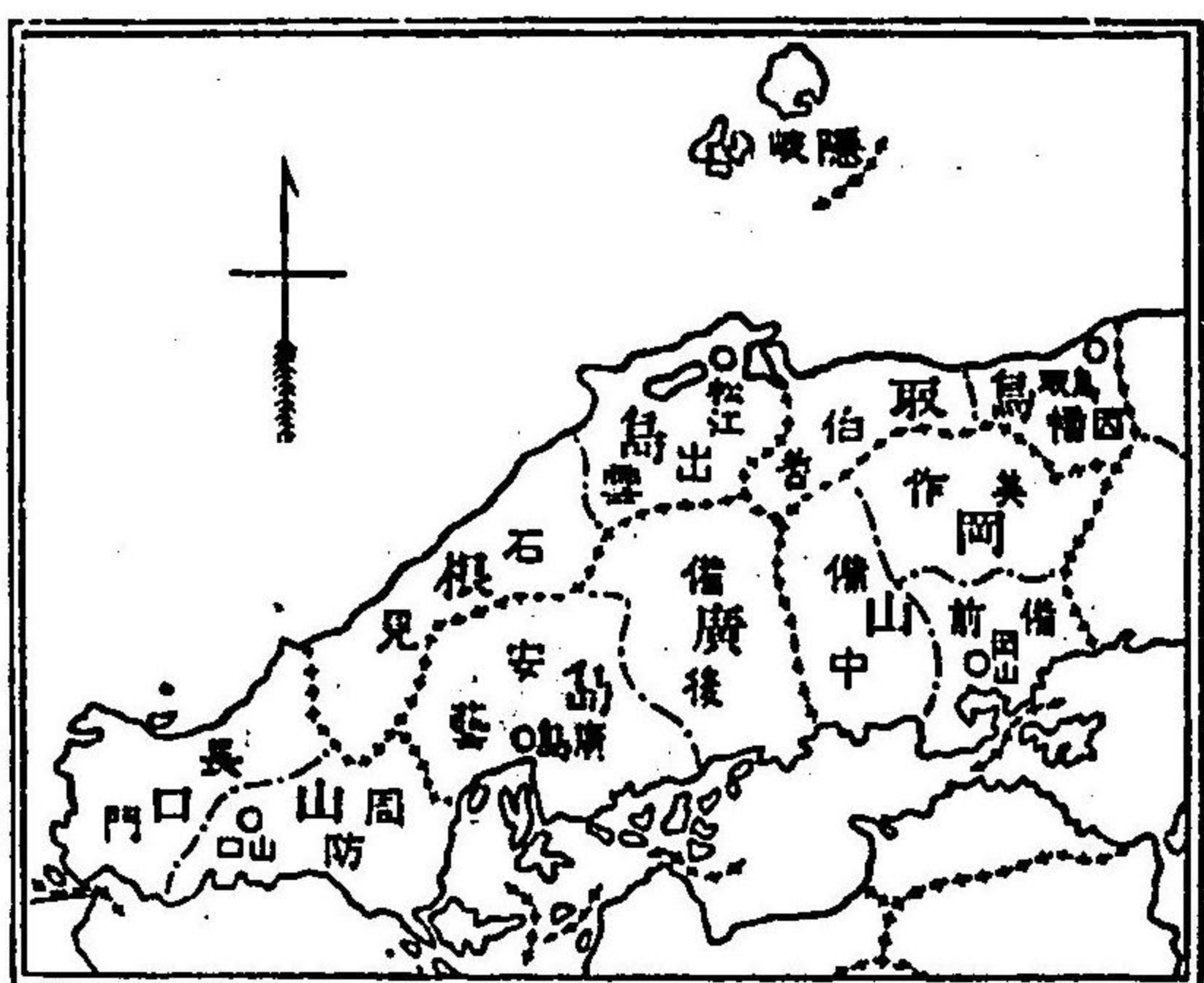
斷崖多くして港灣なし。豊岡の北方朝來川下流の城崎は温泉を以て名あり。豊岡は柳行李を出す。又牧牛は到る所に行はれ、但馬牛の名高し。播但鐵道の終點たる生野は銀山を以て知らる。

淡路島は四國本州の間に在り、概ね山地とす。其の特産淡路焼は輸出品の一にして、四國に通ずる福良附近を其の産地とす。東端の由良は和歌山縣加太岬と相對して、大阪灣口を扼す。要塞の設あり。

### 中國地方

近畿地方の西に當り、中國山脈其の中部を東西に貫き、諸川の分水嶺を成す。東大川、西大川、川邊川、太田川等は南流して、瀬戸内海に入り、加露川、日野川、斐伊川は北流して日本海に

入る。只江川は山脈を横斷して北流し、中國の大河を成す。日本海岸は沿岸最も單純にして、僅に中海を擁する島根半島と隱岐とあるのみ。之れに反して瀬戸内海には無数の半島・島嶼ありて、瀬戸を作り灘を分つ。



縣名	廳所在地	及人口	距離	汽車程及
岡山	岡山市	五、八	神戸より	六時一五分
広島	広島市	二、二	岡山より	七時三分
鳥取	鳥取市	二、八	神戸より	四時〇五分
島根	松江市	三、五	岡山より	二時一分
山口	山口町	一、七	広島より	六時八分
			五里餘	

神戸に起れる山陽鐵道は山陽道交通の幹線を成し、岡山・広島を過ぎて赤間關に達す。中國鐵

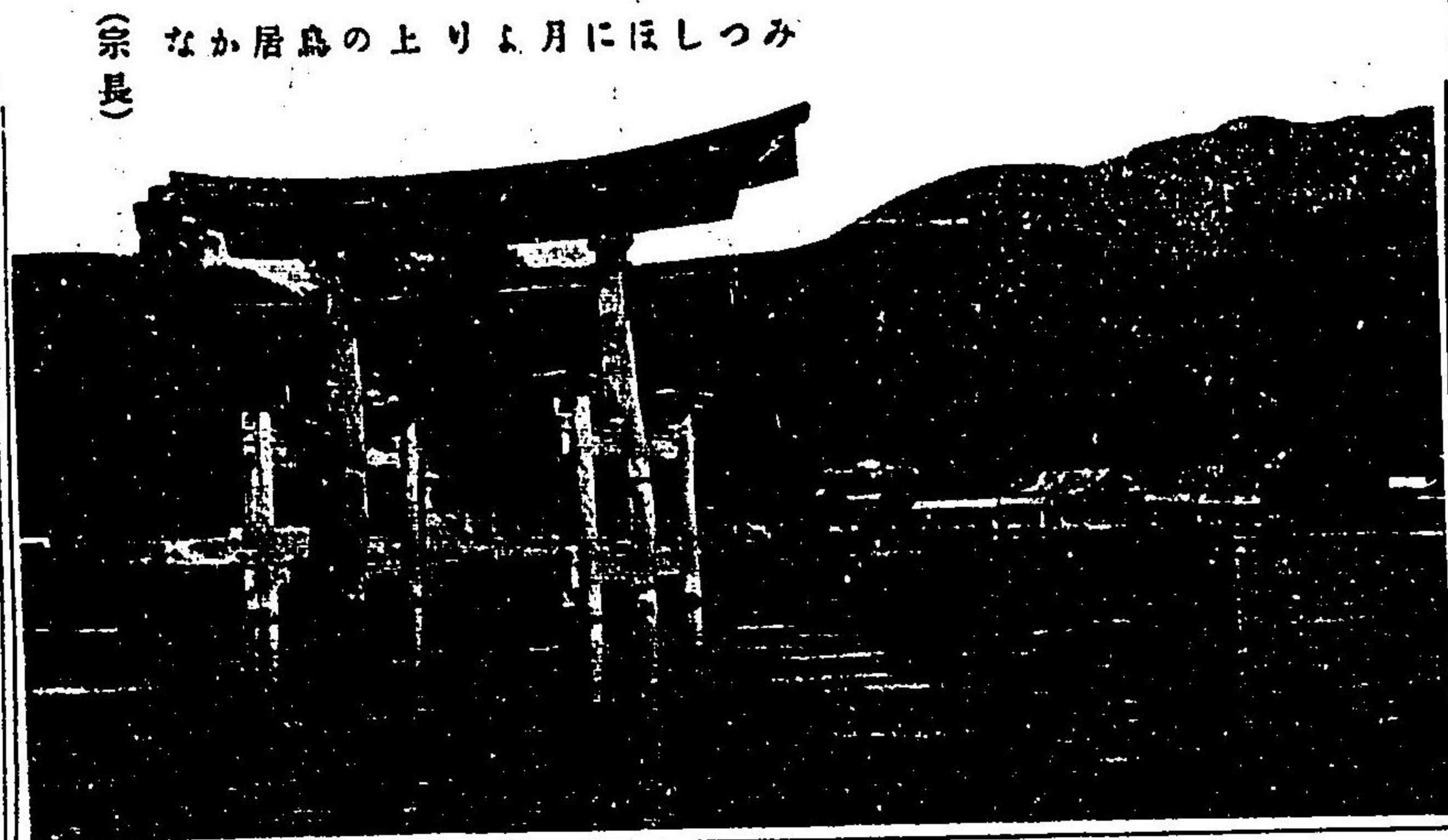
道は岡山に起りて、北の方津山に達す。山陰地方は鐵道の便なく、國道は海岸に沿ひて鳥取・松江を連ね、東南は京都に西南は山口に達す。又松江・鳥取より岡山・姫路に達する道路あり。日本海沿岸諸港は神戸・小樽間の航路に當り、隠岐には島根縣との間に海底電線あり。

岡山

岡山縣 中國地方の東部瀬戸内海に面する地方にして、中國山脈に發する吉井川・旭川・川邊川流域の水田は盛に蘭を栽培し、苜り取れる後更に稻田となす。又麥稈・眞田の産額は百八十萬圓に及び、全國第一に居る。牧牛亦盛なり。岡山市は旭川に跨り、川口に三幡港を控え、交通至便にして、紡績絲及び藺席・花蒔の製造盛なり。第六高等學校及び岡山醫學專門學校・商業學校・工業學校あり。後樂園は日本三公園の一と稱せらる。市の東方に伊部焼を産する伊部あり。北方

の津山は津山川に沿ひ、水陸交通の便あり。雲齋織・足袋を名産とす。川邊川に沿へる高梁は西部の都會にして、舟楫の便あり。其川口に近き玉島港は水島灘の良泊にして、縣下西部に於ける物貨の集散地たり。

廣島縣 中國地方の西部に當り、瀬戸内海に面す。中國山脈北境に亘り、江川之を貫きて島根縣に入る。其の上流に三次・吉田の名邑あり。太田川及び蘆田川の流域は平地開けて、藺・米・棉を産し、備後表の名を博したる疊表・花蒔は其の産額大分縣に次ぐ。縣の東境に近き蘆田川の下流に沿ひて福山あり。尾道・絲崎又其の西に當る。縣内牧牛の盛なること府縣の第一とす。又廣島灣の牡蠣は京阪人の食膳に上る。廣島市は太田川の三角洲に跨り、第五師團司令部其の舊城地にあり。明治二十七八年の役に大本營を置かせられたる



嚴島島の圖

嚴島神社は市井島を祀る

所なり。控訴院、廣島高等師範學校、職工學校、商業學校を置く。南方の宇品は築港完成して市の埠頭となり、内海の船舶輻湊し、征清出師も亦多く此の地よりせり。東南の吳港は穩戸の瀬戸を東門とし、西南に江田島等を控へたる軍港にして、内海の警備に任ずる第二海軍鎮守府を置く。江田島には海軍兵學校あり。

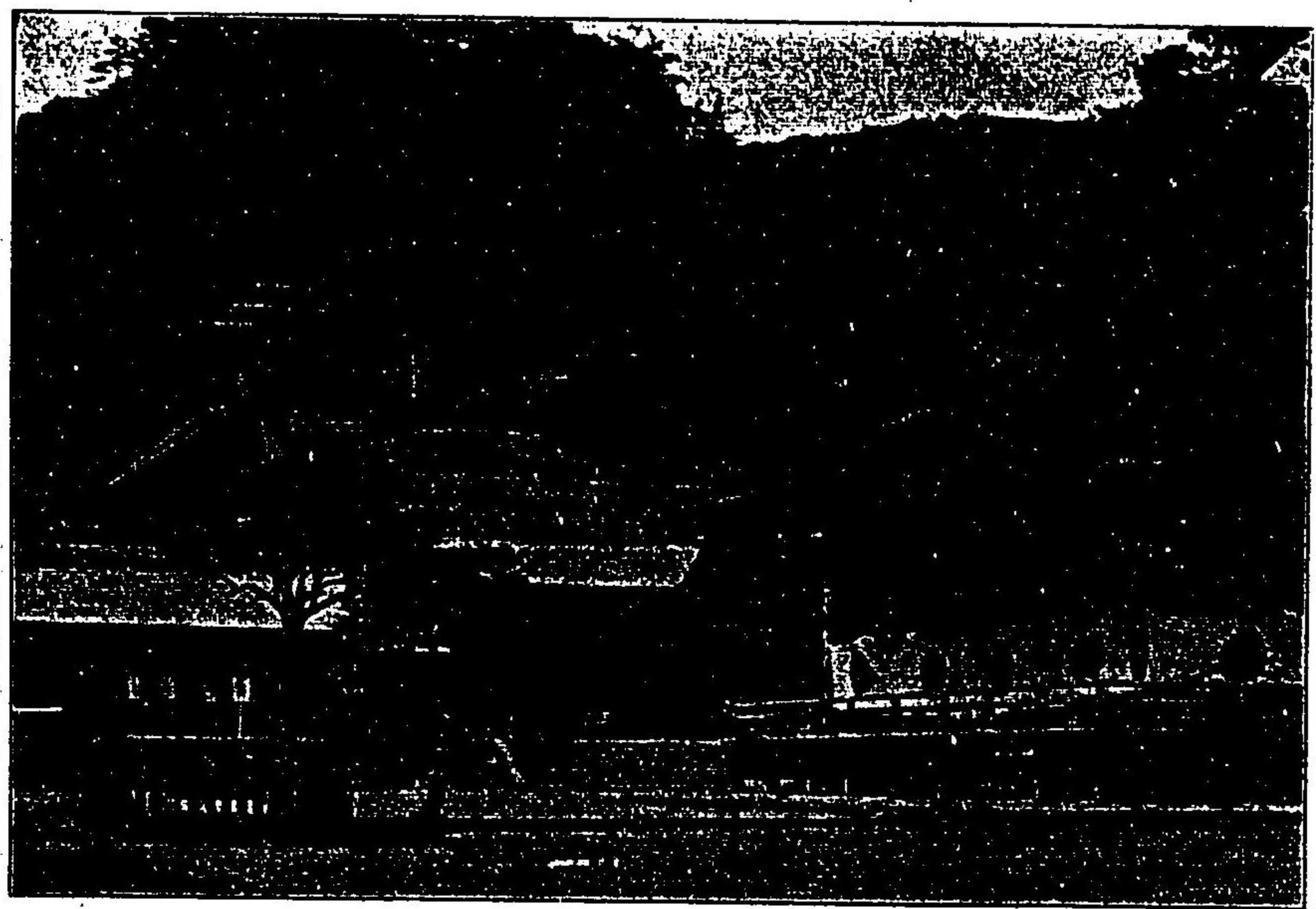
り。廣島灣の西部に嚴島神社を以て名高き嚴島港あり。江山樓閣水に映じ、風光最も美なり。日本三景の一とす。竹細工の名産あり。尾道市は前面に向島を控え、風波穩かにして、内海の廻船業盛に、商業學校あり。其の西の絲崎は開港場の一とす。又其西に三原、忠海あり。其南なる大崎上島に商船學校を有す。

鳥取縣 中國地方の東部、日本海に面する地方にして、中國山脈南部に亘り、大山其の西部に聳えて、地勢概ね丘陵に屬す。平地は加露川及び日野川の流域にあるのみ。日野川は陰陽交通の要路に當り、其の上流地方には砂鐵を産し、島根縣に次げる産額あり。其の東の大山原は牧牛盛にして、中部の倉吉は生絲、木綿、稻、拔を名産とす。鳥取市は加露川に臨み、歩兵第四十聯隊の衛戍地なり。川

口に加露港あれとも港内水浅く安全ならず。境港は開港場の一にして、夜見濱の北端にあり、島根半島其の北を掩ひ、冬季に於ても稍安全の舶地とす。敦賀・赤間關の間に定期の航海あり。境の南、中海に臨める米子は伯耆第一の都會とす。

島根縣 中國山脈東南を限りて、廣島縣の背面に當り、山地は砂鐵多く、其の産額巖手縣に次ぐ。又日本海沿岸火山脈の三瓶山は中部に聳え、山頂に鳥地獄あり。山麓の三瓶原には牧牛行はる。其の西に大森銀山あり。江川は中國の大河なれども流域平地狭し。宍道湖に注ぐ斐伊川並に其の西を流る、神門川の流域は地味肥沃にして其の農産は山陰第一に居る。其西日本海に瀕して杵築あり。大國主命を祀れる出雲大社あるを以て其の名高し。

松江市は宍道湖より中海に注げる大橋川に跨り、鳥取縣下



出雲大社の圖

の境港と相待ちて、水運の便宜し。商業學校の設あり。鱸を湖の名産とす。附近に布志名焼の産あり。西南の濱田は瀬戸島其の北を擁し、開港場の一にして、赤間關及び境に定期航海あり。紙の取引多し。

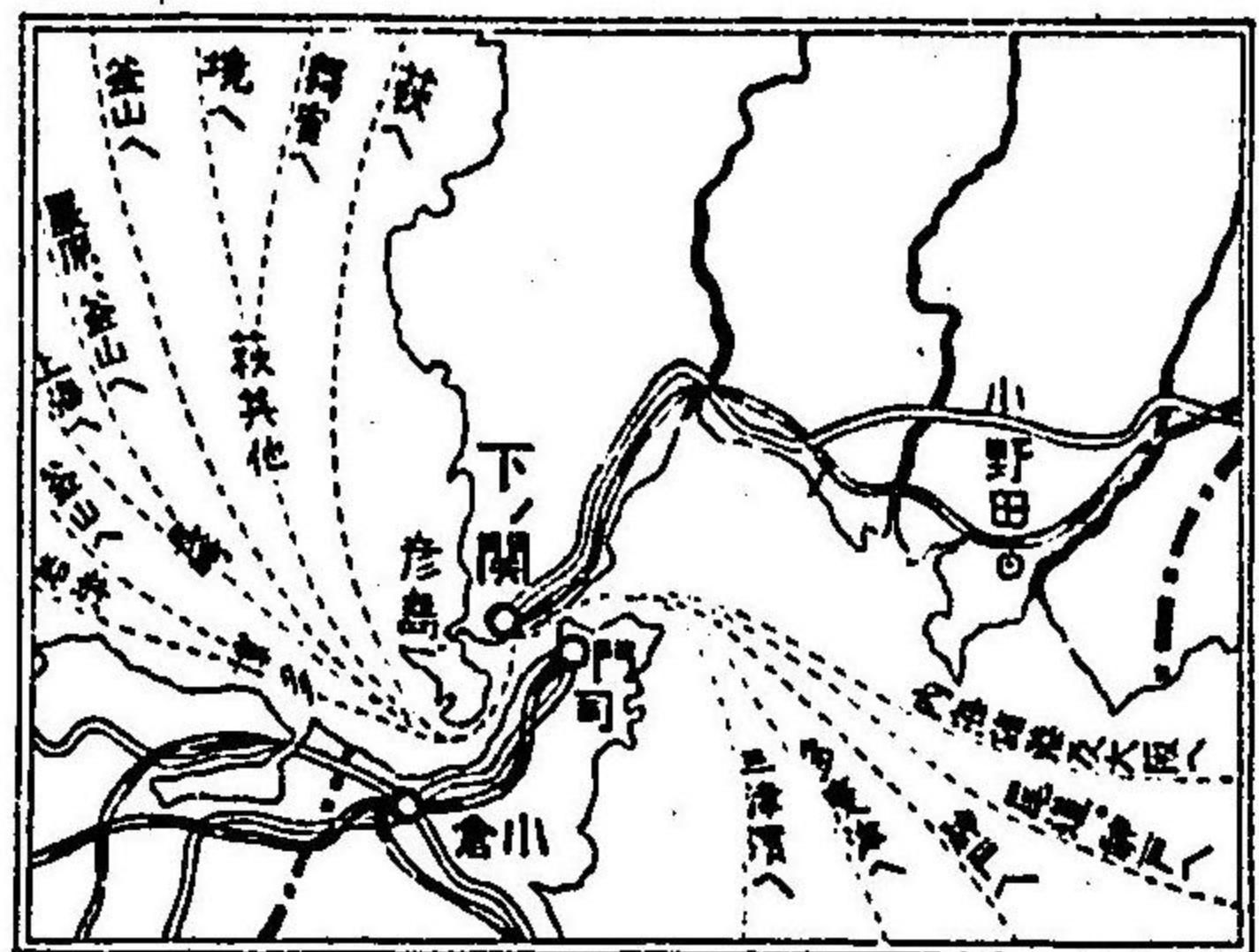
隱岐は知夫里・中西の三島を含める島前及び其の北なる島後より成る。火山岩質にして、地味耕

湯野

種に適せず。生業は牧牛漁業を主とす。鰯は殊に名高し。島後の南端西郷港は諸風を避くるを得て最も安全の錨地なり。

山口縣 中國地方の西部にして、本州の西南端に當る。中部は山丘起伏して平地少く、地味瘠せたれども、石炭の産あり。岩國川・厚東川・榎野川は南流して内海に入る。厚東川上流の秋吉臺は大理石を出し、川口に近き小野田はセメントを産す。内海沿岸には平地連り、鹽田最も能く開け、中央部の三田尻其の第一に居る。日本海岸は鯨獵に名高く、又朝鮮近海に出て、漁業に従事するもの多し。山陽鐵道は岩國縮と錦帯橋とを以て其の名高き岩國、縞木綿の産ある柳井津及び三田尻を経て下關に至る。夫れより十五分間にして、九州に渡るを得べし。

山口市は榎野川の中流に位し、山丘四周の地なるを以て、周

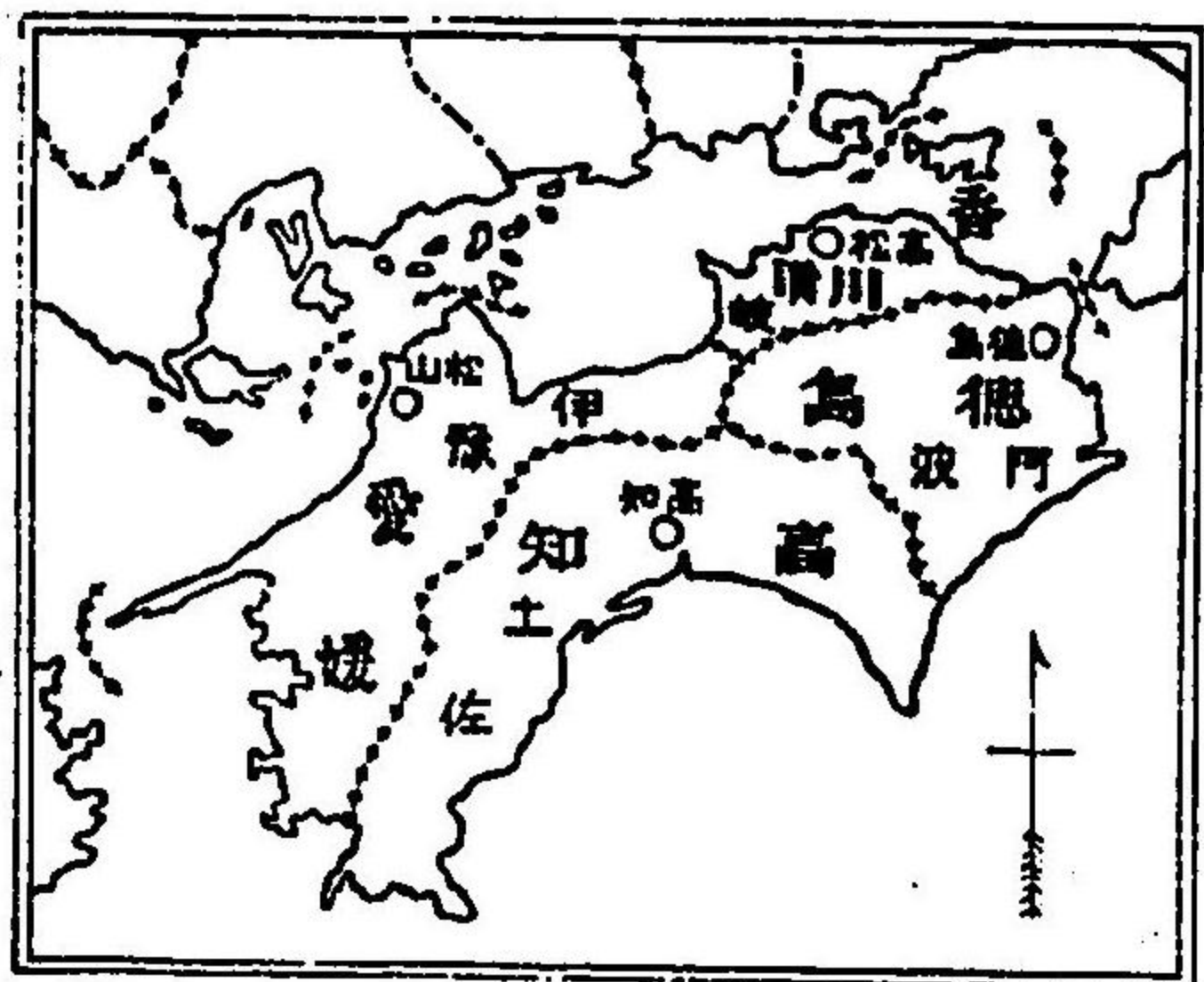


赤間関附近の圖

圍の交通不便なり。戦國の頃大内氏之れに居り、周防の京と稱せられし地なり。第廿一旅團司令部・山口高等學校を置く。農學校亦其の近傍にあり。赤間關市は本州の西南端に位する開港場にして、東南は福岡縣の門司と相對し、西に彦島を控えて一大灣を擁す。瀬戸内海西門の要地にして、汽船の出入多く、石炭・米・綿布を輸出し、大豆肥料を輸入す。商業學校あり。市内に安徳天皇を祀れる赤間宮あり。壇浦は市の東に當る。

### 四 國

四國島は中國地方の南に横はれる一大島にして、讃岐・阿波・土佐・伊豫の四國に分る。東は紀伊水道を隔て、紀伊半島に對し、東北は鳴門海峡を隔て、淡路に對す、南方は室戸蹊の兩岬斗出して、其の間に土佐灣を擁し、西方の佐田岬は遠く海中に斗出して九州と相對す。四國山脈其の中央部を東



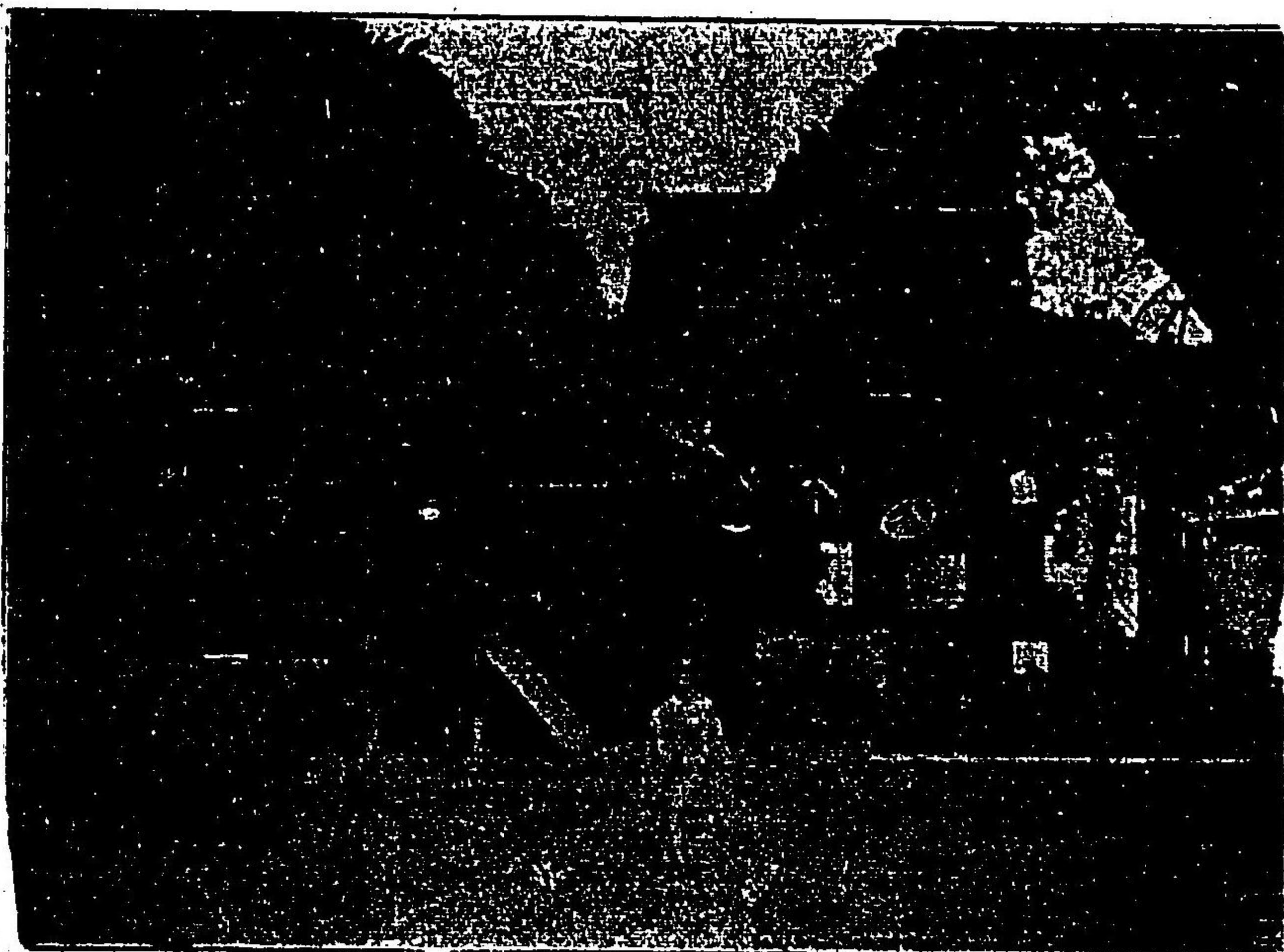
四國の圖

西に走り、吉野川の外諸川の分水嶺を成す。阿波に那賀川、土佐に仁淀川、渡川、伊豫に肱川あり。平野は吉野川

縣名	應所在地	及び其の人口	距離	海里及び汽車程
香川	高松市	三、四	神戸より	六六哩
徳島	徳島市	六、二	神戸より	五一哩
高知	高知市	三、七	神戸より	一四二哩
愛媛	松山市	三、七	神戸より	一四九哩 二〇分

流域の外皆大ならず。都會は概ね沿海の地にあり。四國島には各縣を貫通する鐵道なく、唯徳島・高松・松山附近に其の敷設あるのみ。國道は高松より徳島を經、南方海岸に沿ひて、高知に至り、又高松より松山に至る。又高松より四國山脈を横ぎりて、高知に至る一線路あり。沿海各地には汽船の便あり。殊に内海沿岸を然りとす。海底電線は香川縣の北部より兒島半島に、佐田岬より大分縣に、又徳島縣より淡路に通ず。

香川縣 四國の東北瀬戸内海に面する部分にして、三面は内海に瀕し、南方徳島縣の境に讃岐山脈あり。地勢は内海に向ひて傾斜し、海面無數の島嶼ありて、中國との間を點綴す。東北の小豆島西北の鹽飽諸島を其の大なるものとす。都會は大抵海岸にあり。高松・丸龜・多度津を其の主要なるもの



琴平神社の圖

大己貴命を祀る水夫の尊信極め厚し

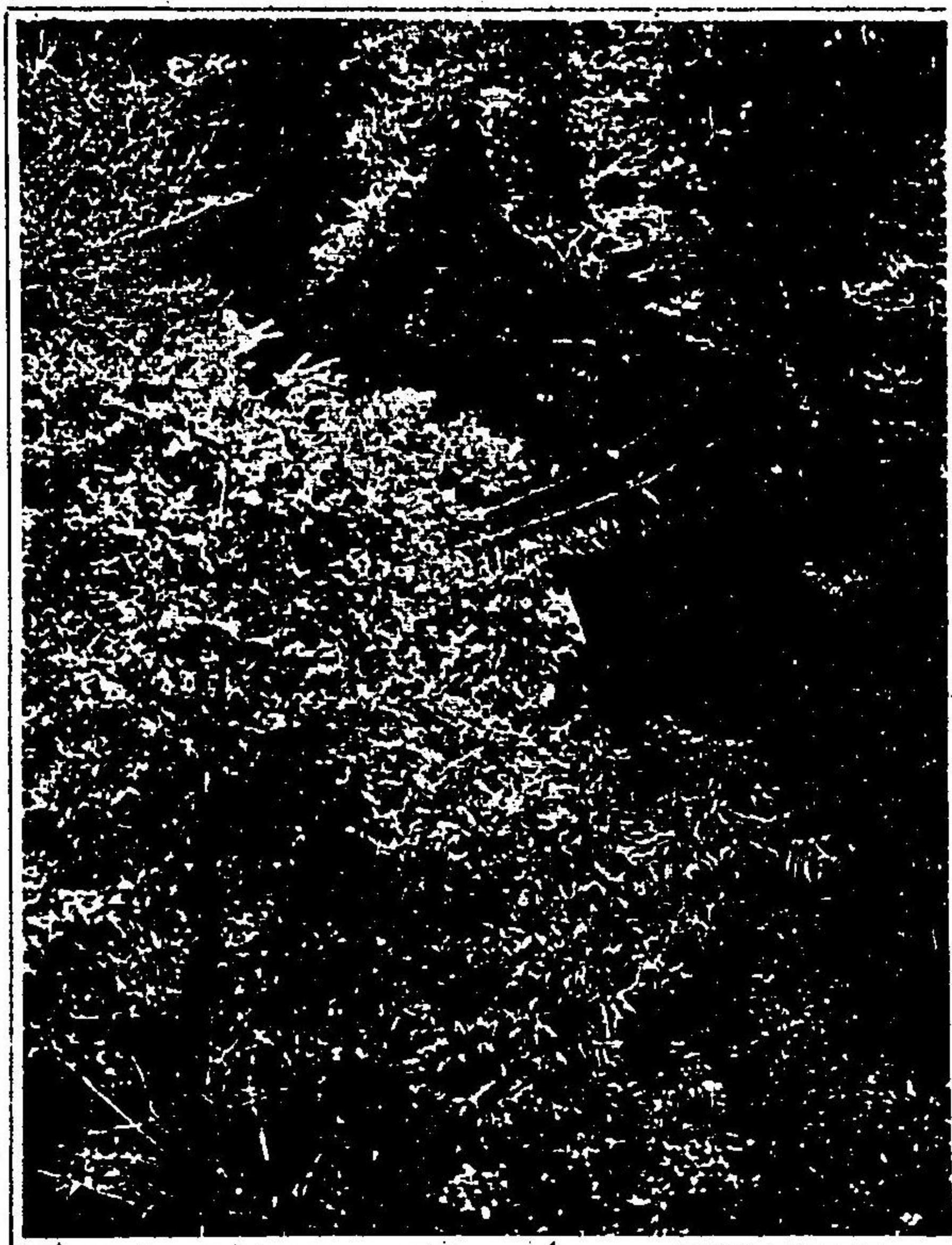
とす。讃岐鐵道は此等の都會を連絡し、更に南方金刀比羅神社を以て名高き琴平に到る。縣内産業能く發達し、砂糖の産額は臺灣に次ぎ、沿岸一帯製鹽業亦盛なり。高松市は近年其の港の改築以來水陸交通の便最も宜しく、汽船の出入絶え

信仰は都  
會繁榮の  
一原因な  
り

ず。保多織を産す。工藝學校あり。有名なる栗林公園は市の南半里に在り、屋島の古戰場は市の東に當る。多度津は縣内第一の良港にして、港内廣く且つ深し。金比羅參詣の要港とす。琴平は象頭山の半腹に在り。其の琴平神社は參拜者常に絶えず。白峯の山頂には崇徳天皇の御陵あり。多度津、琴平の間にある善通寺は第十一師團司令部の在る所とす。此の地又弘法大師の遺蹟多し。東部徳島縣の境にある引田は砂糖、醬油を産出す。

徳島縣 四國の南東部に於て、四國山脈其の中部を走り、吉野川、那賀川の流域を分ち、西南境に劍山を起す。吉野川は四國第一の大河にして、其の流域は地味肥沃にして、米穀、藍、大豆に適す。殊に藍は品質産額共に帝國第一に居る。中流に位せる脇町を其の中心地とす。又上流の池田附近は烟草

を産す。池田の南方祖谷地方は山深く、交通最も不便にして、自ら別世界をなす。谷間には蔓橋あり、那賀川の流域は縣下



祖谷蔓橋の圖

橋上中部にありて視せよ

の米作地にして、又茶甘蔗を産す。東北部沿岸は製鹽業盛にして、齋田鹽の本場たる撫養・小松島富岡等

東京帝國大學理科大學助手島居龍藏氏撮影

を主産地とす。撫養の前面に大毛島あり、鳴門海峡に横はる。鳴門は潮勢急にして大渦を成し舟行危険なり。

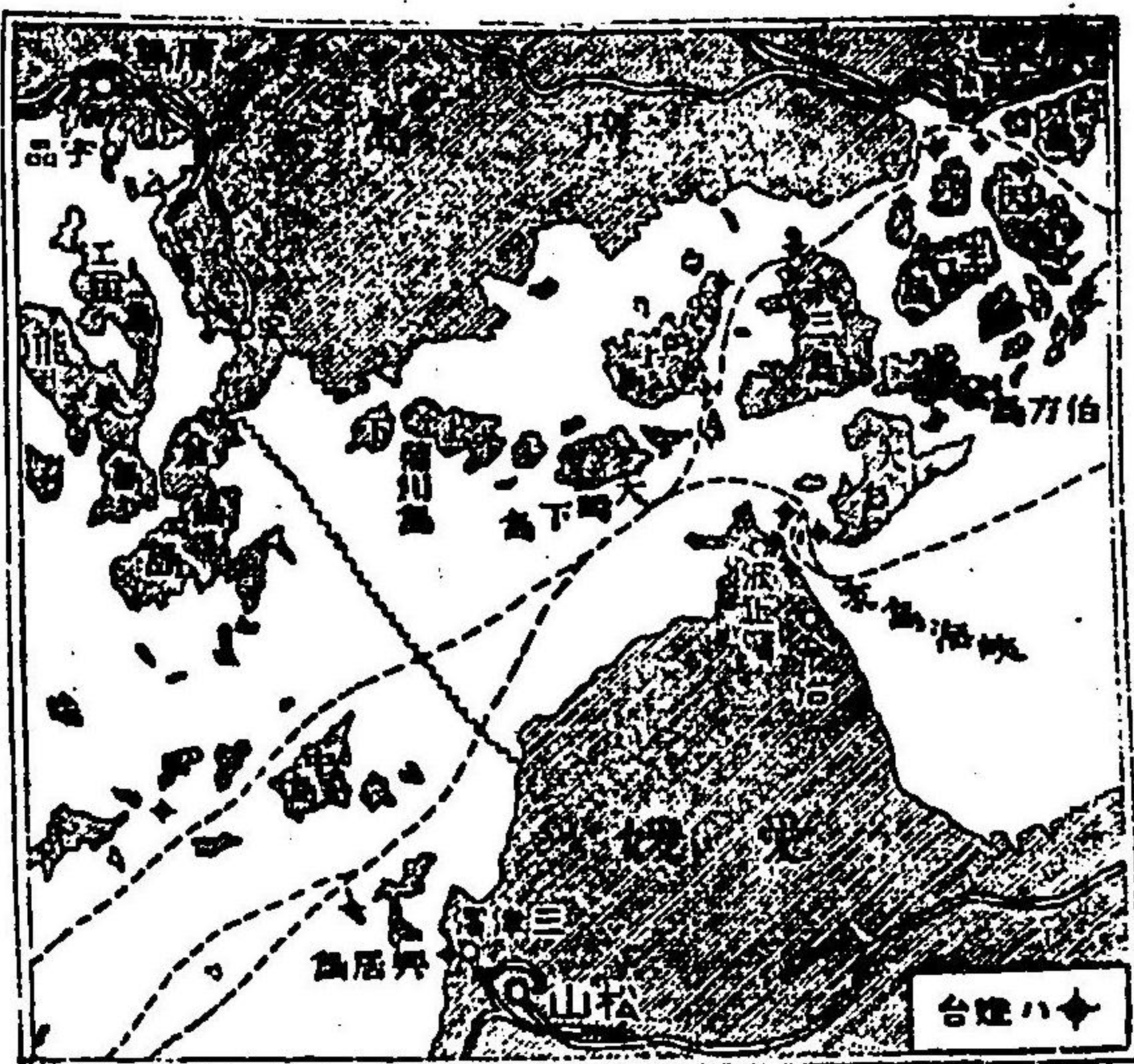
徳島市は吉野川口の右岸にあり。織織を産す。神戸・大阪との間に日々數回汽船の往復あり。葉烟草藍の集散地にして、商業盛なり。徳島鐵道は西走して、船戸に通ず。富岡は那賀川口の右岸にあり。上流地方より輸送する木材の取引多し。

高知縣 北境には四國山脈蟠り、支脈更に南方に延び、縣の大部は山岳重疊し、杉・檜の良材を出す。縣の中央を南流する物部・仁淀二川の流域は土地平坦にして、高知市其の中間に位す。又二川より吸江に通ずる溝渠ありて、灌漑の利大なり。其の他北部を東流して、徳島縣に入る吉野川、西部を貫流する渡川(四萬十川)あれども、其の流域は概ね峽谷に過ぎず。縣下の平地は僅に十分一を占むるのみ。海岸線は百里に



達し、海上は黒潮に洗はるゝを以て漁業盛に、鯉節の産額は静岡縣に次ぐ。土佐灣の中部に浦戸・須崎の二港あり。其の東なる津呂港は野中兼山の開きたる所にして捕鯨場あり。西部の宿毛は土佐珊瑚を以て其の名高し。高知市は鏡川に臨み吸江に接し、農業學校、商業學校あり。夫より吸江の海上三哩を隔てたる灣口に浦戸港あり。船舶の出入困難なれども、四國の諸港及び大阪・神戸に航運の便あり。縣内貨物の集散地たり。

愛媛縣 高知縣の北瀬戸内海に瀕する地方にして、南部は山多く、四國の最高地點たる石槌山其の中央部に聳え、北部には高繩半島突出して、燧灘と硫黄灘とを分つ。燧灘沿岸には新居濱・今治等の諸港あり。製鹽業盛なり。硫黄灘には三津濱あり。西部の佐田岬は海中に斗出すること十三里に



來島附近の圖

及ぶ。縣内平地少く、西部渡川及び肱川の流域には製紙業及び機業行はれ、宇和島其の中心たり。中部重信川の流域は田野開けて、松山市あり。松山市は松山縞の産地にして、第十旅團司令部のある所たり。四方に伊豫鐵道分岐し、三津濱道後郡中等に通ず。道後は有名の温泉場にして、又農業學校及び商業學校あり。新居濱は南境の別子銅山と鐵道にて連絡し、精銅所あり。別子の産額は足尾に次ぐ。西北の市川はアンチモニーを産す。宇和島は大阪・神戸に定

期航海あり。又九州に渡る要津なるを以て、商業の盛なること松山に次ぎ、織物・紙の取引多し。

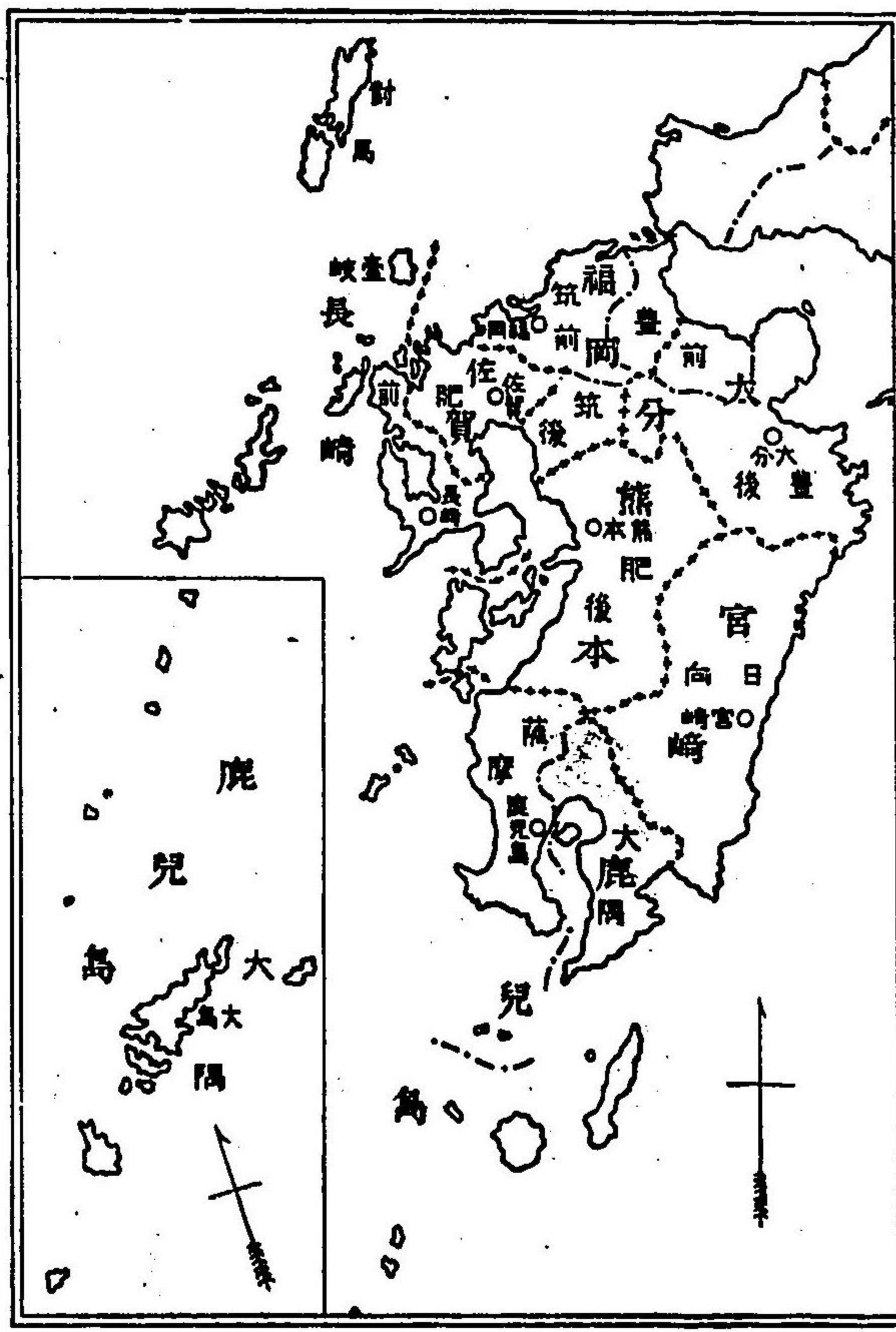
### 九州

中國四國の西南に横はれる一大島にして、九國に別る。西北に壹岐對島の二國あり。西南には琉球に連れる薩南諸島あり。地勢は北部に筑紫山脈あり。南部に九州南部山脈あり。阿蘇火山脈其の中間に蟠結し、霧島火山脈其の最も南方に連る。全島山岳多く、平野は筑後川流域の筑紫平野を最大とし、其の南なる白川附近之れに次ぐ。南部の川内川は九州第一の長流なれども、其の流域大ならず。海岸は西部最も不規則にして、且つ島嶼の多きこと、恰も瀬戸内海の如し。東部は極めて單純なり。以上は七縣の分治する所たり。

縣名	廳所在地及び其の人口	距離汽車程及び道程
福岡	福岡市	六、六 門司より二時五三分
佐賀	佐賀市	三、三 福岡より二時二四分
長崎	長崎市	一〇、七 佐賀より五時〇八分
熊本	熊本市	六、二 福岡より五時一五分
大分	大分町	一、三 門司より三時四四分、五里餘
宮崎	宮崎町	八 大分より四八里
鹿兒島	鹿兒島市	五、四 宮崎より一時一八分、二五里

交通の幹線は九州鐵道の掌る所にして、北端の門司を起點として福岡・佐賀・長崎を連ね、其の一支線は南進して久留米・熊本を経て八代に達す。又若松に起りて福岡縣南部の諸炭田に達する支線あり。更に小倉より別れて海岸に沿ひ中津を経て長洲に至る一支線あり。北部及び西部の交通は最も

便なるに反して、東南は未だ全く鐵道の敷設を見ず。南部に



期航海あり。鹿兒島は又大阪・沖繩の航路に當る。海底電線

は鹿兒島灣頭に短距離の官設鹿兒島線ありのみなれども、大阪間も鹿兒島間に定

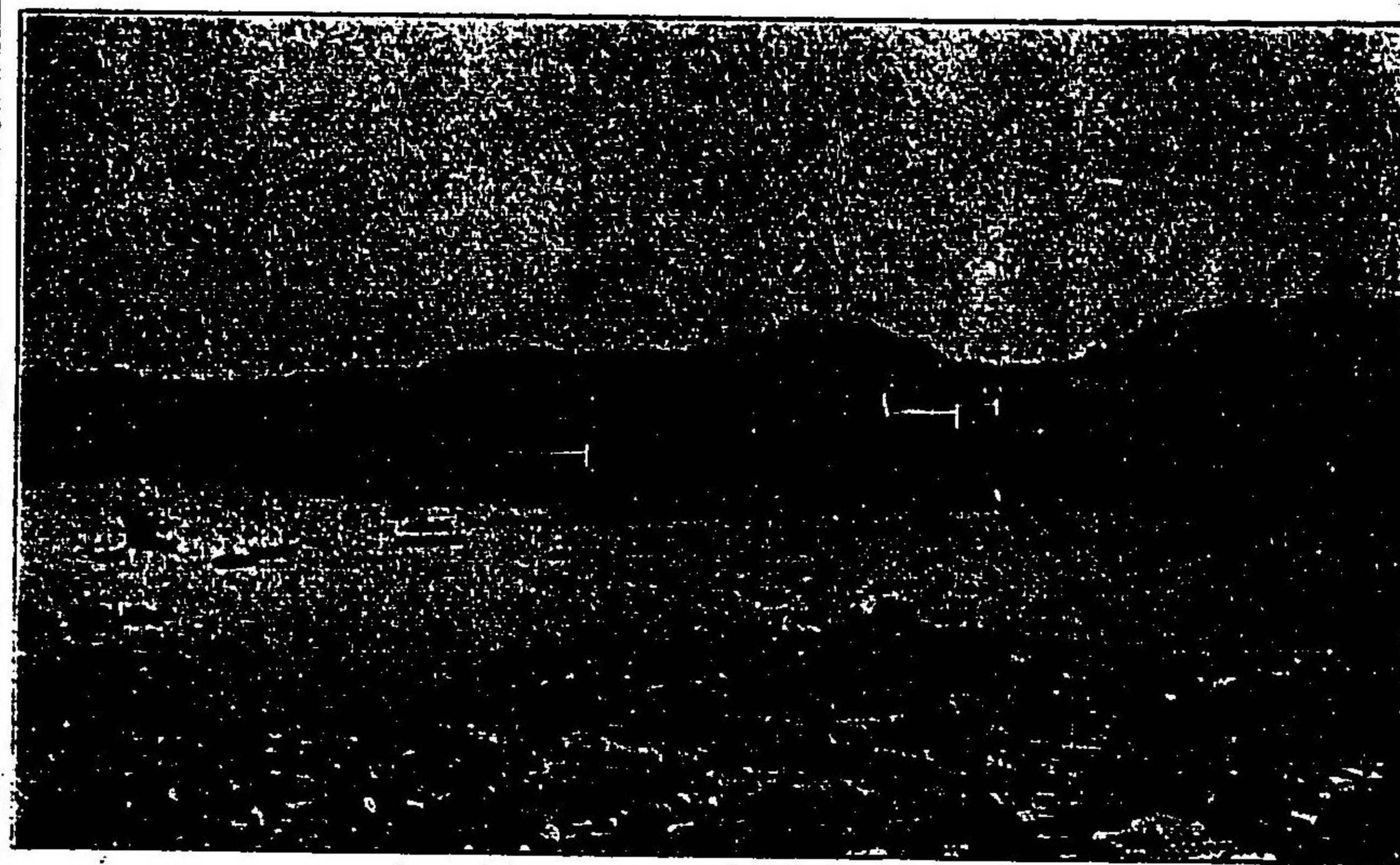
は、佐賀縣より壹岐對馬を経て朝鮮に、長崎より上海及びウラジオ港に、鹿兒島より種子屋久並びに琉球を経て臺灣に達する三線あり。大陸諸國との關係頗る親密なり。

福岡縣 本州に最も接近せる九州最北の地方にして、東南境には英彦山あり。筑紫山脈は中央部に蟠りて、地勢を南北に二分す。北部の水は北流して玄界灘に注ぎ、遠賀川の流域其の大部を占む。南部は筑後川の流域に屬し、其の水西南に流れて有明海に注ぐ。又西北に流るゝ那珂川あり。福岡市は其の河口にあり。筑後川は筑紫平野を灌漑する九州中の大河にして、屢洪水の患あれども、流域地味肥沃にして、縣下の米産額は新潟・兵庫・愛知の諸縣に次げり。久留米は其中流に在り。柳川及び若津港は其の西南に當る。有名なる三池の炭山は更に其の南に位し、大牟田港を控ゆ。遠賀川の流



佐賀縣 肥前の東部を管治す。筑紫山脈其の中央部を東西に走れども、地勢高峻ならず。北部は日本海に傾きて東松浦半島北に斗出し、其の東の唐津灣には、石炭の産地を控えたる唐津あり。又其の西の伊萬里灣には伊萬里あり。陶器に名高き有田は、其の南に當る。南部は筑紫平原の一部にして、水淺き有明海に面す。地味肥沃、農産豊かにして、其の中央部に佐賀市あり。九州鐵道長崎線は有田より支線を伊萬里に出す。又唐津には唐津鐵道あり。

佐賀市は鍋島氏の舊城下にして農學校、工業學校あり。農産物の取引多し。有田は其の北なる伊萬里と共に陶器の名産地にして、其の起原は遠く豊公征韓役の時にあり。高價なる美術品を出す。東松浦半島の北端なる名護屋は豊公征韓役の本營を置きし所にして、壹岐對島を経て朝鮮に達する。



長崎港及び市街の圖

對岸は飽浦にして山丘の其の後に部に接す

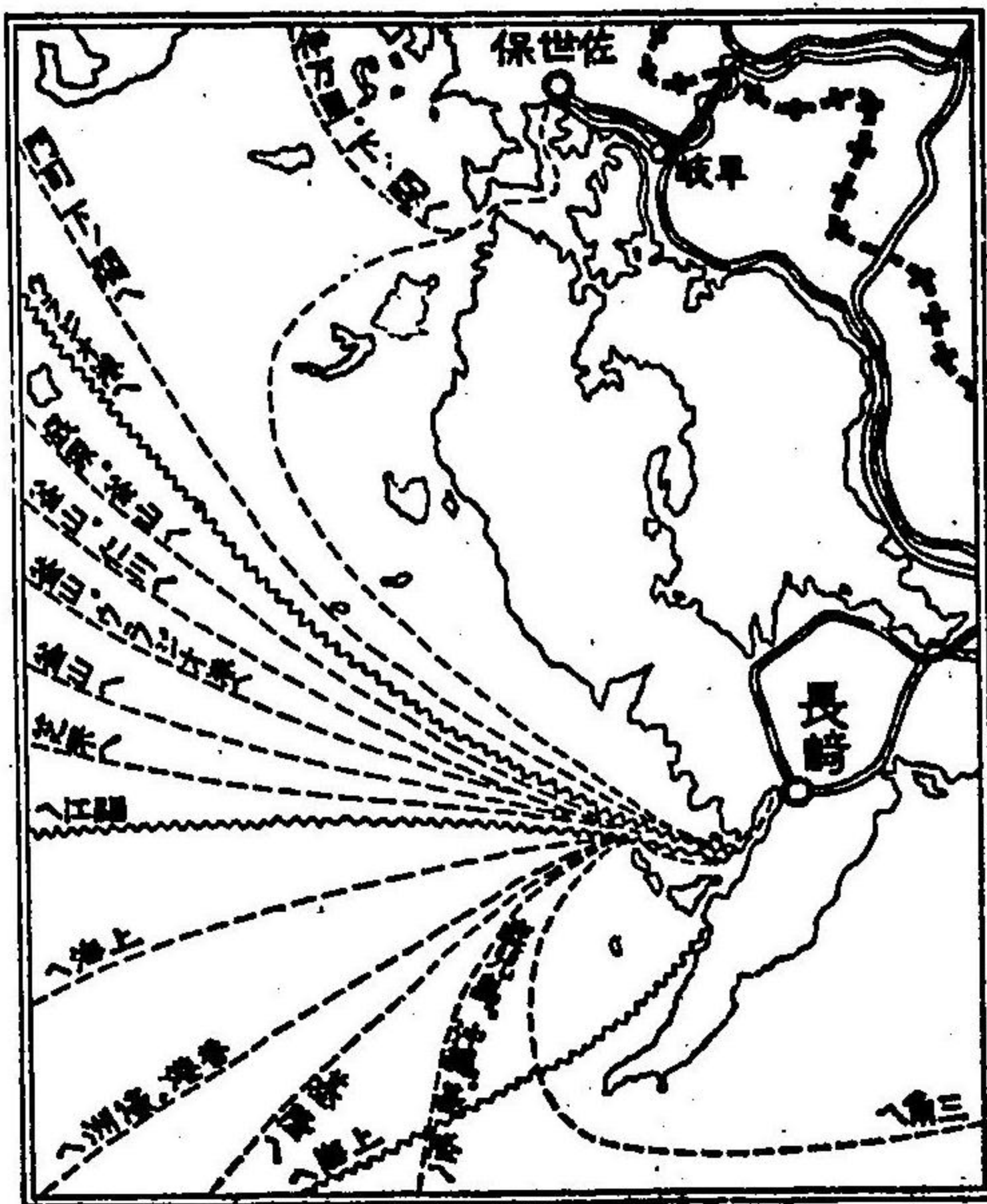
海底電線其の附近に起る。

長崎縣 佐賀縣の西に隣れる最も不規則の半島部及び九州北西の島嶼を管治す。地勢は山岳多く、島原半島は東南に延びて有明の海と干々石灘とを分つ。半島の中央部には溫泉岳あり、多良岳其の北に當る。西彼杵半島は西北に延びて大村灣を擁し、北松浦

位置は都  
會繁榮の  
一原因な  
り

半島又西北に延長して、多くの島嶼となる。平戸島最も之れに近く、其の西南に五島列島あり。又壹岐對馬は西北に連り、對馬海峽と朝鮮海峽とを扼す。沿海は烏賊・鰯・海鼠の漁利を富源の要部とす。五島近海は捕鯨を以て著はる。縣下海岸線の屈曲多きこと府縣中の第一に居り、從ひて良港に富む。長崎・口津の開港場、及び九州の大部并びに壹岐・對馬・琉球の警備に任ずる佐世保軍港あり。九州鐵道は早岐に至りて佐世保線に分つ。又長崎附近より五島列島・對馬及び上海・ウラジオ港に至る海底電線あり。

長崎市は開港場の一にして、陸上土地狹小なれども、港内水深く風波穩かにして、泊船の便最も宜しく、朝鮮支那及び濠洲との交通の衝に當る。其の貿易額は横濱・神戸に次ぎ、米・石炭・樟腦を輸出し、油槽・大豆・綿・砂糖を輸入す。控訴院・醫學專



門學校・商業學校あり。刻煙草を産す。此の地は維新前よりの外國通商港にして、久しく歐洲文明唯一の輸入口たりし所なり。對岸の飽浦には造船所あり。西南の高島及び端島は良質の石炭を産す。大村灣頭の大村には第二十三旅團司令部あり。灣口に針尾島横はり、針尾・早岐の兩瀬戸をなす。此の島の北は即ち佐世保軍港にして、佐世保其の北岸に位し、海軍鎮守府の設あり。平戸島の平戸は古來外國の貿易場たりし所にして五島列

島の一大島なる福江島には福江の漁港あり。壹岐は地味肥えて大豆の産あり。海上亦魚介の利に富む。勝本は其の北部の名邑なり。對馬は上下二島に分れて、其の間に淺茅浦を挟み、竹敷の要港を成す。日本海の防禦上最も肝要なる所とす。下島の東岸に嚴原あり。開港場の一にして、島廳警備隊あり。朝鮮航行の汽船此に寄港す。又上島の西岸にある鹿見佐須奈の二港も亦開港場とす。北端の鰐浦は、韓國釜山を距ること海上僅に二十五里に過ぎず。晴天の日遙に其の炊烟を望むべし。

熊本縣 佐賀縣の南に連れる地方にして、北部は阿蘇火山脈の主峰、帝國最大の阿蘇活火山あり。山中温泉に富む。宮地町に阿蘇神社あり。又農業學校を置く。山中に發する白川は鮎返の瀧をなして西流し、有明海に注ぐ。之と平行して北



阿蘇火山火口の圖

中は火口丘にして、周圍の絶壁は火口壁なり

に菊池川あり、南に緑川あり、共に灌漑の利あり。肥後米及び麥、烟草の産地にして、熊本、宇土、隈府等の都會、其の流域に在り。これより南方の縣界には九州南部山脈連亘し、東境には市房山、時ち山岳重疊して殆ど別社

會を成せる五家莊あり。平家の落人の隠れし所なりと云ふ。球磨川此の近傍に發し、南流して人吉を經、西北に轉して八代に注ぐ。林正盛の經營に由りて、人吉以下十六里の間通船の便あり。下りは七八時間に過ぎざるも、上りは三日を要する急流なり。其の上流の山地には木材を産す。球磨川口の八代には、セメントの産あり。八代の前面八代海を隔て、天草上下二島あり。島内峻峻にして平地に乏し。甘藷、甘蔗の産あり。魚鹽の利亦少からず。其の西の海を天草灘といふ。縣下に牧馬の盛なること巖手、福島二縣に譲らず。熊本市は白川の下流に跨り、飛白織を産す。第五高等學校の設あり。又近傍に工業學校、農業學校あり。有名なる熊本城は、市の中央にありしが、明治十年の役概ね兵火に罹れり。城址に第六師團司令部を置く。市の北に當れる植木、田原坂も、亦

官軍の苦戦せし所にして、史上に其の名高し。又隈府には南朝の忠臣菊池氏一族を祀れる菊池神社あり。三角港は開港場の一にして、宇土半島の西端に位し、前面に大矢野島を控えて、碇泊に便なり。宇土より此の地に達する鐵道あり。大分縣 福岡、熊本二縣の東に位し、筑紫及び九州南部兩山脈間にある地方の東部を占め、阿蘇火山は脈を東北に延きて國東半島に至り、地勢を兩分す。西北境に英彦山あり。南境に祖母山あり。温泉各地に湧出す。英彦山には彦山神社あり。山中に發する山國川は、東北に流れて中津に至り、周防灘に入る。其の上流に有名なる耶馬溪あり。祖母岳に發する大野川は、北流して別府灣に入る。其の下流の流域は、大分川に連る。縣内大都會と稱すべきものなきも、別府灣岸には、大分、杵築、別府等あり。佐賀關の南方に、臼杵、佐伯の二港あり。

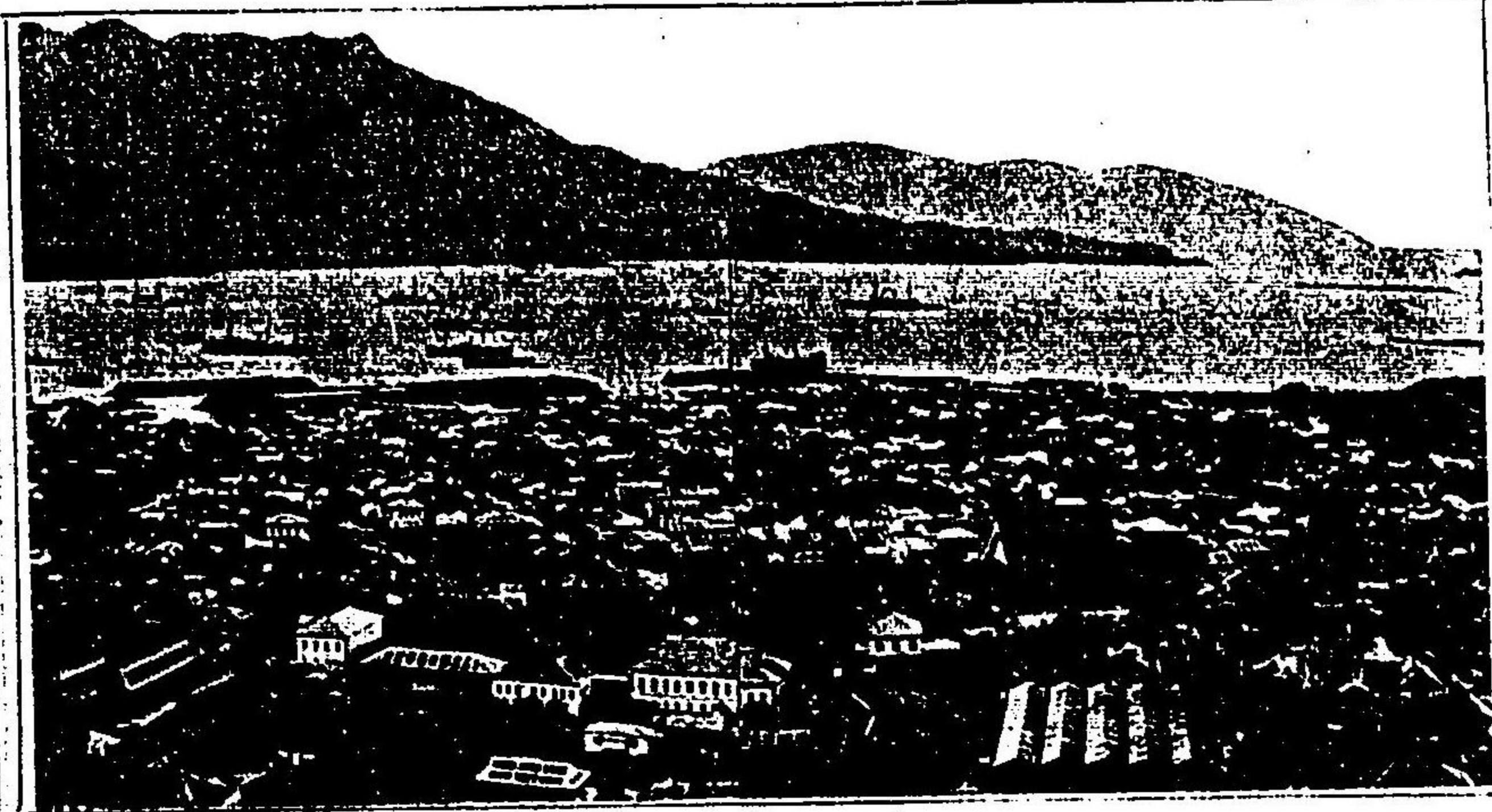


製絲・織物業盛に、疊表は産額岡山・廣島二縣の合計以上に達し、實に府縣の隨一たり。水産の利亦尠からず。鐵道の便は中津を経て長洲に至る九州鐵道の支線あるのみ。長洲の南に官幣大社宇佐八幡宮を以て名高き宇佐あり。夫より國道は更に大分を経、南進して宮崎縣に入る。大分は大分川に臨み大阪・宇和島の航路に當る。檜物細工を産す。此の地より別府に至る電車鐵道あり。別府は溫泉を以て名高く浴客多し。臼杵には農學校あり。

宮崎縣 九州南部山脈西部を限りて、熊本縣と腹背を成し、地勢は次第に東に傾き、五箇瀬川・大淀川等の諸流、皆西境に發して概ね東流す。又西南鹿兒島縣の境に、霧島の活火山あり。其の東峯を高千穂峯といふ。國中大部は山岳を以て滿され、原野の開拓せられざるもの亦多し。山林は良材・巨木

に富む。又樟腦・砂糖・紙の産あり。農産は五箇瀬川及び大淀川の流域を最とす。海岸平直にして出入極めて乏しく、且つ暗礁あり。港は北に細島、南に油津あるのみ。水陸の交通最も不便なり。従ひて人口稀薄にして、都邑の大なるものなし。宮崎は大淀川に跨り、置廳以來稍發達せしも、人口未だ一萬に達せず。近傍に農學校あり。西南鹿兒島街道の都城は縣内第一の名邑とす。油津港は都城の東方海岸にあり。附近の鉄肥には珈琲幾那等の熱帶植物試作場あり。五箇瀬川流域の延岡は北部の名邑とす。細島港其の南に當る。大阪に定期航海あり。

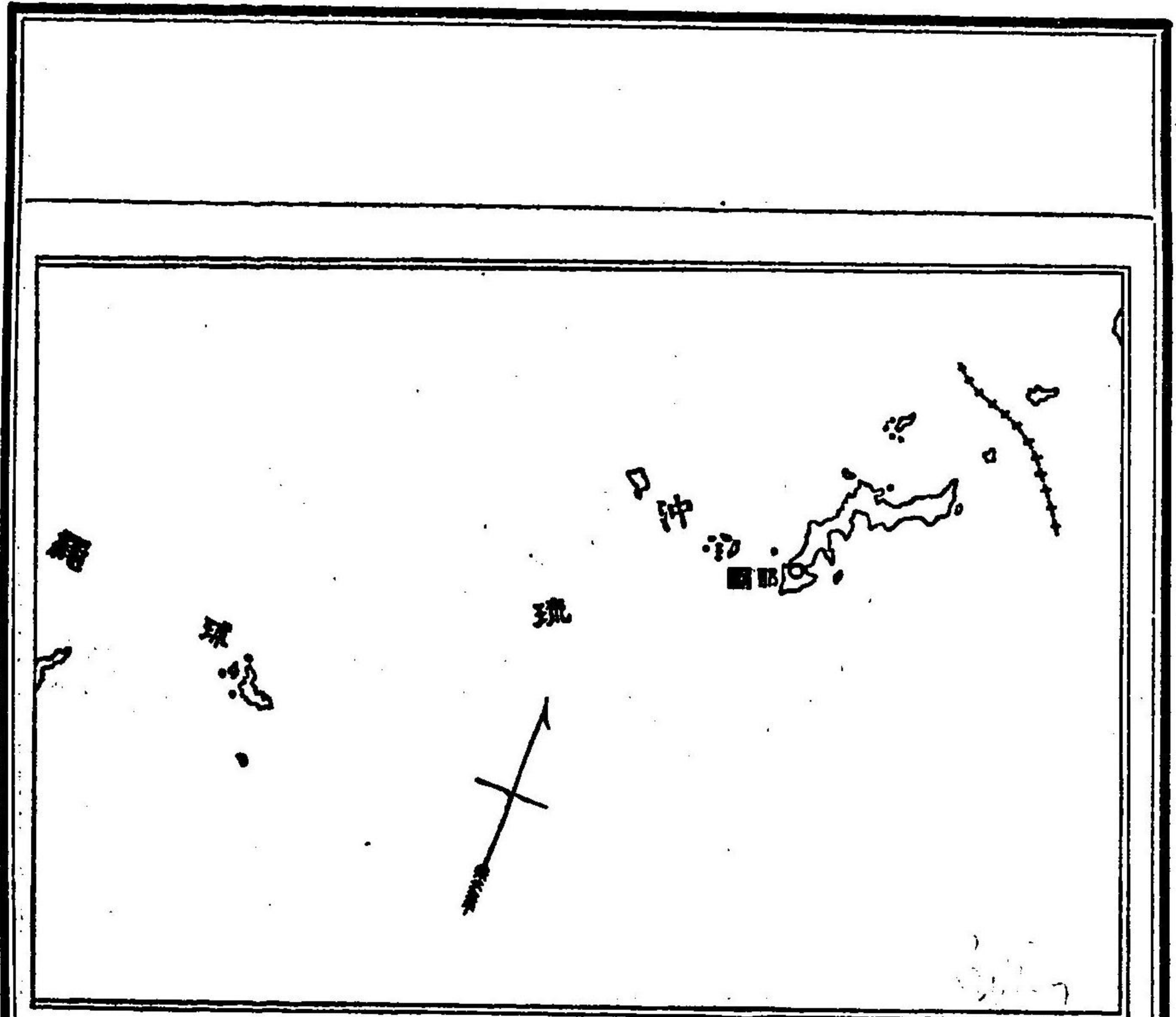
鹿兒島縣 九州最南の地方にして、大隅・薩摩の二大半島を成して、鹿兒島灣を擁す。其の大隅半島の南に、大隅海峽を隔て、種子屋久の二大島あり。土噶刺海峽の南には、川邊七



鹿兒島市街及櫻島の圖  
城山公園より望みたる景色なり

島散布し、奄美大島を含め  
る大島群島、又其の南に列  
り、**與論島**は沖繩島に接近  
す。又薩摩の西には**甌島**あ  
り。地勢は九州南部山脈は  
霧島山に起りて、櫻島及び  
川邊七島に其の脈を延く。  
北部を西南に流る、川内  
川は九州の大河にして、其  
の流域稍大なれども、其の  
他は概ね山間の溪流に過  
ぎず。縣内平地に乏しく、

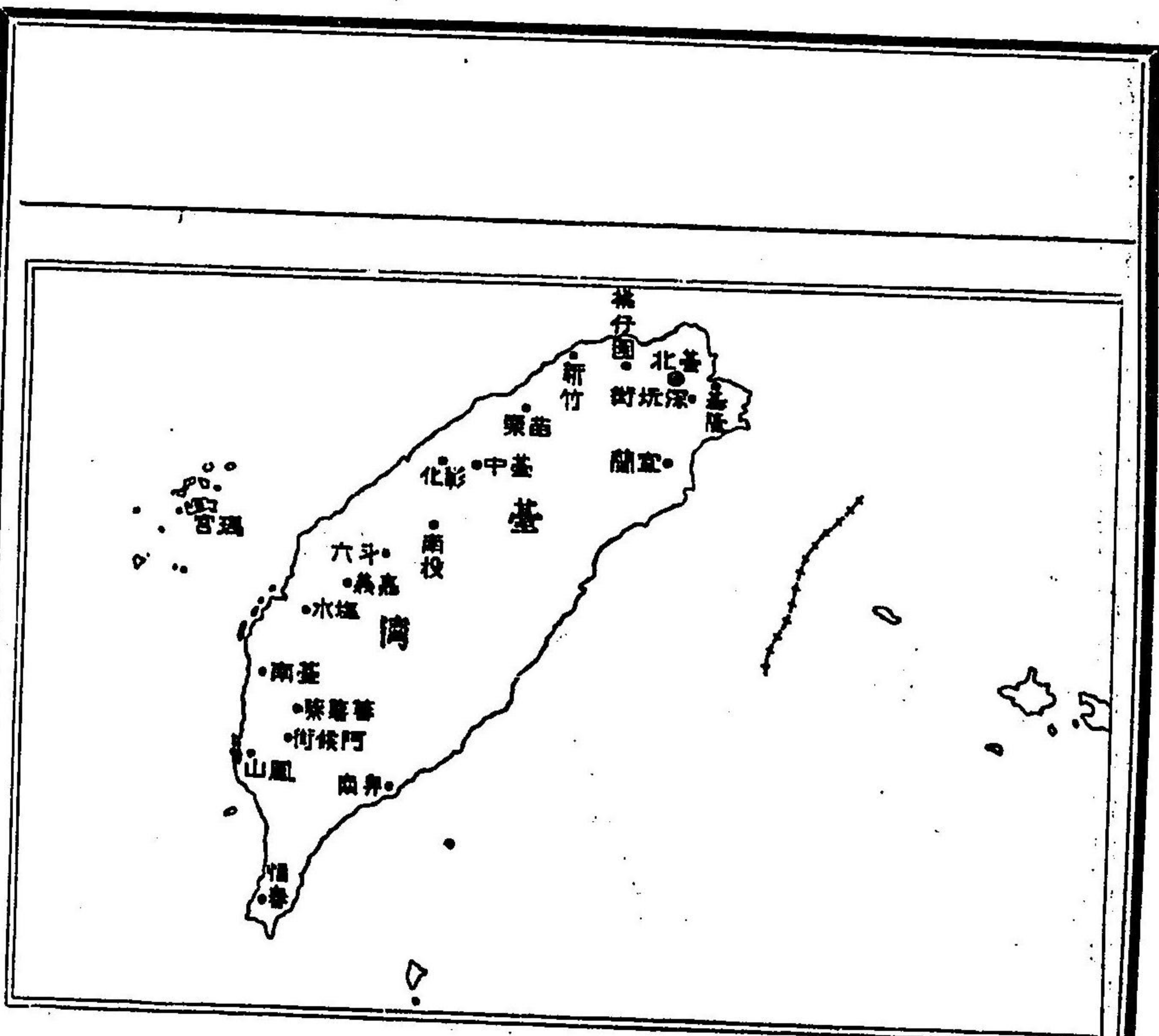
米麥の産多からずと雖も、氣候温暖なるを以て草木暢茂し、  
甘蔗・煙草・甘藷を産す。殊に牧馬は府縣の第一を占む、金の産  
額は北海道・新潟の間に居る。西海岸には鱈の漁利多く、鱈節  
の産額は高知縣に次げり。又大島群島には砂糖・紬・疊表の産  
あり。縣内主要の都會を鹿兒島・加治木・國分とす。皆鹿兒島  
灣頭に在りて、鐵道之れを連絡す。又縣の南部より種子屋久  
並びに奄美大島を経て、沖繩に至る海底電線あり。  
鹿兒島市は島津氏の舊城下にして、城山を負ひ、櫻島を控ゆ。  
第七高等學校造士館の設あり。薩摩飛白を産す。其の港には  
島津齊彬の築造に係れる波止場あり。神戸・沖繩・臺灣間の定  
期航路に當る。東北の國分は煙草の産を以て名高く、西方伊  
集院村附近には、薩摩燒の産あり。鹿籠の金山は其の南に當  
り、**芹野金山**は其の北に當る。燒酎の産ある阿久根は尙其の



北に位せり。又鹿兒島の南なる谿山は錫の産地とす。

**琉球及び臺灣**

帝國の最も西南に位せる部分にして、琉球は薩南諸島の西南に連れる沖繩群島及び先島列島より成り、明治十二年以來沖繩縣を置きて、之を管治せしむ。臺灣は古の高砂にして、琉球の西



**臺灣の海**

南に位し、臺灣海峡を隔て、南清地方に密邇す。西に澎湖列島、東南に紅頭嶼、火燒嶼等の屬島あり。北方の臺北に臺灣總督府を置き、其の下に二十の廳を置きて之れを管治す。

上圖に二十廳の名稱及び其所在地を示せり

府縣名應所在地及び其海里程  
 沖繩 那霸區 三、五 鹿兒島 三六九哩  
 臺灣總督府 臺北、〇 四、〇 沖繩 四、〇 一〇分



近き海面に在るを以て、氣候は熱くして、終歲降雪なく、寒暑の差少し。夏秋の候屢、颶風襲ひ來るを以て、家屋の構造低く、其の周圍に石垣を廻らす。砂糖甘藷を主産とし、又芭蕉布、飛白、紬、泡盛漆器を出す。

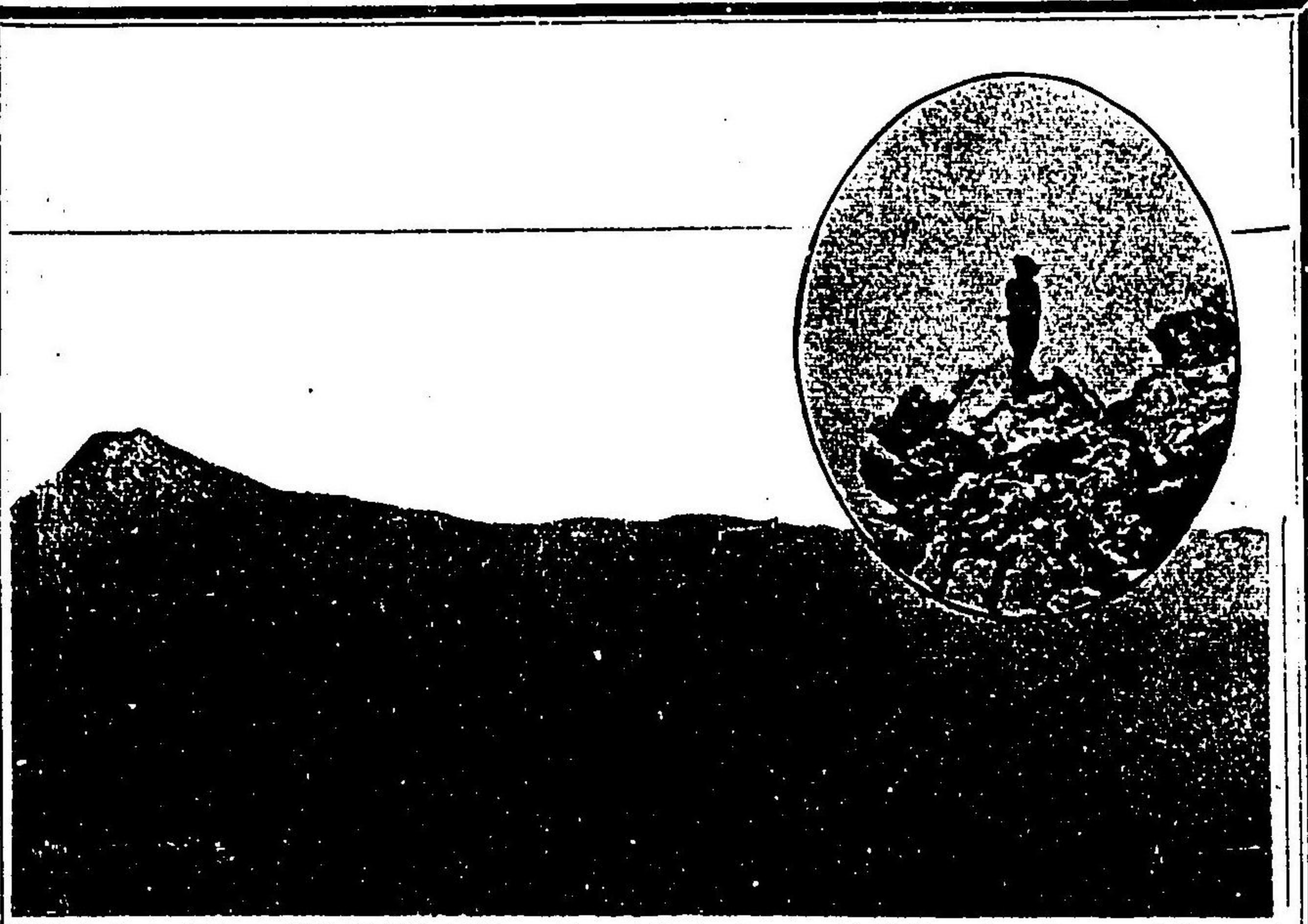
那覇區は開港場の一にして、沖繩第一の繁盛地とす。其の港は珊瑚礁を廻らし、海浪を防止すれども、水淺きを以て大船は港外に碇泊するを常とす。砂糖、泡盛、飛白を輸出し、米穀を輸入す。東方一里許の丘上に、首里あり。舊藩王尙氏の城地なり。

臺灣 地勢 臺灣の山系は、中央より稍、東に偏して、本島を南北に縦斷せる數條の山脈より成る。東部に連亘せるシルヴア山脈は、北部に海拔一萬三千尺のシルヴア山を起し、其の南に當り、少しく西に偏して、新高山脈あり。島の殆ど中

平野及び  
河川の分  
布は山脈  
の位置方  
向に由る

央部にて海拔一萬四千尺以上に達し、帝國の最高地點たる新高山を起す。以上を島中の主脈とす。又島の北端に近き大屯火山、鼻は、脈を琉球より延きて、澎湖島に達す。中央部の山地は熱帶性の密林を以て掩はる。

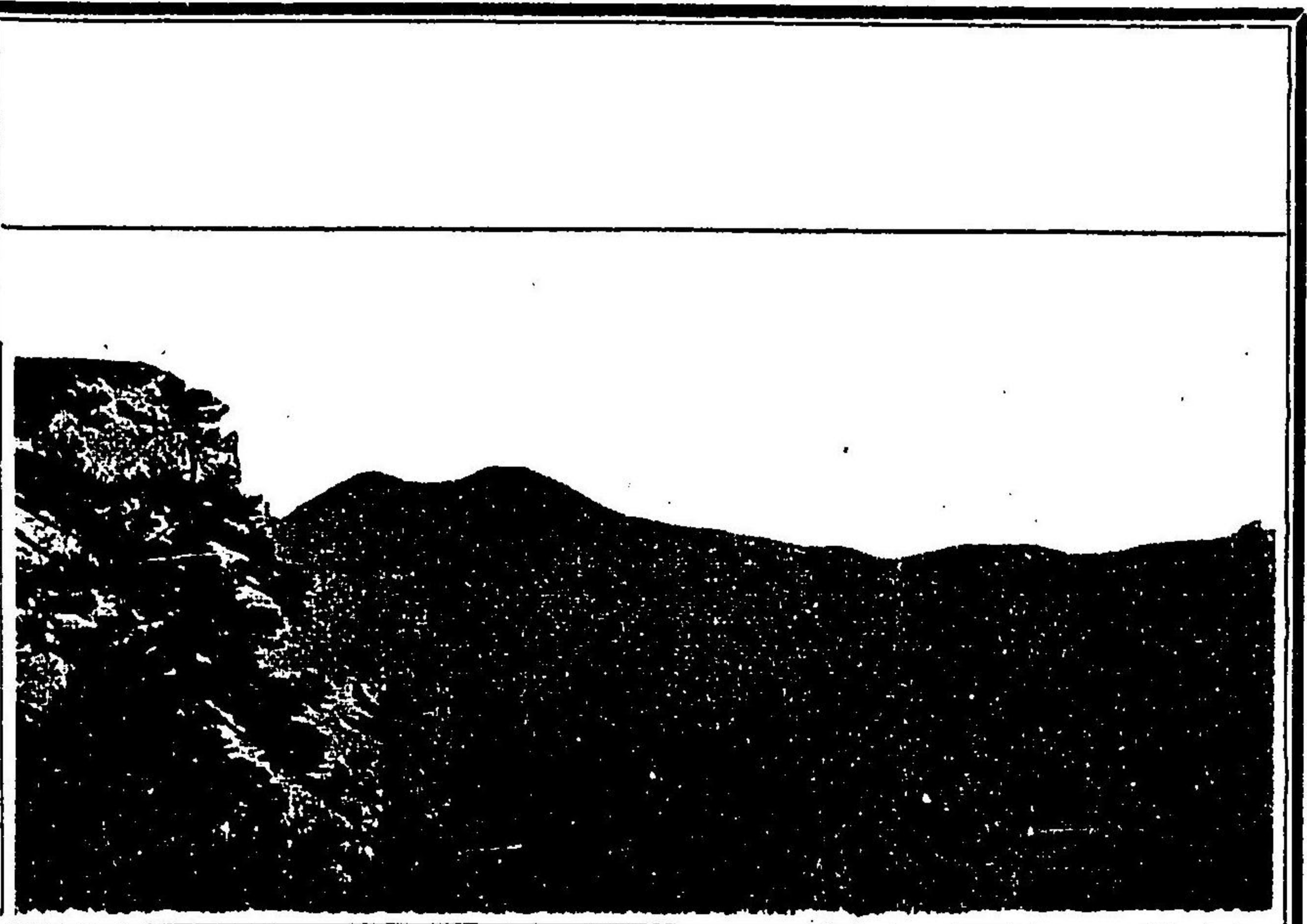
以上の山脈は本島の分水界を成し、之れによりて本島を東西二部に分つ。西部は平野遠く連り、河川大に發達し、シルヴア山北麓の水を集めて、臺北の平野を西北流する淡水溪、本島中部の水を集めて、西流する西螺溪及び大突溪、新高山の南麓に發して南流する下淡水溪を其の最も大なるものとす。此等諸川の貫流する西部の平野は、風土大に開け、臺灣の首都臺北を初として、臺中、彰化、嘉義、臺南等繁盛の都會多し。此の平野を南北に縦貫すべき臺灣鐵道は、未だ完成に至らず。東部には西部の如き平野を見ず。河流も北に宜蘭の平



新 高 山 全 景 及

玉 山 前 山 望 み たる 景 色 なる 頂 上 粘 板 岩 に して  
東京 帝國 大學 理 學 科 大 學 類 教 室

野を東流する濁水溪、南部に卑南平野を南流する卑南溪、及びこれと反對に北流する秀枯、欒溪、あれども、西部の河川の如く長大ならず。宜蘭、卑南の平野に、同名の市街あれども、風土未だ全く開けず。蕃人の住所となれる所多し。  
海岸 本島の海岸は最も單純にして、殆ど出入なく、岬は北端に富貴角



頂 上 の 圖

其 上 立 人 居 島 氏 登 山 時 從 者 乃 其  
所 藏 同 大 學 助 手 島 居 龍 氏 攝 影

あり、南端に南灣を擁する南西岬、及び帝國の最南端なる南岬あるのみ。西岸は平坦にして砂丘大に發達すれども、尙淡水、鹿、安平、打狗等の諸港あり、東岸は絶壁にして東岸第一の良港なる蘇澳灣の外、花蓮、卑南の二碇泊地あるに過ぎず。東岸一帯の海上には日本海流あり、北進して黒潮となる。

氣候 本島の南半は既に熱帯に入り、氣候は熱帯性にして、臺南は夏季三六度九に昇り、帝國中の最高温度に達す。風位は北部には冬季北東風多く、南部には夏季驟雨を伴ふ西南風あり。一般に夏秋の候暴風あり。澎湖島は風力殊に強暴なり。

産物 本島は植物の發育極めて旺んにして、平地には榕樹樟樹鳳梨芭蕉等繁茂し、高山地方には櫛櫨等の森林あり。耕地には米・茶・甘蔗あり。米は一年二回の收穫あり。茶は北部に最も適して、四季共に摘葉することを得べく、甘蔗は南部に適す。礦産は基隆附近の砂金・石炭を主とし、大屯火山彙の硫黃之れに次ぐ。水産は概ね本州近海に異らず。鱈・牡蠣の漁利多く、食鹽は政府の專賣たり。茶・砂糖・樟腦は本島主要の輸出品にして、茶は臺北附近を主とし、砂糖は臺南附近を第一

とし、共に四百萬圓内外の産額あり。樟腦は中央部の苗栗附近最も盛にして、産額百五十萬圓に達す。又内地よりは穀物・酒・其の他の飲食物を、清國よりは臺灣人の嗜好する阿片及び綿布・毛布を淡水・安平・塗葛堀を経て輸入す。

本島居住の内地人は、其の數僅かに三萬に過ぎずして、清國より移住せるもの、子孫即ち所謂臺灣人は、二百七十五萬人、即ち一方里に千二百餘人あり。又馬來種に屬する蕃人中、夙に臺灣人に觸接して其の感化を受け、農耕を業とする熟蕃あり。又山間に住して漁獵を事とし、往々首狩を行ふ生蕃の諸種族あり。

臺北は本島の首府にして、臺北平野を流る、淡水河の上流、新店溪・大料・坎溪の相會する所に位し、總督府・覆審院・混成第一旅團司令部・國語學校及び臺北廳を置く。市街は周圍に石



東京帝國大學理科大學人類學教室  
所藏同大學助手島居龍藏氏撮影

臺灣蕃人及其其の鯨の圖

臺灣の生蕃は其の種族十  
以上に及ぶも、何れも馬來  
種に關す。只風俗言語の相  
違あるのみ。圖に示せるは  
北部に住して、自らタイヤ  
ルと稱する生蕃の男女に  
して、男は頭部に鉢巻を用  
ひ、額及び下顎に直線狀の  
線を施し、女は兩頬に網狀  
の線を施す。又耳朶に棒を  
鉄入して裝飾とす。好みて  
烟草を用ひ、衣は筒袖の上  
衣を用ひ、又粗き毛布を纏  
ふ。性質最も慍悍にして、盛  
に首狩を行ふ。

壘を繞らし、四面に樓門を設く。附近の臺灣神社は、北白川宮  
能久親王を祀る。北門外の大稻埕及び西門外の艋舺は鳥龍  
茶の産出多く、其の集散甚だ盛なり。臺北の人口は此の門外  
の二市街を合せて約六萬あり。淡水河口の淡水港は本島  
の大輸出入港にして、茶、樟腦を輸出し、綿布、阿片等を輸入す。  
其の總額本島貿易の七割を占む。市街地滬尾には税關及び  
各國領事館あり。基隆港は本島の内地に對する最も重要  
の門口なるを以て、要塞の設あり。附近には石炭及び砂金の  
産地を控ゆ。冬期風波荒けれども、大船の碇繋に適し、神戸直  
航の定期航海あり。又臺灣の東廻り及び西廻り航路の起點  
とす。  
臺中は臺北・臺南の中間にあり。混成第二旅團司令部・臺中廳  
を置く。市街は其の規模壯大なれども、居民多からず。附近一



帯の平原は大肚溪・大甲溪の流域にして農産多く、大肚溪口の塗葛堀は開港場の一にして、其の貿易は淡水・安平に次ぐ。其の南にある鹿港は、南清への最近海路に當り、支那船の出入多し。

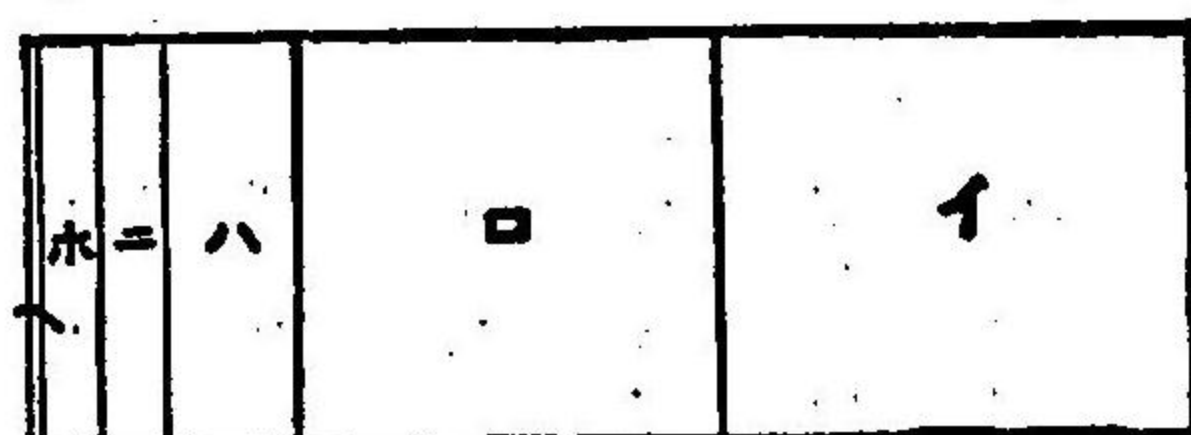
臺南は製糖業の盛なる臺南平野にあり。本島第二に位する都會なり。混成第三旅團司令部・臺南廳を置く。其の西に當れる開港場安平港は、水淺くして、貨物の陸揚に不便なれども、砂糖・樟腦の輸出多く、貿易の盛大なること淡水に次ぐ。南方下淡水溪の流域に鳳山あり又砂糖を産す。打狗の南方恒春半島の南部にある恒春は帝國最南の一名邑にして、半島の中央部には牡丹社あり。

澎湖列島は臺灣海峽の中心にある帝國南門の要地にして、大小四十七の島嶼より成る。澎湖・漁翁・白砂三大島の間、碇

泊極めて安全なる澎湖海を擁し、其の媽宮は開港場にして、要塞及び澎湖廳あり。諸島は一面に火山岩にて掩はれ、地勢概ね平坦にして、河流なく、又全く喬木を見ず。耕作物は只甘藷と落花生とあるのみ。

### 括論

り。 帝國の天産及び産業 帝國の地積は産業上左の區別あり。



面積比較表

全面積一〇〇

不生産地三七

生産地 六三

- イ 山 林 四〇
- ロ 耕 地 二二
- ハ 牧場原野 五
- ニ 水、礦 區 五
- ホ 宅 地 一

### 農業

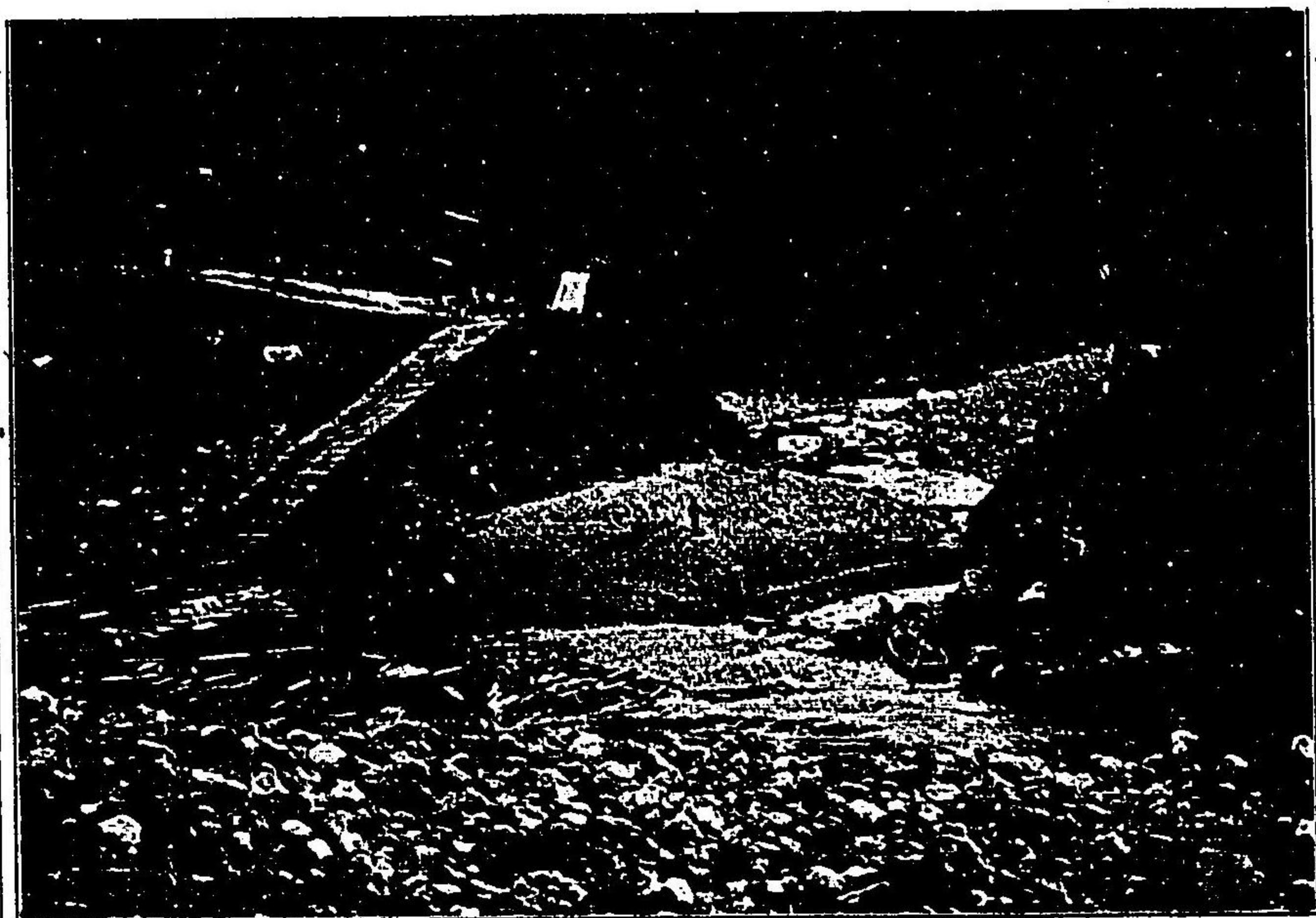
農業。我が國古來瑞穂國と稱し、農を以て國の大本とせしかば、國民の大半斯業に従事す。農産の第一に位する米は産額殆ど五千萬石に達し、新潟・兵庫・愛知・福岡等肥沃の大平野を有する諸縣に多く、米質は三重・熊本・岐阜・兵庫諸縣を最良とす。麥は其の産額略ぼ米の半額にして、埼玉・茨城・愛知・兵庫・千葉の諸縣産出最も多し。米麥は國民の常食に供する外、醸造の原料に供する額亦頗る多く、二百萬石に達す。茶は貿易の主要品にして、一千万貫の産出あり。臺灣は其の産額の四分一を占め、静岡・徳島・京都の諸地方これに次ぐ。本州北部は氣候寒冷なるを以て其の栽培に適せず。砂糖は其の原料に暖地に適する甘蔗と寒地に成長する甜菜との二種あり。白砂糖の産は臺灣に多く、白下は香川縣を第一とす。黒砂糖は沖繩・鹿兒島の二縣を推す。又北州にも多少の産出あり。

牧畜

葉烟草は全国各地に産す。茨城・鹿兒島・德島三縣の地味最も其の栽培に適し、良質の名あり。桑の栽培は福島・群馬・長野・埼玉の四縣最も盛にして、繭の産額も亦略ぼ之れに伴ひ、長野縣其の隨一に居る。綿は暖地の産にして、大阪・廣島・鳥取の地方に其の産多きも、全國の産額僅かに五百萬貫に過ぎず。それすら輸入品に壓せられて、年々減少の傾あり。大麻は朽木縣の地味最も能く適し、葉藍は德島縣の重要物産とす。又鹿兒島縣に山藍、臺灣に木藍・山藍あり、近時外國産染料を輸入すること漸く多し。

牧畜業は未だ盛大ならず、馬は鹿兒島・熊本・巖手・福島の四縣に多く、牛は廣島・岡山・兵庫・長崎の四縣に多し。何れも八萬頭以上あり、南部馬・三春駒、但馬牛は良種と稱せらる。豚の飼養は九州・琉球・臺灣並びに千葉・神奈川兩縣に盛なり。又臺灣に

林業



德島縣那賀川の流木頭村より材木を下流する

東京帝國大學大科大學類人學部助居龍藏氏攝影

は水牛多し。養禽業は茨城・千葉及び中國の一部に稍盛なるのみ。

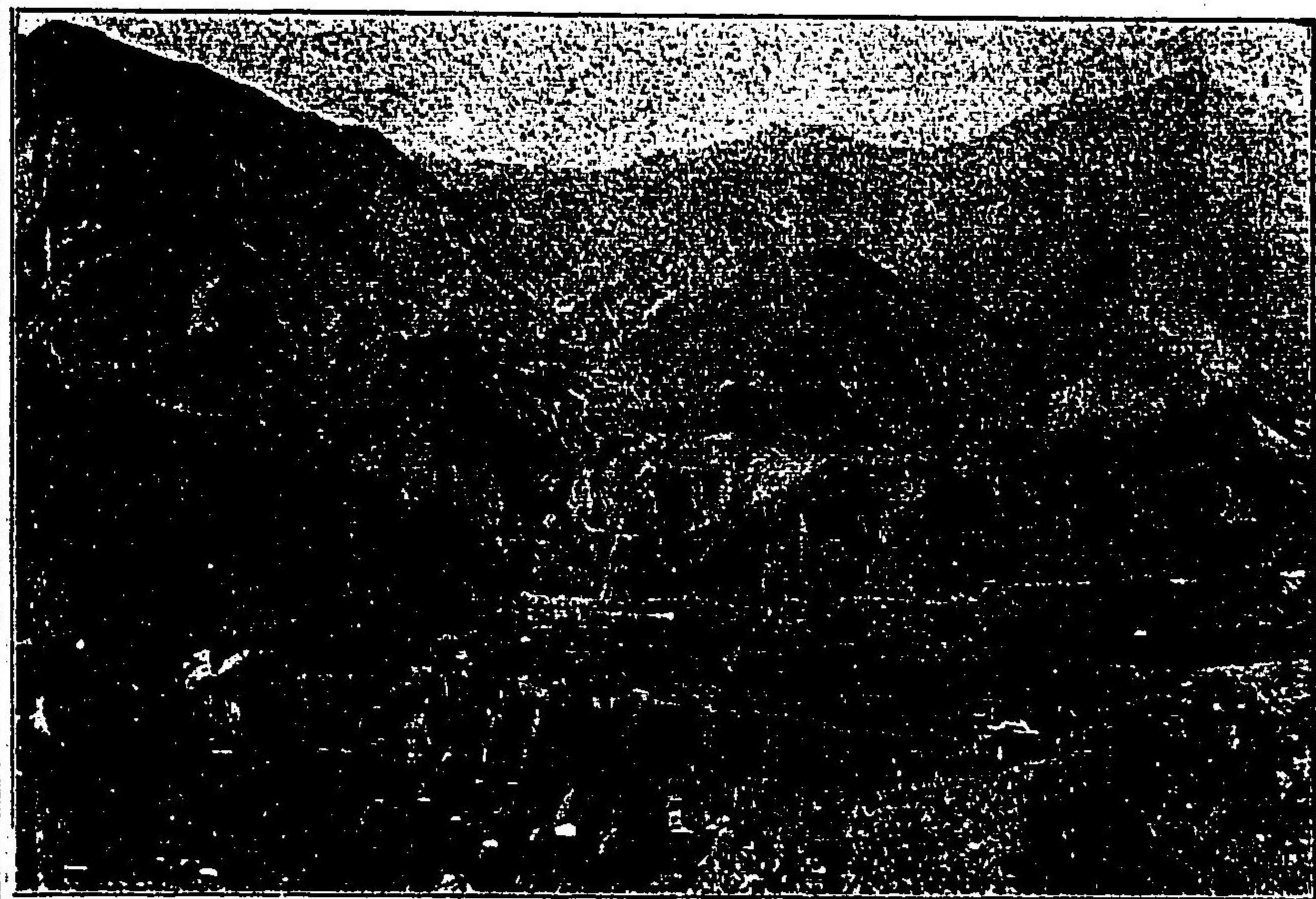
林業 帝國は山林の地積最も多く、臺灣の平地及び沖繩小笠原島は熱帶林に屬して、椰子・榕樹・檳榔あり。九州・四國及び本州の南部は暖帶林に屬して、櫛椎の類繁茂し、其の

礦産

南部及び臺灣には樟多し。其の他本州及び北海道の西南部は温帯林にして、山毛櫸・檜・杉等あり。北海道の大部及び帝國の高山地方は寒帯林に屬し、蝦夷松・檜松等多く繁茂す。就中秋田・青森・天城・木曾・越中・大和・紀伊・日向・臺灣等は最も森林に富み、松・杉・檜・樺等の良材を出す。副産物の重要なものは樟腦・檫蠟・漆汁等とす。殊に樟腦は世界唯一の産地にして、政府の專賣事業に屬す。

礦産の多きは石炭・銅・銀・硫黄等にして、就中石炭・銅の二品を最とす。石炭は年産額六百七十萬噸に達し、福岡縣其の三分二以上を占め、北海道・佐賀・長崎・福島等の諸地方之れに次ぐ。銅の産出高は四千萬斤に上り、朽木・愛媛の二縣其の四割を占む。金は北州及び鹿兒島・新潟二縣を主とし、殊に北州は前途多望なり。銀は秋田・兵庫を主産地とすれども、産額年々減少す。

水産



足尾銅山の圖

一ヶ年産額一千一百萬斤を越ゆる第一銅山のり

す。鐵は巖手縣を第一とす。島根・鳥取の砂鐵の産額亦多し。石油は新潟縣の獨占にして、硫黄は北州の釧路を推す。水産の豊富なるは世界屈指の一に居る。其の主なるものは鱈・鯉・鮪・烏賊・鰯・鰯・鮭・鱒・鱒・昆布等とす。其の漁場は北州及び千葉縣の沿岸